

(平成 28 年 6 月実施)

## 第 4 3 回

# 市民アンケート調査報告書

—— あなたと市政を結ぶ ——





# 目次

## I 調査概要

|   |                |   |
|---|----------------|---|
| 1 | 調査目的           | 1 |
| 2 | 調査事項           | 1 |
| 3 | 調査実施概要         | 1 |
| 4 | 回収状況           | 1 |
| 5 | 報告書内のデータ記述について | 1 |
| 6 | 回答者の属性         | 2 |

## II 調査結果

|    |                          |    |
|----|--------------------------|----|
| 1  | あなたご存じですか？               | 4  |
| 2  | 浜松市歌について                 | 14 |
| 3  | 浜松市総合計画について              | 18 |
| 4  | 浜松市のスポーツ推進について           | 24 |
| 5  | 地区社会福祉協議会の活動と地域福祉の推進について | 28 |
| 6  | 消費生活について                 | 32 |
| 7  | 協働によるまちづくりについて           | 38 |
| 8  | 子育て支援について                | 46 |
| 9  | 市民の地震への備えについて            | 56 |
| 10 | 地域情報化について                | 66 |
| 11 | 浜松市の強みについて               | 70 |
| 12 | 市政に関する現状認識について           | 78 |
| 13 | 市の取り組みの満足度評価について         | 81 |

## 付録 調査票



# I 調査概要

---



## 1 調査目的

本調査は、昭和45年度から始まり、48年度、50年度と行った後、52年度以降は毎年実施し、本年度で43回目になる。社会情勢の変化に伴う市民の生活意識や市政に対する関心やニーズなどを把握するため、毎年各部署から提出された希望調査項目を精査した後、調査項目を決定し、属性などにより集計した調査結果を詳細に分析し、今後の施策の方向性や事業展開など行政のさまざまな施策の基礎資料として活用しているものである。

## 2 調査事項

- あなたはご存じですか？
- 浜松市歌について
- 浜松市総合計画について
- 浜松市のスポーツ推進について
- 地区社会福祉協議会の活動と地域福祉の推進について
- 消費生活について
- 協働によるまちづくりについて
- 子育て支援について
- 市民の地震への備えについて
- 地域情報化について
- 浜松市の強みについて
- 市政に関する現状認識について
- 市の取り組みの満足度評価について

## 3 調査実施概要

- (1) 調査地域 浜松市全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の男女3,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送法
- (5) 調査期間 平成28年6月11日～30日
- (6) 調査機関 特定非営利活動法人 静岡県西部地域しんきん経済研究所

## 4 回収状況

| 発送数    | 有効回収数  | 有効回収率 |
|--------|--------|-------|
| 3,000件 | 1,534件 | 51.1% |

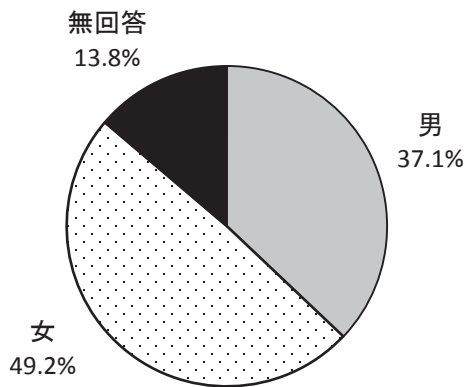
## 5 報告書内のデータ記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所がある。
- (5) クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。

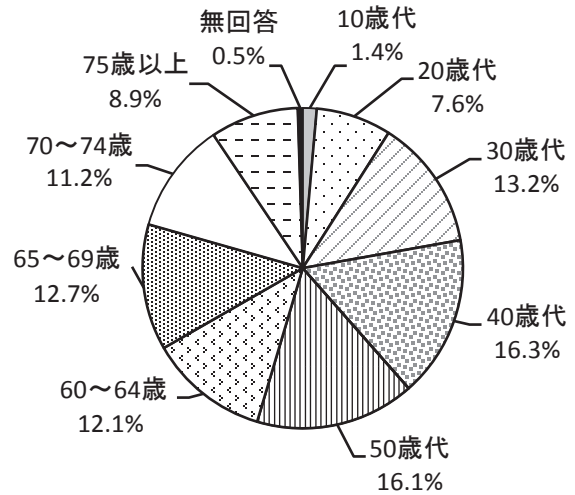
## 6 回答者の属性

N=1,534

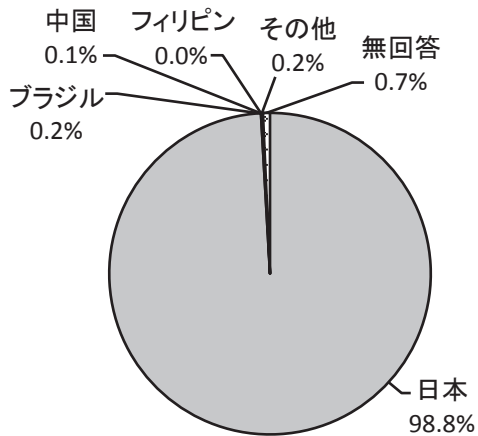
### (1) 性別



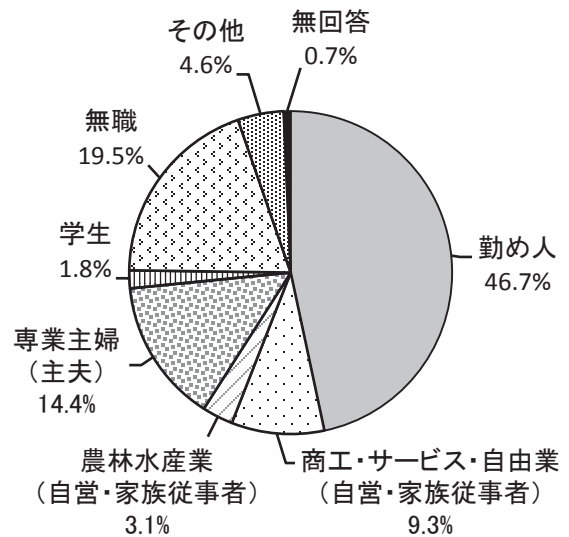
### (2) 年齢



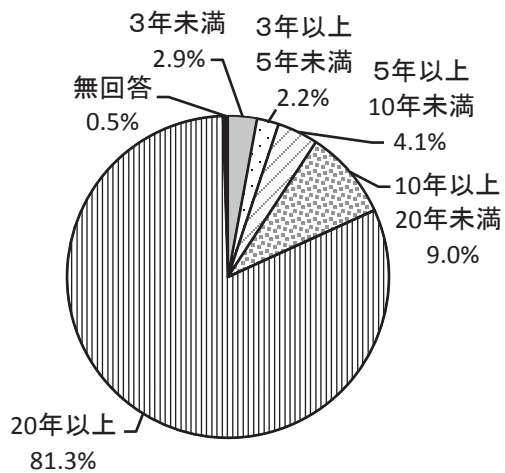
### (3) 国籍



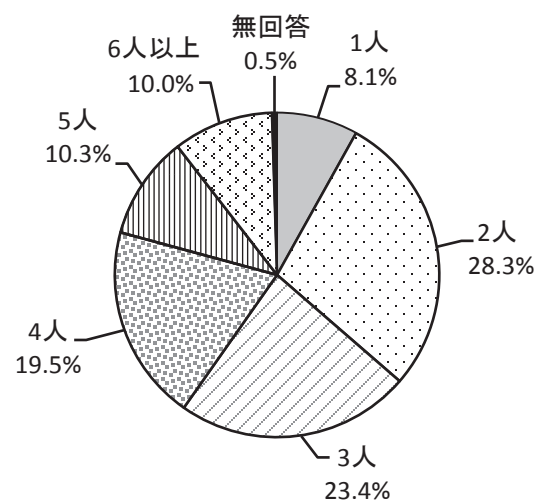
### (4) 職業



### (5) 居住年数

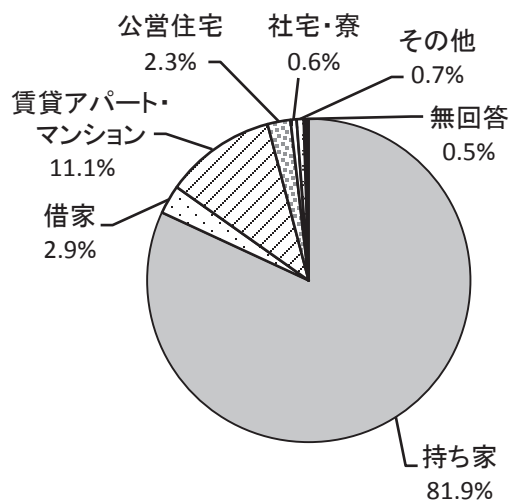


### (6) 家族数

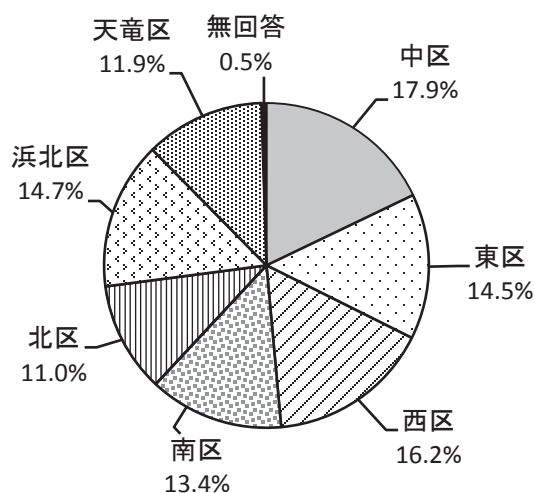




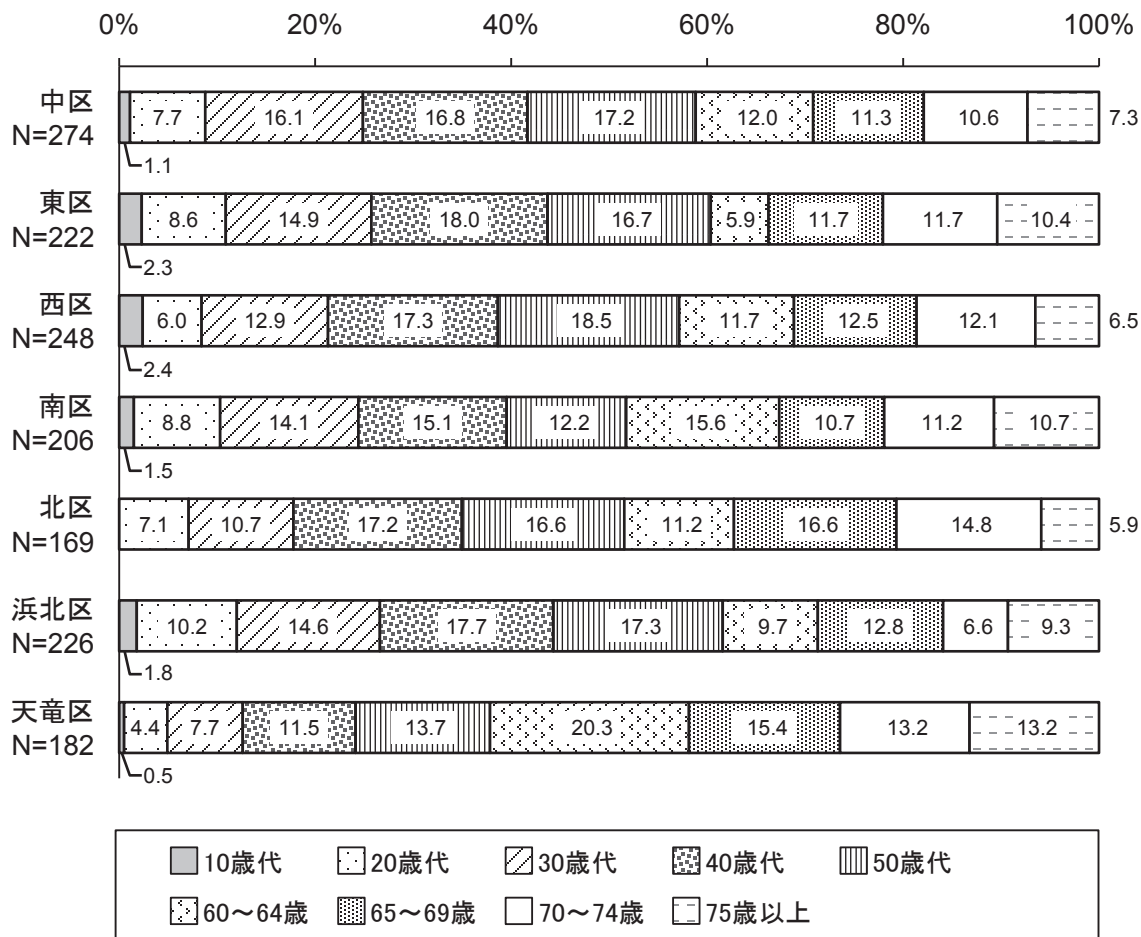
(7) 居住形態



(8) 行政区



(9) 行政区別年齢





## II 調査結果

---

# 1 あなたはご存じですか？

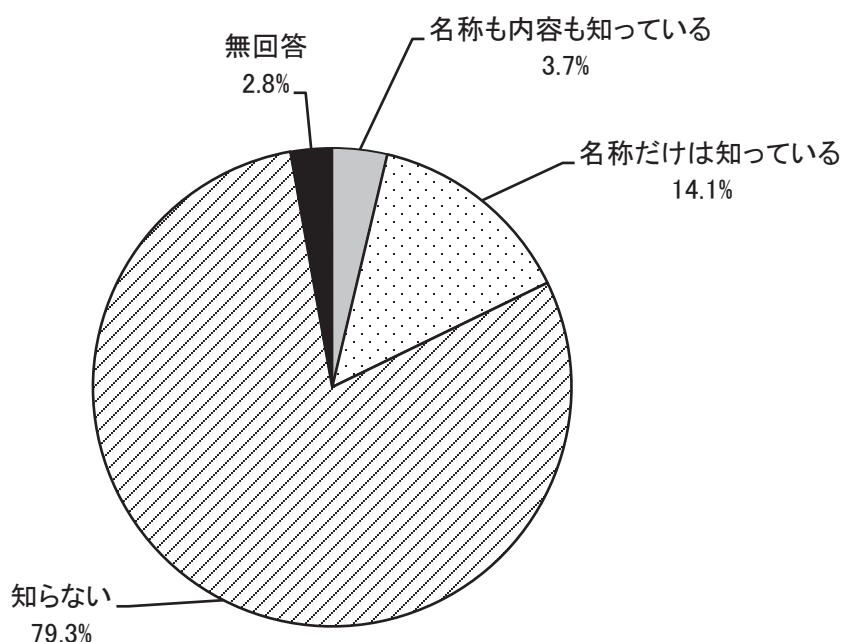
問1 次の項目について、あなたをご存じですか。

## ① F S C森林認証

※森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。浜松市は市町村別では全国最大のF S C認証林面積を保有しています。

「F S C森林認証」の認知度は17.8%

N = 1,534



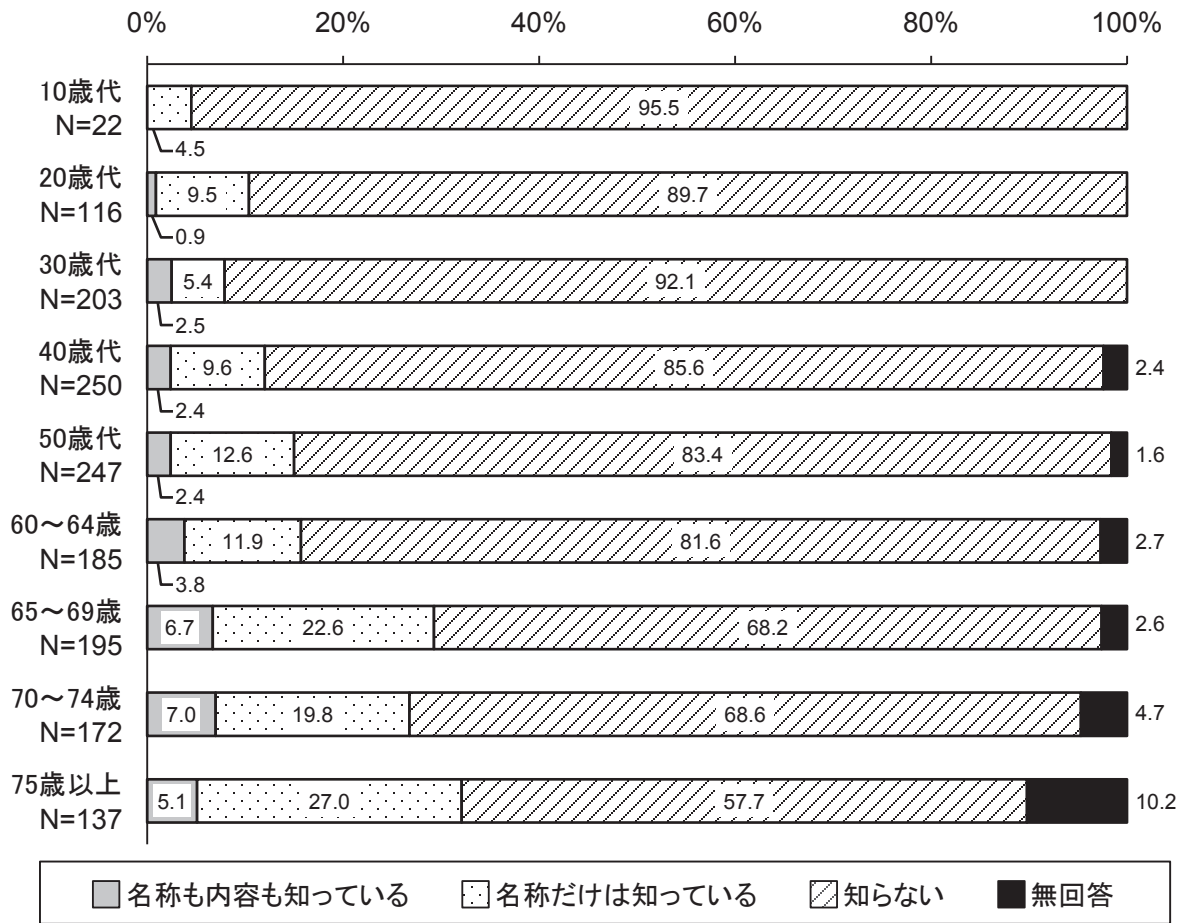
「名称も内容も知っている」はわずか3.7%にとどまった。「名称だけは知っている」(14.1%)を合わせた『認知度』も17.8%と低く、「知らない」の79.3%を61.5ポイント下回った。

年齢別で見ると、年齢が高まるに伴い『認知度』も高くなる傾向がみられた。10歳代の『認知度』は4.5%にとどまる一方、65歳以上の『認知度』は約3割と高くなっている。

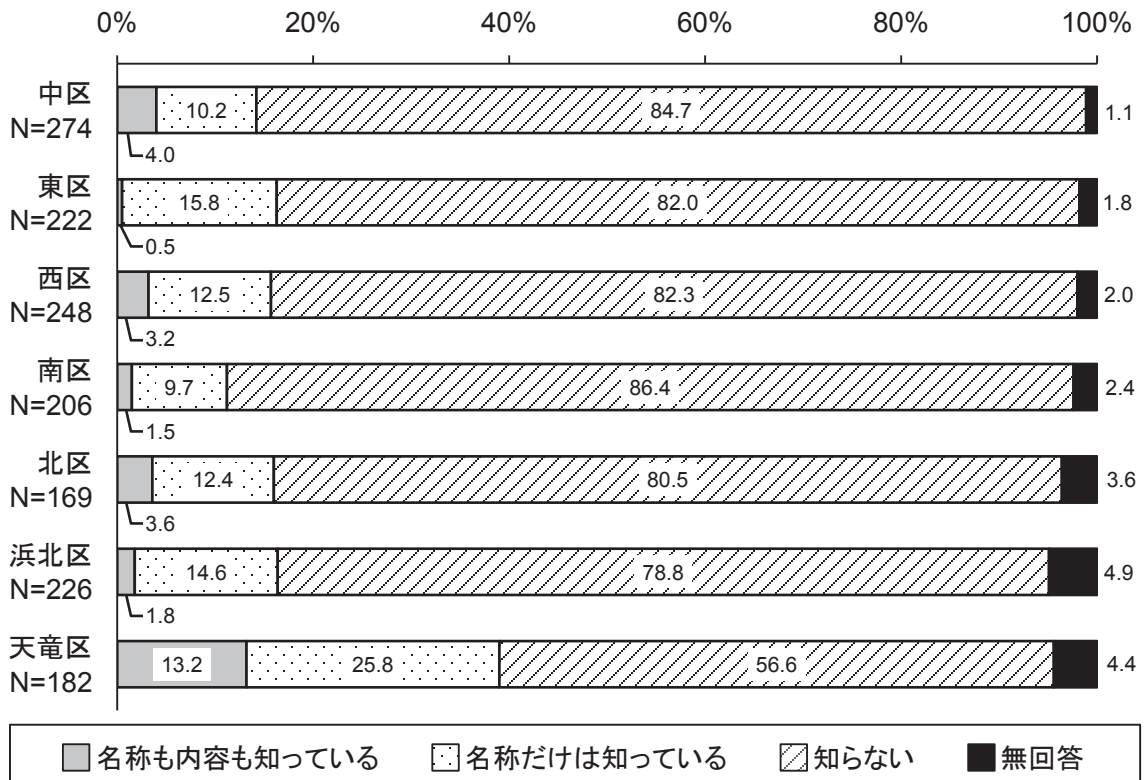
行政区別で見ると、F S C認証林を最も多く抱える天竜区は『認知度』が39.0%と突出して高かった。

平成22年3月にF S C森林認証を取得し、今年で6年が経過するが、市民の認知度はまだまだ低い。今後はF S C森林認証の内容も含め、もっと市民の理解を深める取り組みが必要である。

【年齢別】



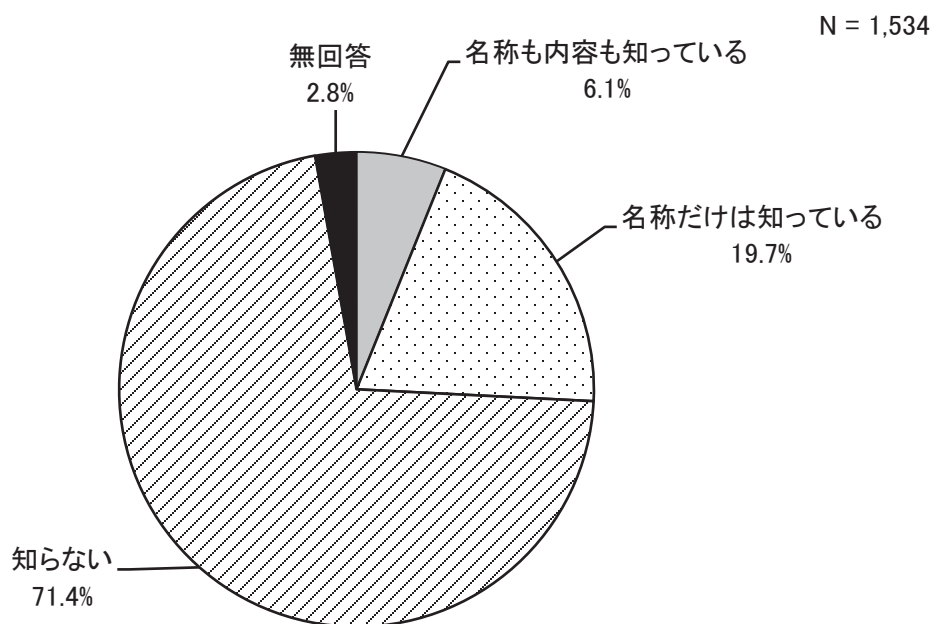
【行政区別】



## ② HACCP (ハサップ)

※安全な食品を製造するための管理方法のひとつです。加熱温度を測定するなど、特に重要な工程を継続して監視・記録します。浜松市では、平成28年2月から、HACCPに取り組む事業者を認証する制度を開始しました。

「HACCP」の認知度は25.8%



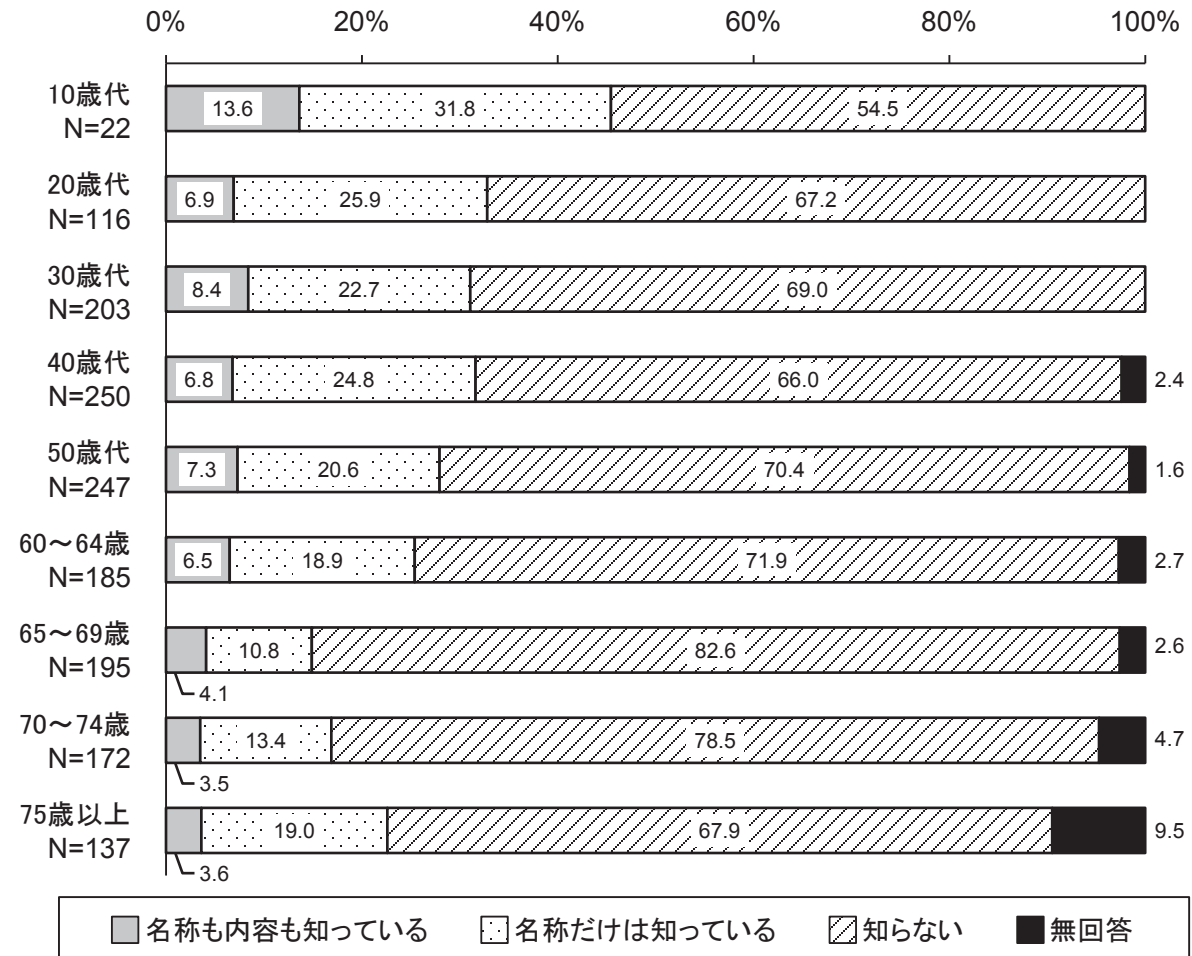
「名称も内容も知っている」は6.1%にとどまり、「名称だけは知っている」(19.7%)を合わせた『認知度』も25.8%となり、「知らない」の71.4%を45.6ポイント下回った。

年齢別で見ると、若年層と比較して高齢者の『認知度』が低い傾向がみられた。最も『認知度』が高かったのは10歳代の45.4%で、最も低かったのは65～69歳の14.9%だった。

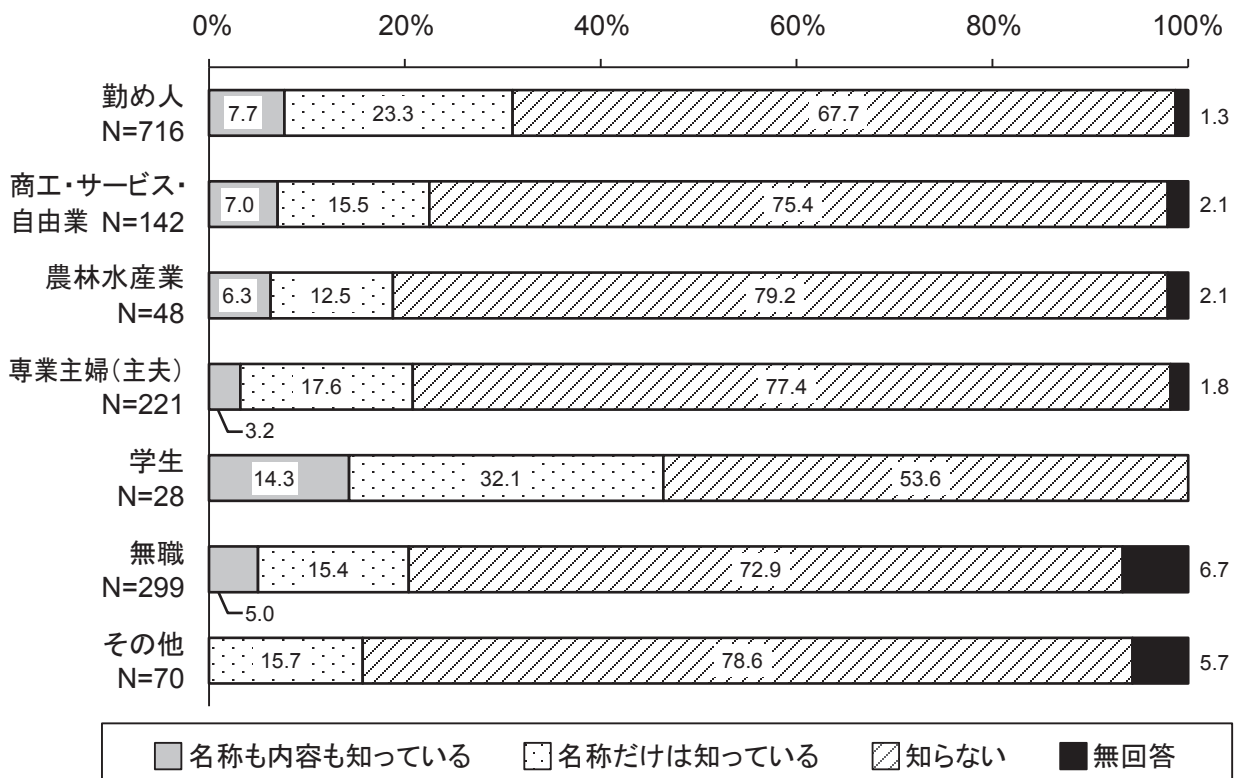
職業別で見ると、最も『認知度』が高かったのは学生の46.4%で、最も低かったのは農林水産業の18.8%だった。また、専業主婦(主夫)の『認知度』も20.8%と低く、「名称も内容も知っている」に限ってみれば3.2%で最も低かった。

本市では、これまで主に食品事業者に対してHACCPの普及啓発を行ってきた。本年開始した認証制度によってHACCPに取り組む事業者を消費者が確認できるようになったことから、今後は消費者に対してもHACCPの認知度向上を図る必要がある。特に食の安全に対する関心が高いと思われる高齢者、専業主婦(主夫)の『認知度』が低かったことから、出前講座等を活用したHACCPの認知度向上はもちろん内容まで踏まえたさらなる啓発活動が必要である。

【年齢別】



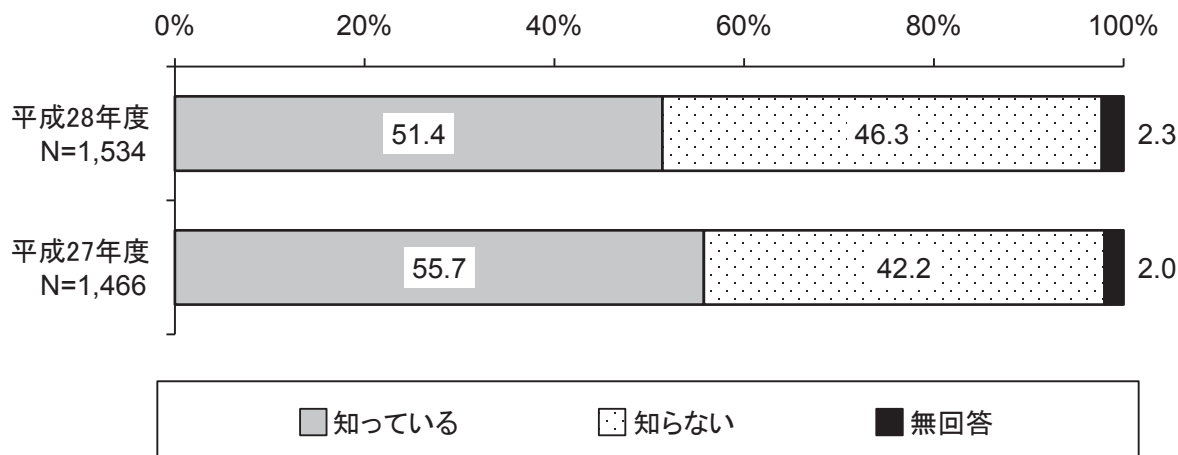
【職業別】



### ③ 市制記念日

※浜松市では市制施行を記念して、7月1日を市制記念日として定めています。

「市制記念日」を知っている人は51.4%



「知っている」が51.4%となり、「知らない」の46.3%を5.1ポイント上回った。平成27年度調査と比較すると、「知っている」の割合は4.3ポイント低下した。

年齢別でみると、年齢が高い人ほど認知度が高い傾向がみられ、20歳代では「知っている」が28.4%、30歳代では24.1%と、他の年齢層に比べて認知度が低かった。

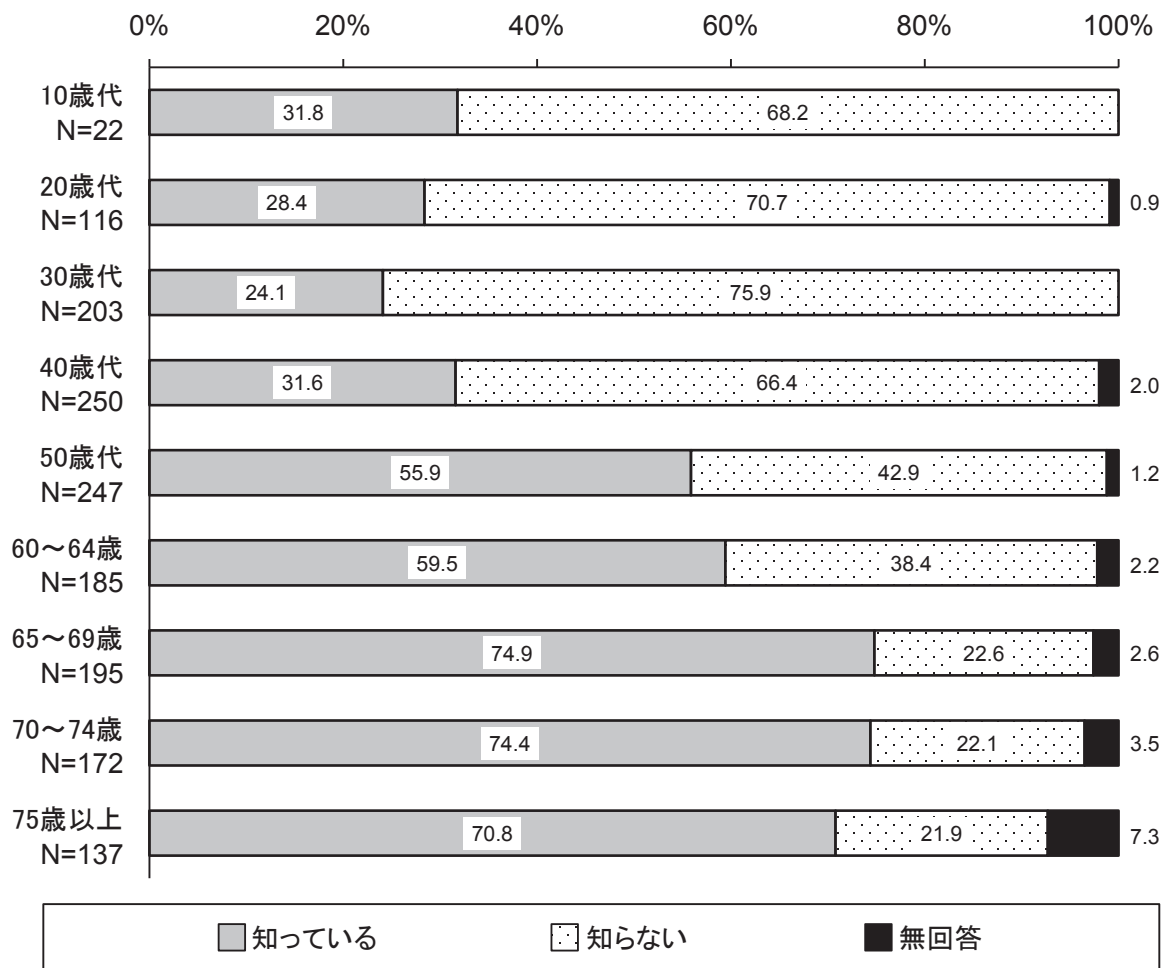
行政区別でみると、天竜区では「知っている」が37.9%、北区では39.6%となっており、「知っている」が「知らない」の割合を下回った。市制記念日に開催している式典について、平成27年度は、中区と天竜区の小学生の市内間交流事業発表なども行ったが、天竜区や若年層の認知度が低い結果となっている。

今回調査後の平成28年度の式典では、平成27年度調査の結果を踏まえ、市内外で活躍している遠州天竜太鼓龍勢組の演奏や、田辺一邑氏による講談などを行った。

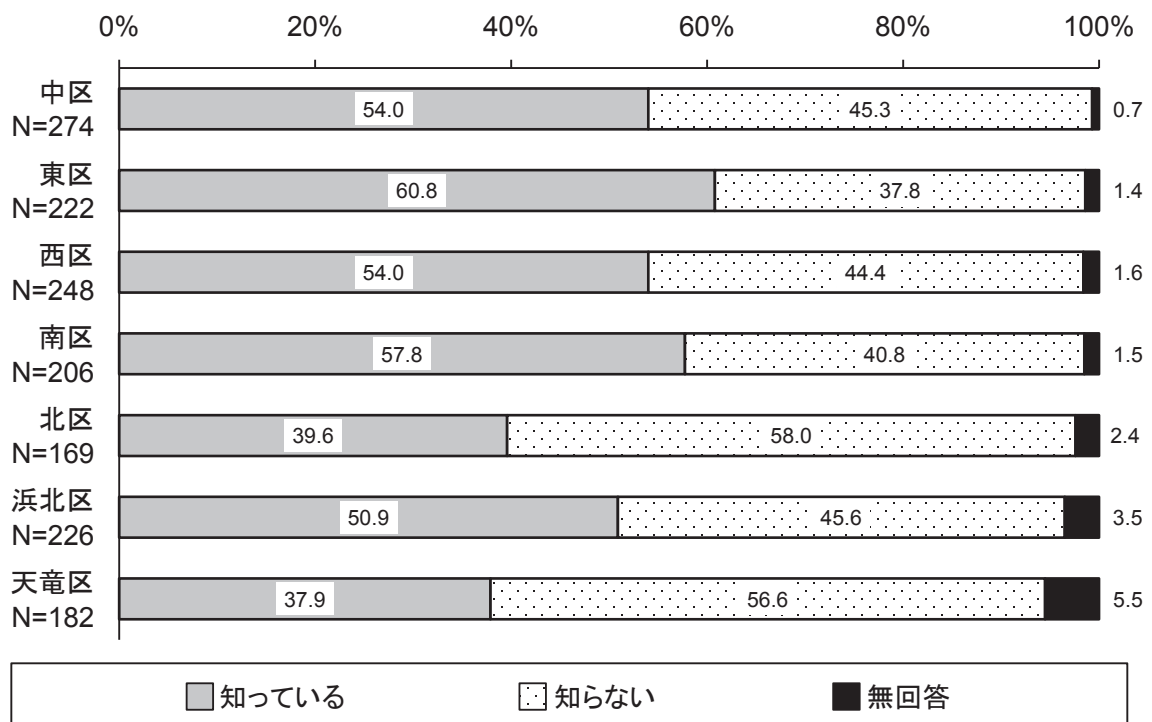
来年度は、今回の調査で特に減少がみられた北区の認知度向上を図るため、北区がゆかりの地で、来年1月から放送が開始される大河ドラマ「おんな城主直虎」を意識しながら、市制記念日の周知方法や、式典の内容を検討したい。



【年齢別】



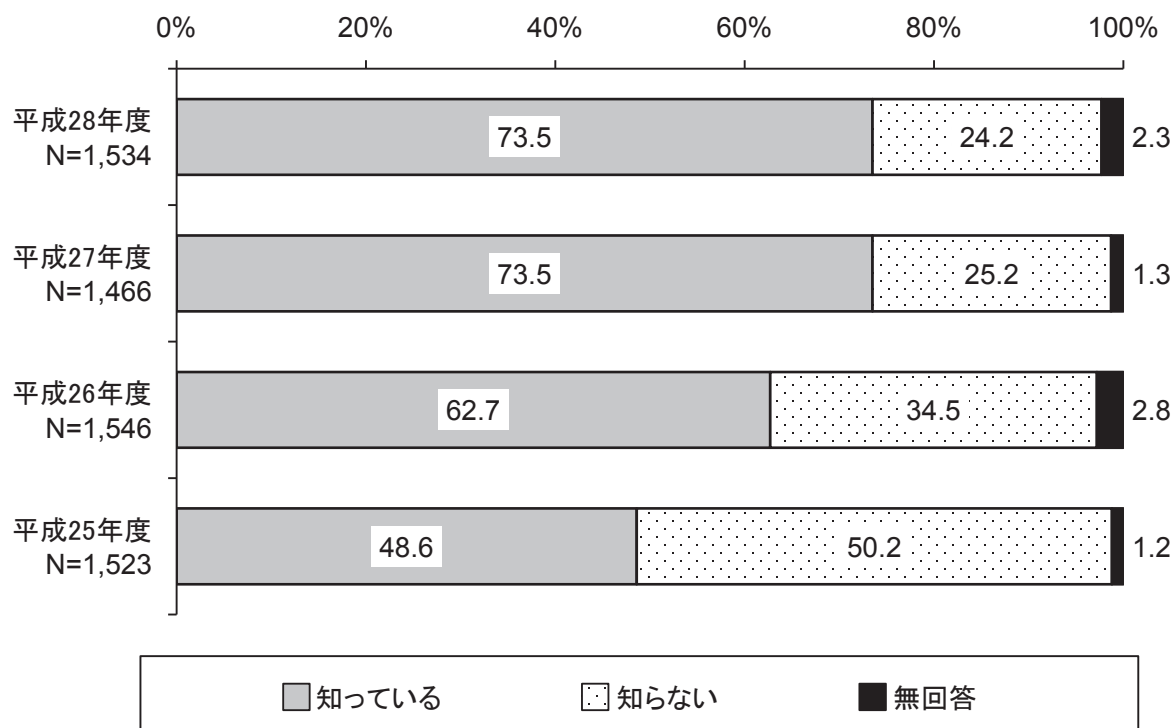
【行政区別】



#### ④ 協働センター

※平成25年4月から、公民館が、併設されている市民サービスセンターと統合し「協働センター」となりました。

「協働センター」を知っている人は73.5%

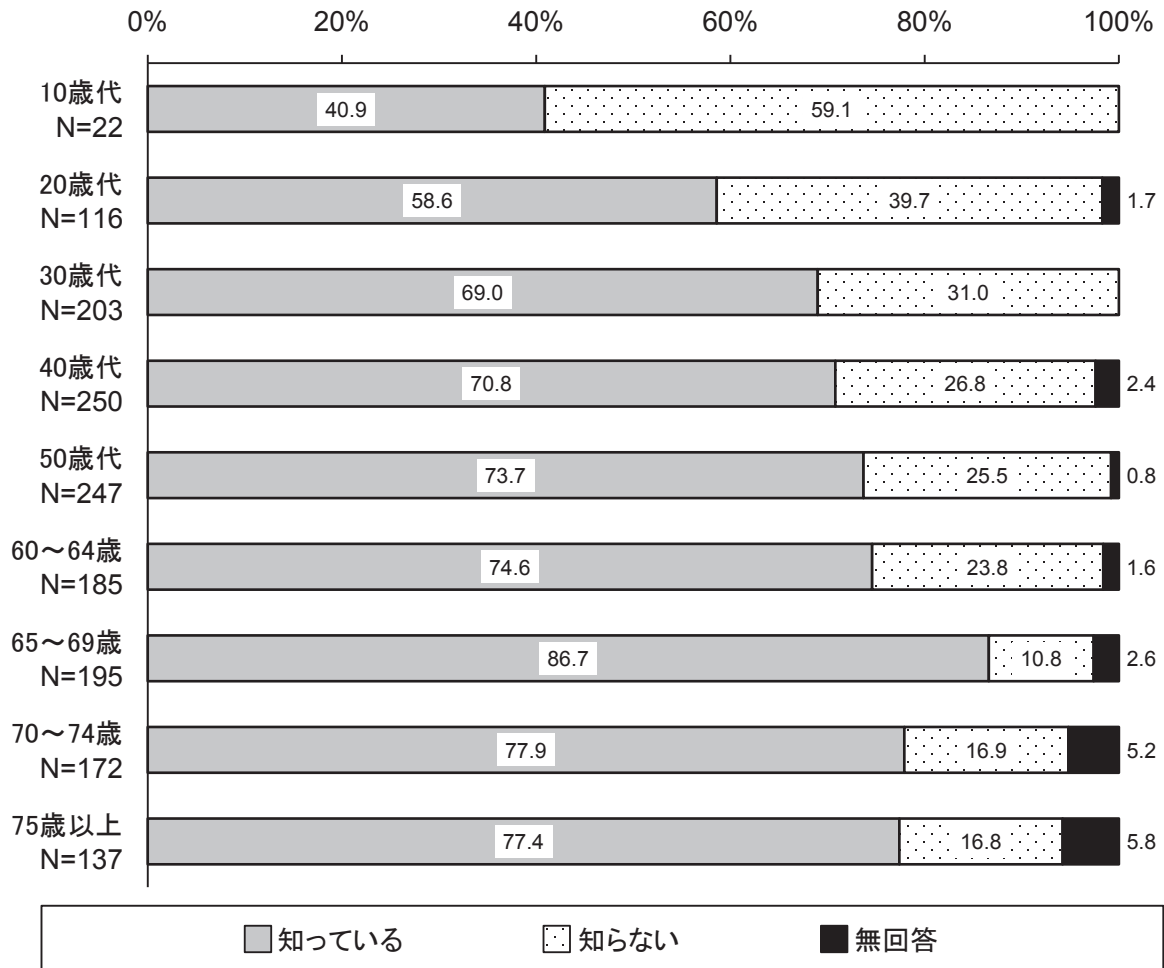


「知っている」が、平成27年度調査比横ばいの73.5%であり、「知らない」の24.2%を49.3ポイント上回った。協働センター発足直後の平成25年度調査では「知っている」が48.6%と50%を割りこんでいたが、平成26年度調査は62.7%、平成27年度調査は73.5%と徐々に市民に浸透してきた。

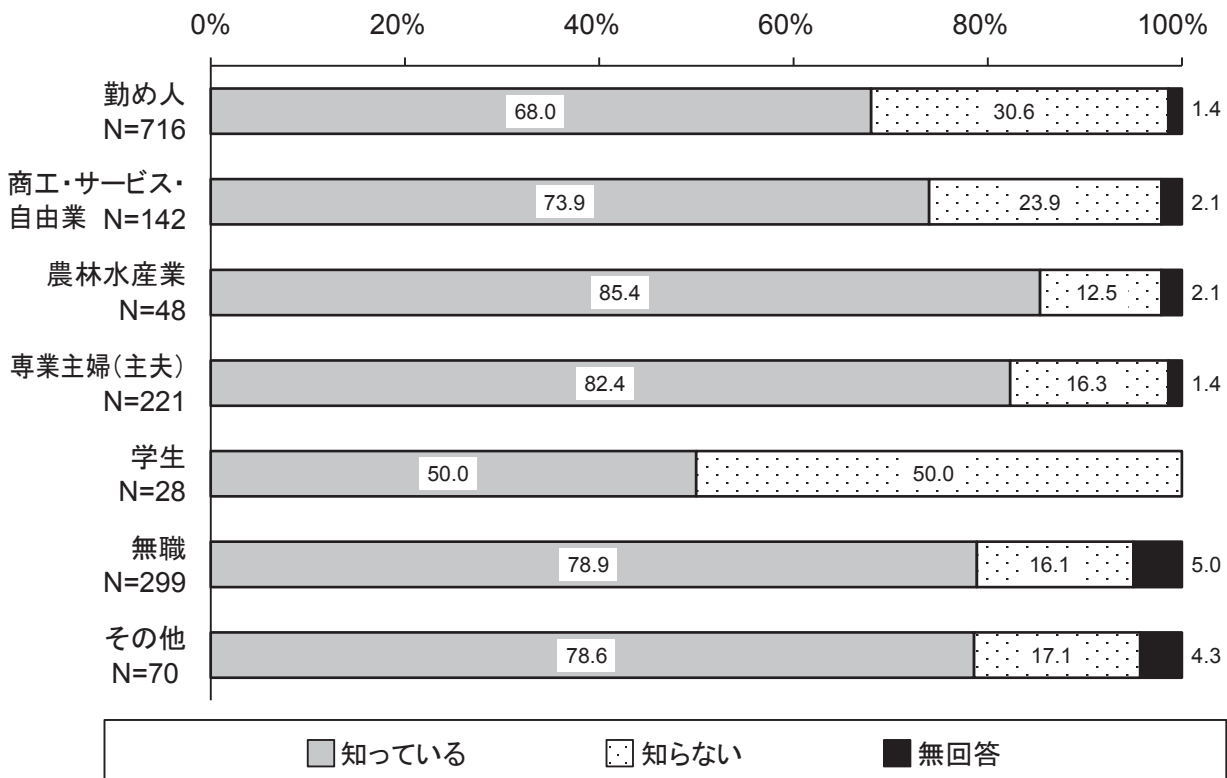
年齢別で見ると、年齢が低くなるほど「知っている」の回答割合も低くなり、10歳代は「知っている」が40.9%と「知らない」の59.1%を下回った。職業別で見ると、学生、勤め人の順で「知らない」の回答割合が相対的に高く、とりわけ学生は50.0%に及んだ。

今後、協働センターをさらに浸透させるためには、各世代のニーズにあった広報活動や事業展開が必要であり、特に若年層を対象にした活動が重要である。

【年齢別】



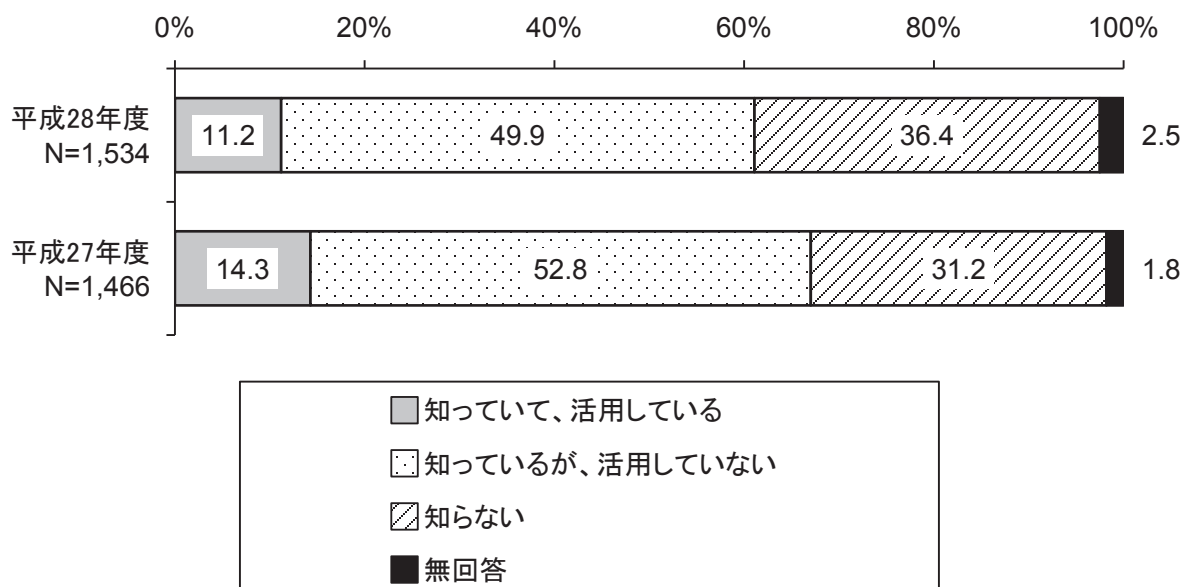
【職業別】



### ⑤ 区版避難行動計画

※災害時にとるべき行動を、区ごとの災害特性をふまえてわかりやすくまとめ、防災マップや防災カードとともに全戸に配布しています。

「区版避難行動計画」の認知度は61.1%



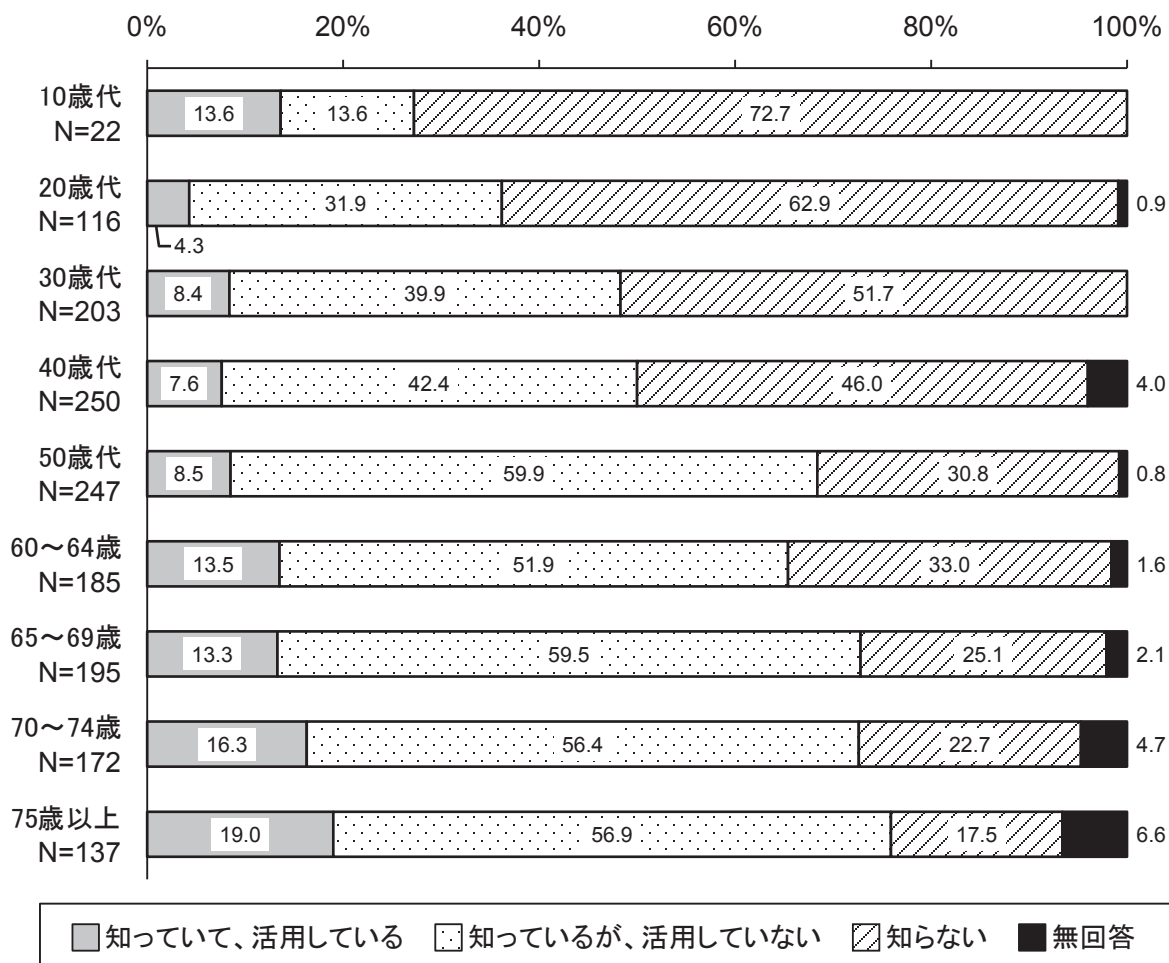
「知っている、活用している」は11.2%にとどまったが、「知っているが、活用していない」の49.9%と合わせた『認知度』は61.1%となった。平成27年度調査と比較すると「知っている、活用している」は3.1ポイント、『認知度』は6.0ポイント低下した。

年齢別で見ると、20歳代の『認知度』は36.2%であるのに対し、50歳代を境に、『認知度』が7割近くになり75歳以上では75.9%となっている。これは、地域防災活動に参加する機会が増すことで防災への関心が高まるものと思われ、引き続き若い世代にターゲットを絞り、転入時の周知や企業研修等での区版避難行動計画の認知と内容説明を行う必要がある。

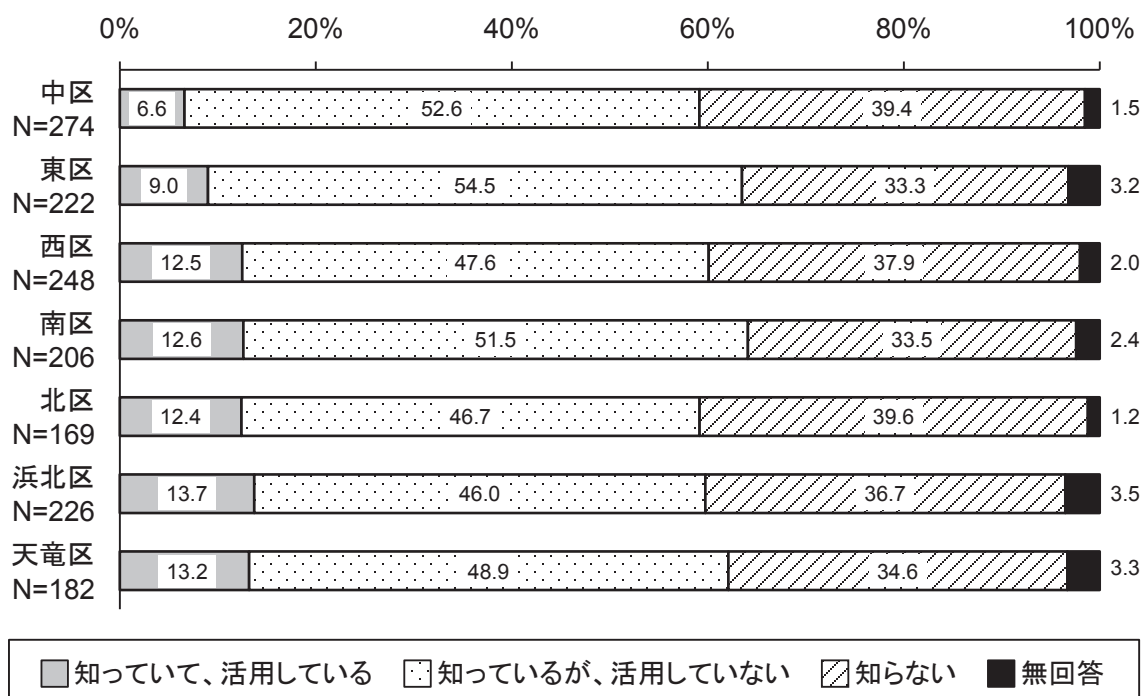
行政区別でみると、『認知度』が最も高かったのは南区の64.1%で、最も低かったのは北区の59.1%となった。

区版避難行動計画は、平成25年4月に全戸配布した冊子である。しかし項目は多岐にわたり、ページ数も多いため、熟読するには時間がかかる。今後は冊子の内容を時期にあわせて焦点を絞り、チラシなどにして配付することも検討したい。

【年齢別】



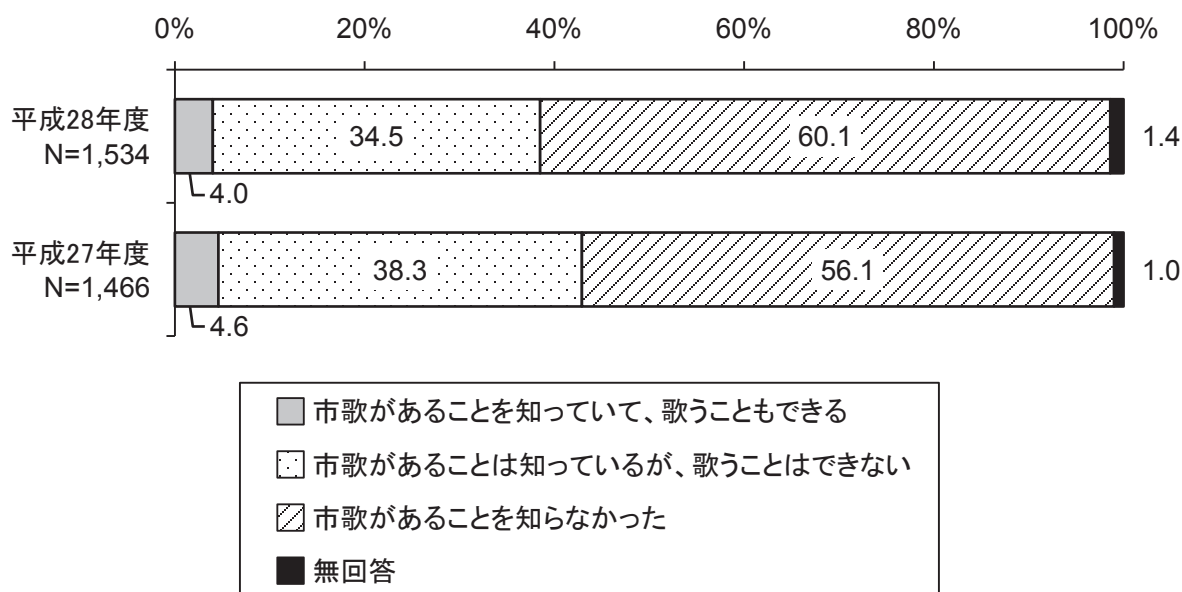
【行政区別】



## 2 浜松市歌について

問2 浜松市では、平成19年、新たに浜松市歌を制定しました。あなたは市歌をご存じですか。また、歌うことができますか。（1つだけ○を付けてください）

「浜松市歌」を『知っている』人は38.5%



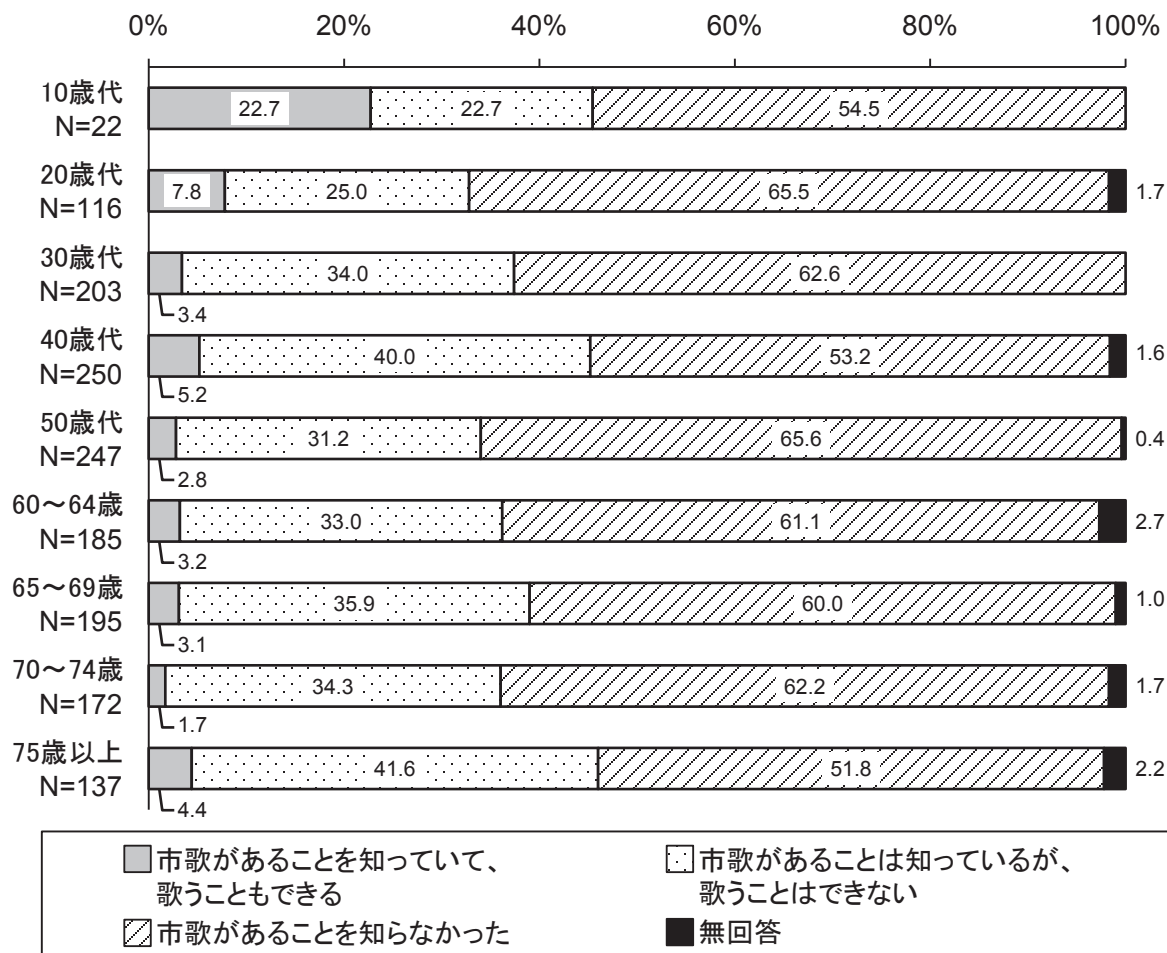
「知っていて、歌うこともできる」は4.0%にとどまったが、「知っているが、歌うことはできない」の34.5%を合わせると38.5%が『知っている』と回答した。「知らなかった」は60.1%と過半数を占め、『知っている』を21.6ポイント上回った。

平成27年度調査と比較すると、「知っていて、歌うこともできる」は0.6ポイント低下、『知っている』は4.4ポイント低下した。昨年からカラオケ配信等を活用して市民への浸透を図っているが、効果が表れていない。

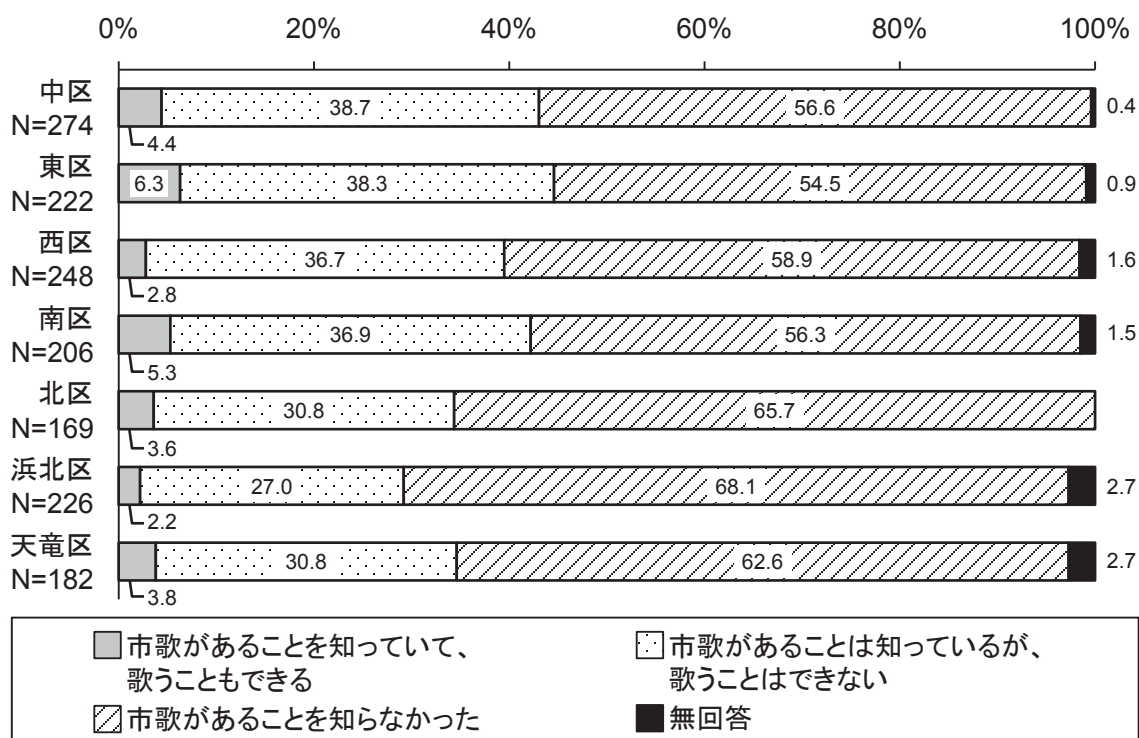
年齢別でみると、10歳代、40歳代、75歳以上では、45%以上の方が『知っている』と回答し、他の年齢層より認知度が高く、中でも10歳代では、「知っていて、歌うこともできる」の割合が22.7%と高かった。

行政区別でみると、『知っている』の割合が最も低いのは浜北区の29.2%となり、次いで北区（34.4%）、天竜区（34.6%）の順に低かった。浜松市歌は合併後の平成19年に制定されているが、旧浜松市外の区への浸透不足が目立った。

【年齢別】

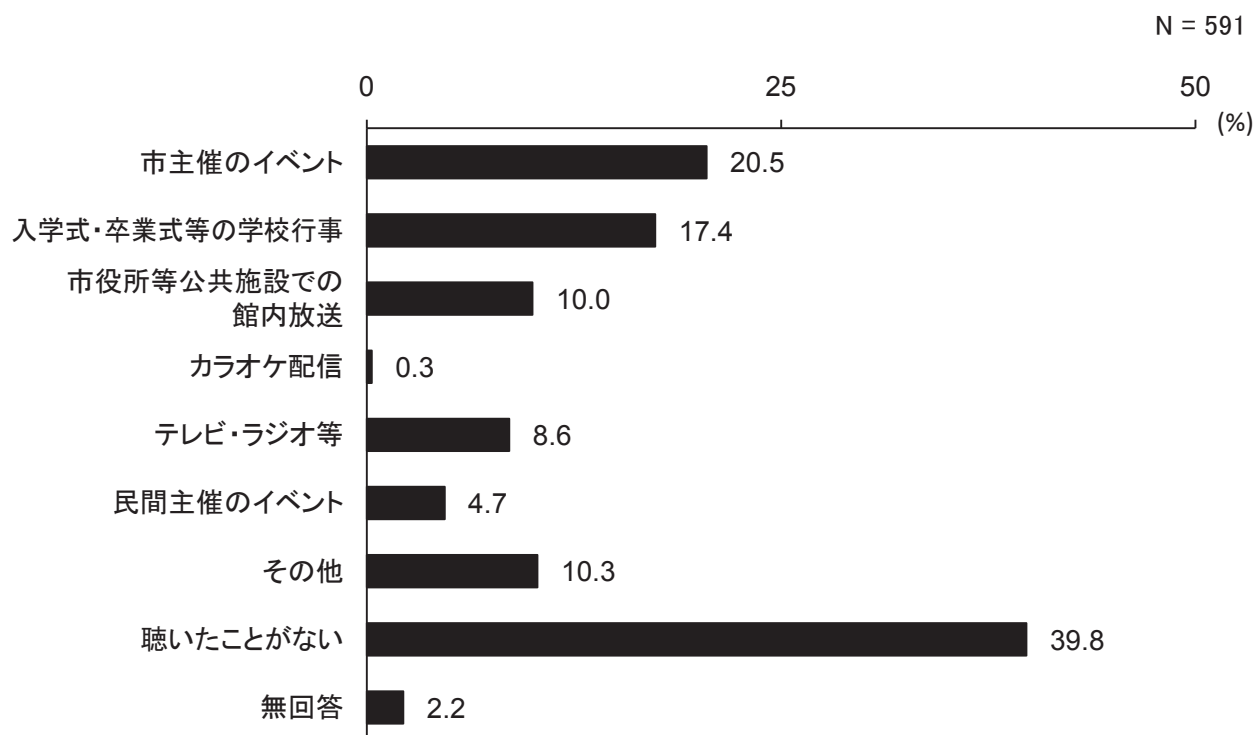


【行政区別】



問3 問2で「1. 市歌があることを知っていて、歌うこともできる」「2. 市歌があることは知っているが、歌うことはできない」とお答えされた方に伺います。市歌をどこかで聞いたことがありますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

学校行事を通じての浸透が有効



「聞いたことがない」が39.8%で最も高かった。「聞いたことがない」を除けば、「市主催のイベント」(20.5%)が最も高く、次いで「入学式・卒業式等の学校行事」(17.4%)の順に高かった。昨年からはじめた「カラオケ配信」は0.3%だった。「その他」(10.3%)の記述欄をみると、10～20歳代は「自分自身の学校での体験」、30～50歳代は「子供の学校行事」「子供が歌っていた」、60歳以上は「孫が歌っていた」「コーラスサークルで歌った」といったコメントが目立った。

性別で見ると、男性は「市主催のイベント」、女性は「入学式・卒業式等の学校行事」の割合が相対的に高かった。

年齢別で見ると、「聞いたことがない」を除けば、10歳代から40歳代では「入学式・卒業式等の学校行事」の割合が高かった。特に10歳代は「入学式・卒業式等の学校行事」の割合が60.0%と高かった。50歳代以上は「市主催のイベント」の割合が高かった。

全体としてまだ認知度は低いものの、10歳代の認知度が高く、「歌うこともできる」割合も突出して高い。入学式・卒業式や音楽鑑賞教室等の学校行事を通じて子供の世代から市歌を浸透させていくことが有効だと思われることから、引き続き教育委員会、学校と協力して認知度向上に努めていきたい。



【性別】

|            | 市主催のイベント | 学校行事<br>入学式・卒業式等の | 館内放送<br>市役所等公共施設での | カラオケ配信 | テレビ・ラジオ等 | 民間主催のイベント | その他  | 聞いたことがない | 無回答 |
|------------|----------|-------------------|--------------------|--------|----------|-----------|------|----------|-----|
| 男<br>N=198 | 18.2     | 14.6              | 9.6                | 0.5    | 8.6      | 4.5       | 5.6  | 44.9     | 3.5 |
| 女<br>N=311 | 20.9     | 21.2              | 9.3                | 0.3    | 9.3      | 5.1       | 12.9 | 36.0     | 1.6 |

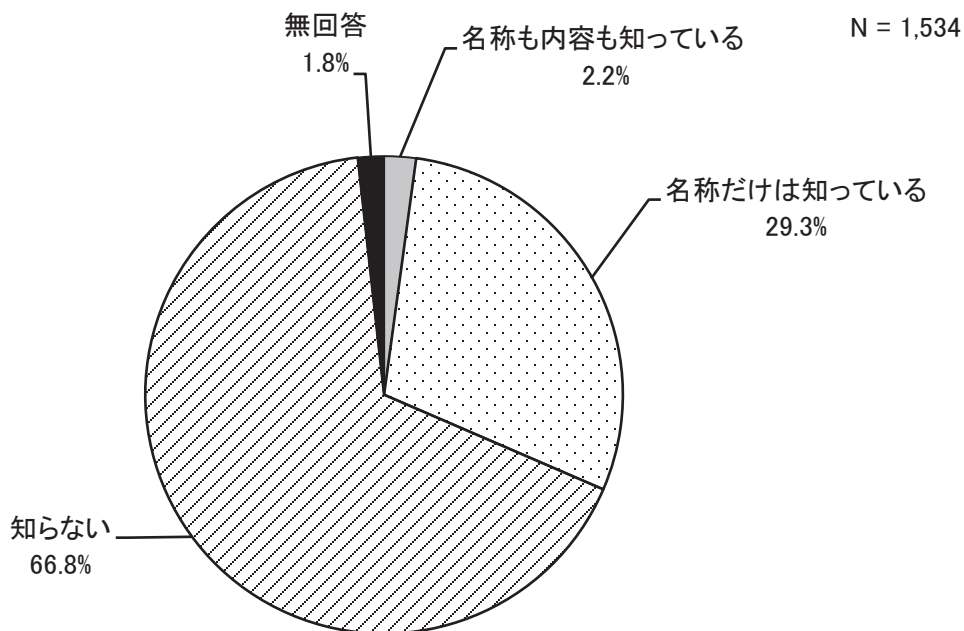
【年齢別】

|                 | 市主催のイベント | 学校行事<br>入学式・卒業式等の | 館内放送<br>市役所等公共施設での | カラオケ配信 | テレビ・ラジオ等 | 民間主催のイベント | その他  | 聞いたことがない | 無回答  |
|-----------------|----------|-------------------|--------------------|--------|----------|-----------|------|----------|------|
| 10 歳代<br>N=10   | 20.0     | 60.0              | 10.0               | -      | -        | 10.0      | 20.0 | 20.0     | 10.0 |
| 20 歳代<br>N=38   | 18.4     | 26.3              | 21.1               | 2.6    | 2.6      | 2.6       | 10.5 | 31.6     | -    |
| 30 歳代<br>N=76   | 11.8     | 25.0              | 10.5               | -      | 6.6      | 3.9       | 9.2  | 42.1     | 3.9  |
| 40 歳代<br>N=113  | 16.8     | 28.3              | 9.7                | -      | 10.6     | 1.8       | 15.0 | 34.5     | -    |
| 50 歳代<br>N=84   | 25.0     | 17.9              | 9.5                | 1.2    | 10.7     | 2.4       | 7.1  | 41.7     | 2.4  |
| 60～64 歳<br>N=67 | 13.4     | 10.4              | 9.0                | -      | 13.4     | 3.0       | 6.0  | 49.3     | 3.0  |
| 65～69 歳<br>N=76 | 25.0     | 7.9               | 11.8               | -      | 5.3      | 2.6       | 10.5 | 48.7     | 1.3  |
| 70～74 歳<br>N=62 | 33.9     | 8.1               | 8.1                | -      | 8.1      | 12.9      | 8.1  | 35.5     | -    |
| 75 歳以上<br>N=63  | 20.6     | 4.8               | 4.8                | -      | 9.5      | 11.1      | 12.7 | 36.5     | 4.8  |

### 3 浜松市総合計画について

問4 あなたは、浜松市総合計画を知っていますか。  
(1つだけ○を付けてください)

「浜松市総合計画」の認知度は31.5%

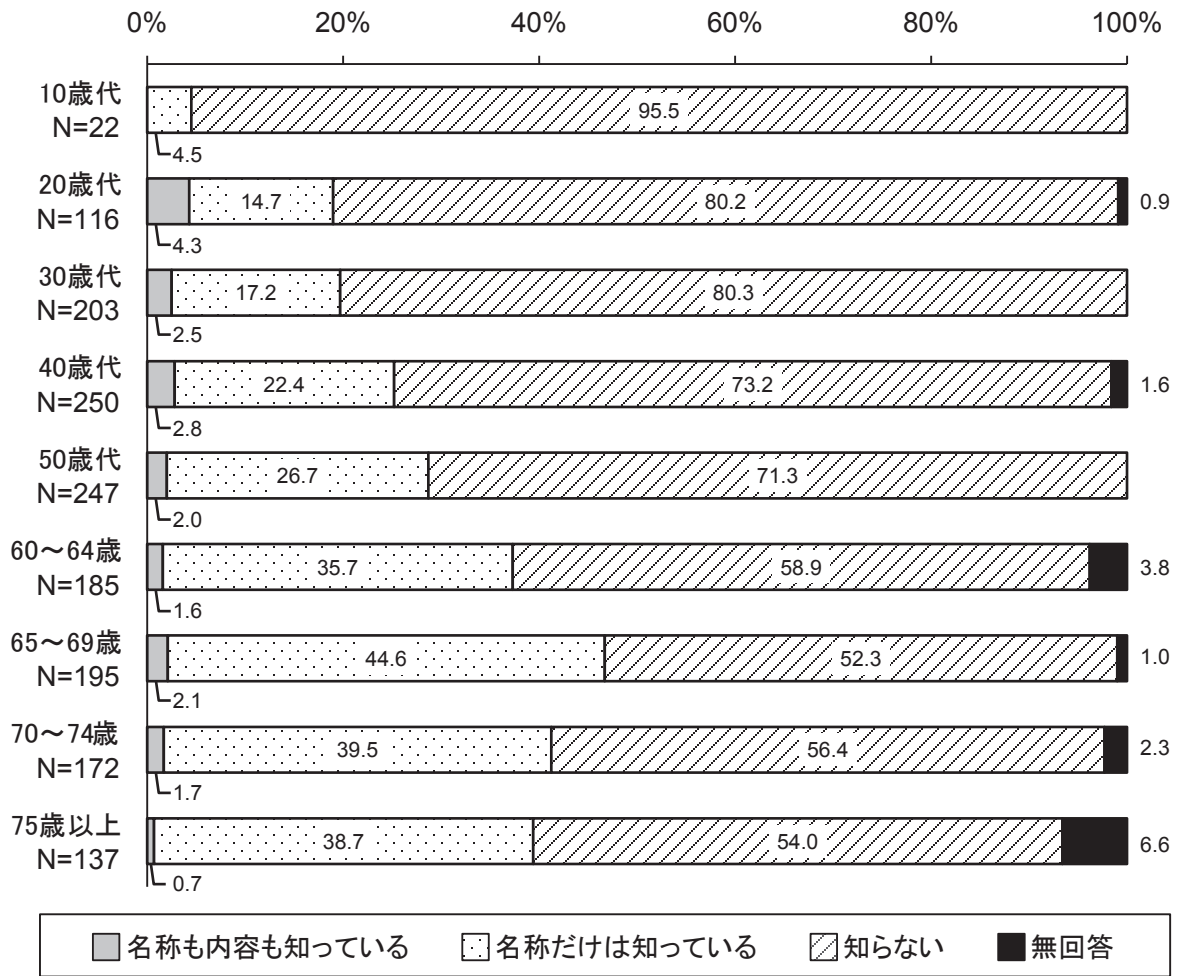


「名称も内容も知っている」は2.2%にとどまり、現状では浜松市総合計画の内容まで知っている人は極めて少ない。「名称も内容も知っている」と「名称だけは知っている」(29.3%)を合わせた『認知度』は31.5%となり、「知らない」の66.8%を35.3ポイント下回った。

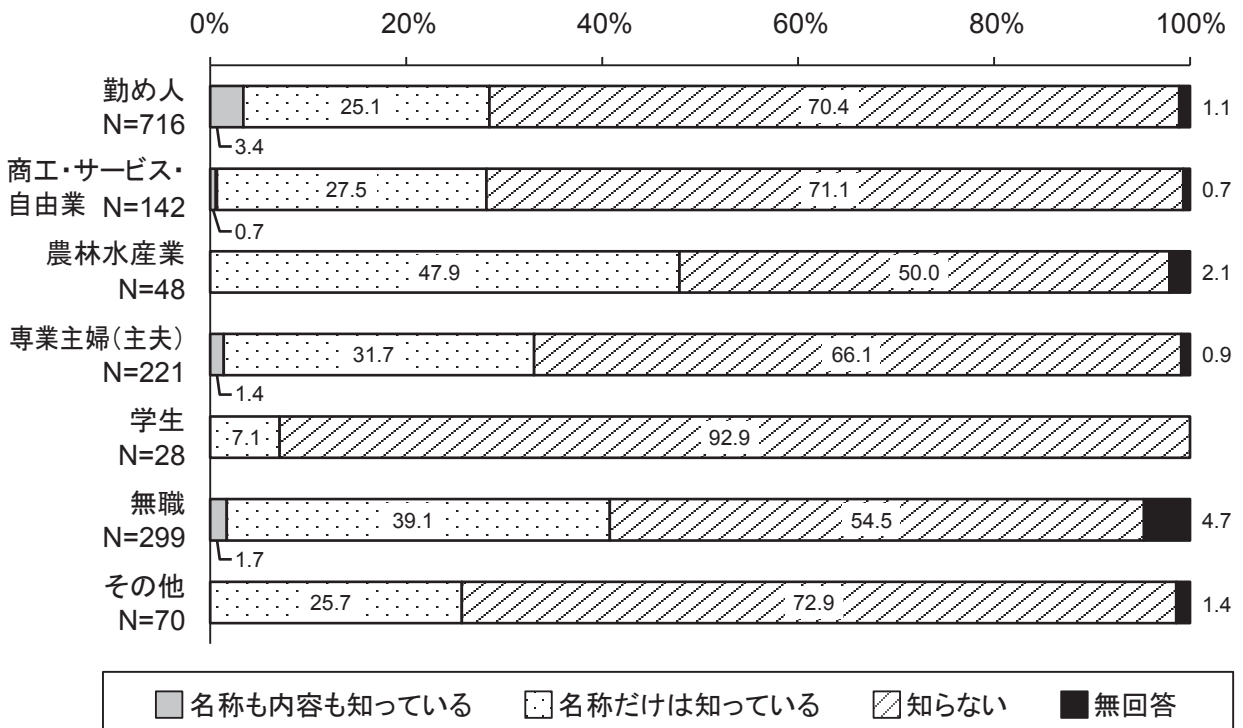
年齢別でみると、『認知度』が最も高いのは65～69歳の46.7%。次いで70～74歳の41.2%であった。ただし、『認知度』が最も高かった65～69歳においても、「知らない」人が過半数を占めていることに加え、「名称も内容も知っている」人は2.1%にとどまっており、名称の認知度向上はもちろん、内容まで踏まえた啓発活動が必要といえる。

職業別でみると、学生は「名称も内容も知っている」と回答した人はなく、92.9%が「知らない」と回答した。

【年齢別】

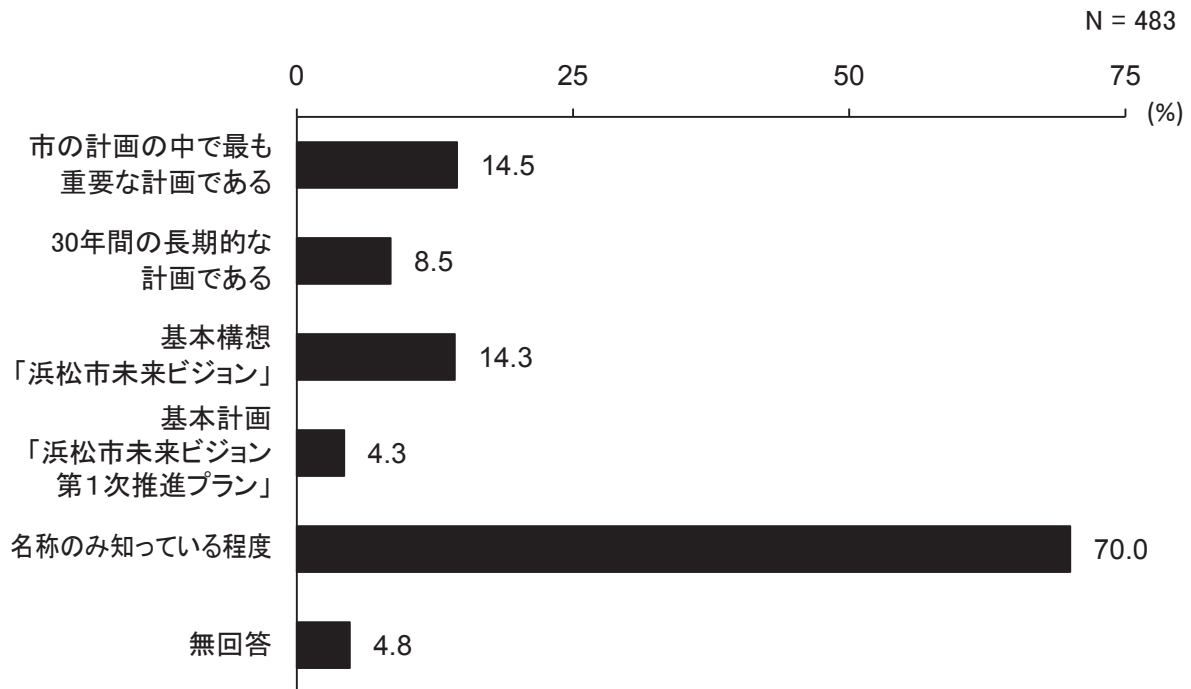


【職業】



問5 問4で「1. 名称も内容も知っている」「2. 名称だけは知っている」とお答えされた方に伺います。浜松市総合計画について知っていることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「名称のみ知っている程度」が70.0%



知っている内容で高かったのは「市の計画の中で最も重要な計画である」で14.5%となり、僅差で「基本構想『浜松市未来ビジョン』」の14.3%が高かった。しかしながら、「名称のみ知っている程度」が70.0%と内容の認知度は低かったことから、啓発活動を行う際には、方法・内容を考えていく必要がある。

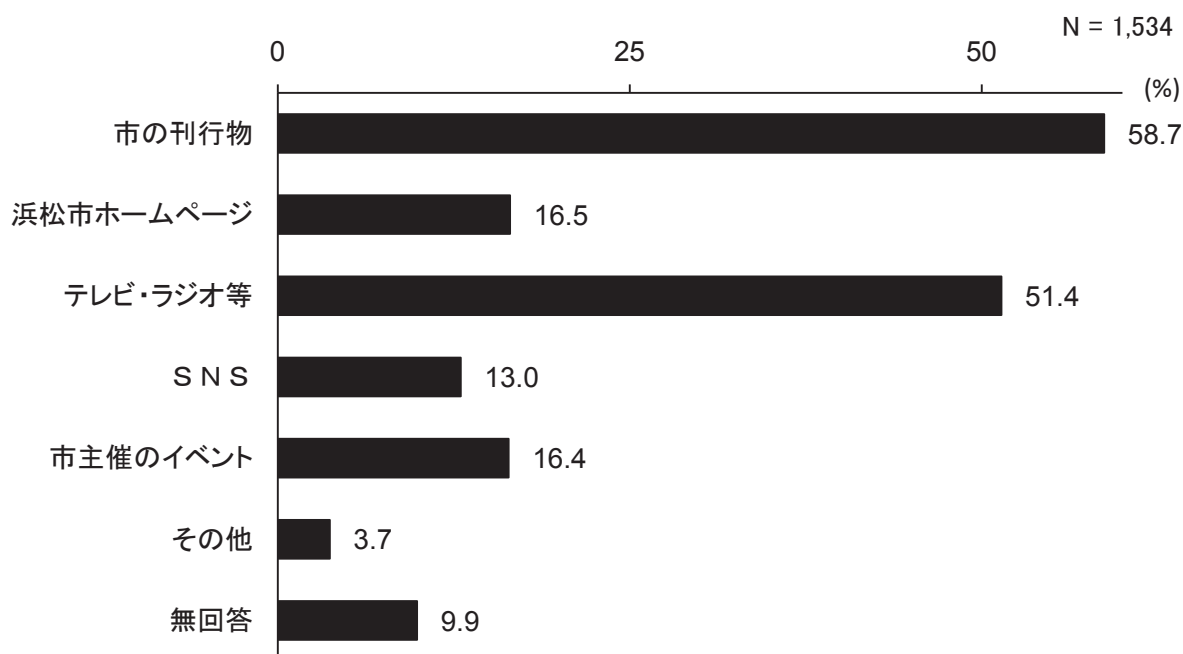
年齢別でみると、すべての年齢層で「名称のみ知っている程度」が最も高かった。相対的にみると、20歳代は「30年間の長期的な計画である」が、30歳代、40歳代は「基本構想『浜松市未来ビジョン』」の回答割合が高かった。

【年齢別】

|                | 市の計画の中で最も重要な計画である | 30年間の長期的な計画である | 基本構想<br>「浜松市未来ビジョン」 | 基本計画<br>「浜松市未来ビジョン<br>第1次推進プラン」 | 名称のみ知っている程度 | 無回答 |
|----------------|-------------------|----------------|---------------------|---------------------------------|-------------|-----|
| 10 歳代 N=1      | —                 | —              | —                   | —                               | 100.0       | —   |
| 20 歳代 N=22     | 22.7              | 31.8           | 9.1                 | 4.5                             | 59.1        | 4.5 |
| 30 歳代 N=40     | 7.5               | 10.0           | 20.0                | 7.5                             | 80.0        | —   |
| 40 歳代 N=63     | 11.1              | 14.3           | 22.2                | 6.3                             | 61.9        | 1.6 |
| 50 歳代 N=71     | 16.9              | 5.6            | 14.1                | 2.8                             | 70.4        | 5.6 |
| 60 ～ 64 歳 N=69 | 10.1              | 1.4            | 10.1                | 1.4                             | 75.4        | 8.7 |
| 65 ～ 69 歳 N=91 | 19.8              | 11.0           | 15.4                | 7.7                             | 67.0        | 3.3 |
| 70 ～ 74 歳 N=71 | 12.7              | 7.0            | 11.3                | 1.4                             | 71.8        | 4.2 |
| 75 歳以上 N=54    | 16.7              | 1.9            | 11.1                | 3.7                             | 70.4        | 9.3 |

問6 浜松市総合計画がどのようなところで紹介されていたら目に触れると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

年齢ごとに効果的な媒体で周知することが必要



最も高かったのは「市の刊行物」の58.7%、次いで「テレビ・ラジオ等」の51.4%であった。

年齢別でみると、10歳代～50歳代までは「テレビ・ラジオ等」が一番高いが、60歳以上は「市の刊行物」が一番高くなっている。「市の刊行物」は年齢が高まるほど割合が高くなる傾向があり、「浜松市ホームページ」、「テレビ・ビデオ等」、「SNS」は年齢が低くなるほど割合が高くなる傾向がある。今後、啓発活動を行う際には、年齢ごとに効果的な媒体・方法を考えていく必要がある。

問4でたずねた浜松市総合計画の認知度別でみると、総合計画の「名称も内容も知っている」人は「市の刊行物」「浜松市ホームページ」といった、能動的に情報を入手する媒体の回答割合が相対的に高かった。総合計画を「知らない」人は、受動的に情報を入手する「テレビ・ラジオ等」を挙げる割合が高かった。

【性別】

|         | 市の刊行物 | 浜松市<br>ホームページ | テレビ・<br>ラジオ等 | SNS  | 市主催の<br>イベント | その他 | 無回答  |
|---------|-------|---------------|--------------|------|--------------|-----|------|
| 男 N=569 | 52.2  | 17.6          | 52.4         | 12.3 | 14.8         | 3.3 | 10.7 |
| 女 N=754 | 63.7  | 16.0          | 52.4         | 14.7 | 18.4         | 4.2 | 7.8  |

【年齢別】

|                 | 市の刊行物 | 浜松市<br>ホームページ | テレビ・<br>ラジオ等 | SNS  | 市主催の<br>イベント | その他 | 無回答  |
|-----------------|-------|---------------|--------------|------|--------------|-----|------|
| 10 歳代 N=22      | 36.4  | 13.6          | 54.5         | 31.8 | 18.2         | 9.1 | 18.2 |
| 20 歳代 N=116     | 47.4  | 26.7          | 66.4         | 47.4 | 19.8         | 4.3 | 7.8  |
| 30 歳代 N=203     | 50.7  | 20.7          | 65.0         | 26.6 | 22.2         | 6.4 | 5.9  |
| 40 歳代 N=250     | 48.8  | 19.2          | 55.2         | 16.8 | 17.6         | 5.2 | 13.2 |
| 50 歳代 N=247     | 60.7  | 19.8          | 61.1         | 10.1 | 15.8         | 3.2 | 6.5  |
| 60 ～ 64 歳 N=185 | 61.6  | 12.4          | 48.1         | 4.3  | 12.4         | 2.7 | 9.7  |
| 65 ～ 69 歳 N=195 | 71.3  | 12.3          | 41.5         | 1.5  | 13.3         | 2.1 | 8.7  |
| 70 ～ 74 歳 N=172 | 66.3  | 10.5          | 38.4         | 2.3  | 18.6         | 2.3 | 12.8 |
| 75 歳以上 N=137    | 67.9  | 10.2          | 29.2         | 0.7  | 11.7         | 2.2 | 13.9 |

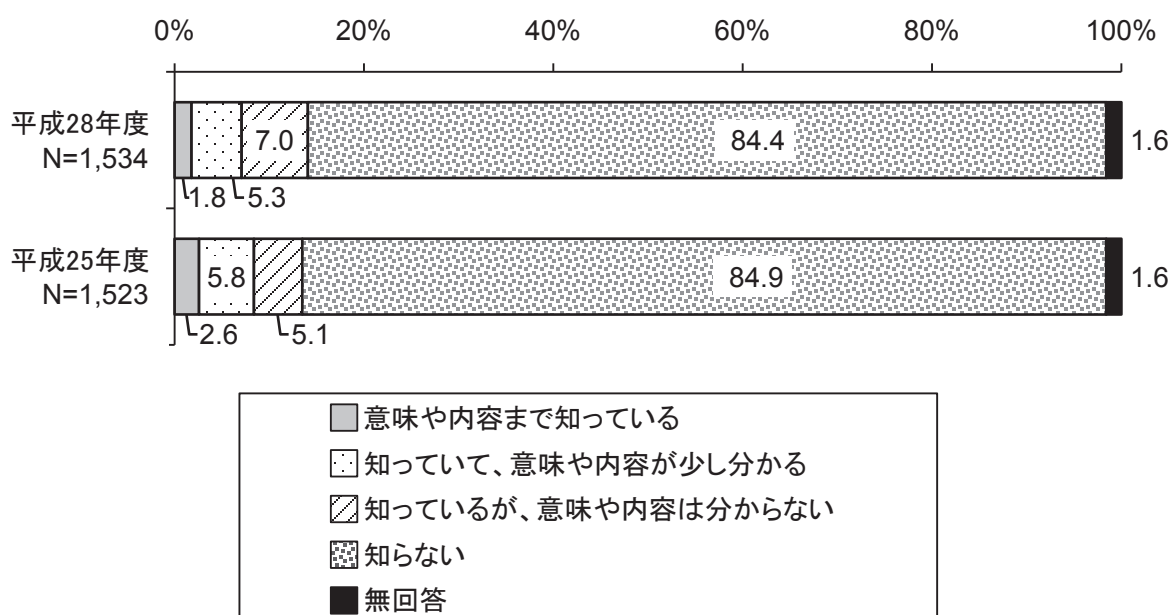
【浜松市総合計画の認知度別】

|                     | 市の刊行物 | 浜松市<br>ホームページ | テレビ・<br>ラジオ等 | SNS  | 市主催の<br>イベント | その他 | 無回答  |
|---------------------|-------|---------------|--------------|------|--------------|-----|------|
| 名称も内容も知っている<br>N=33 | 93.9  | 48.5          | 27.3         | 33.3 | 21.2         | 6.1 | —    |
| 名称だけは知っている<br>N=450 | 73.8  | 19.8          | 41.8         | 8.7  | 22.4         | 4.0 | 0.7  |
| 知らない<br>N=1024      | 52.1  | 14.5          | 57.2         | 14.5 | 14.0         | 3.6 | 12.7 |

## 4 浜松市のスポーツ推進について

問 7 浜松市では、スポーツ推進のスローガンとして、1週間に1回以上、1スポーツをしよう！という意味の「1・1・1（いち・いち・いち）運動」を展開しています。あなたはお存じですか。（1つだけ○を付けてください）

「1・1・1運動」の認知度は14.1%



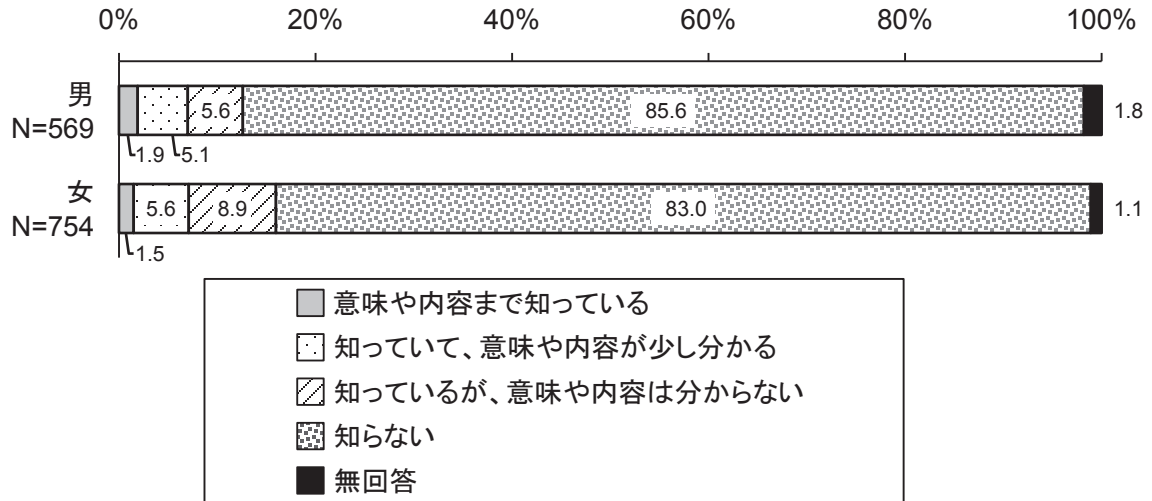
「意味や内容まで知っている」が1.8%、「知っていて、意味や内容が少し分かる」が5.3%、「知っているが、意味や内容は分からない」が7.0%となった。この3項目を合わせた『認知度』は14.1%となり、「知らない」の84.4%を70.3ポイント下回った。平成25年度調査と比較すると『認知度』は0.6ポイント増加したがほぼ横ばいであり、市民への周知が進んでいない状況にある。

『認知度』を性別で見ると、男性が12.6%、女性が16.0%と女性の方がわずかに高いが、男女とも「知らない」を大幅に下回った。年齢別で見ても、年齢が高いほど『認知度』も高くなる傾向がみられるが、最も『認知度』が高い75歳以上でも22.0%にとどまっており、老若男女を問わず周知が不足しているといえる。

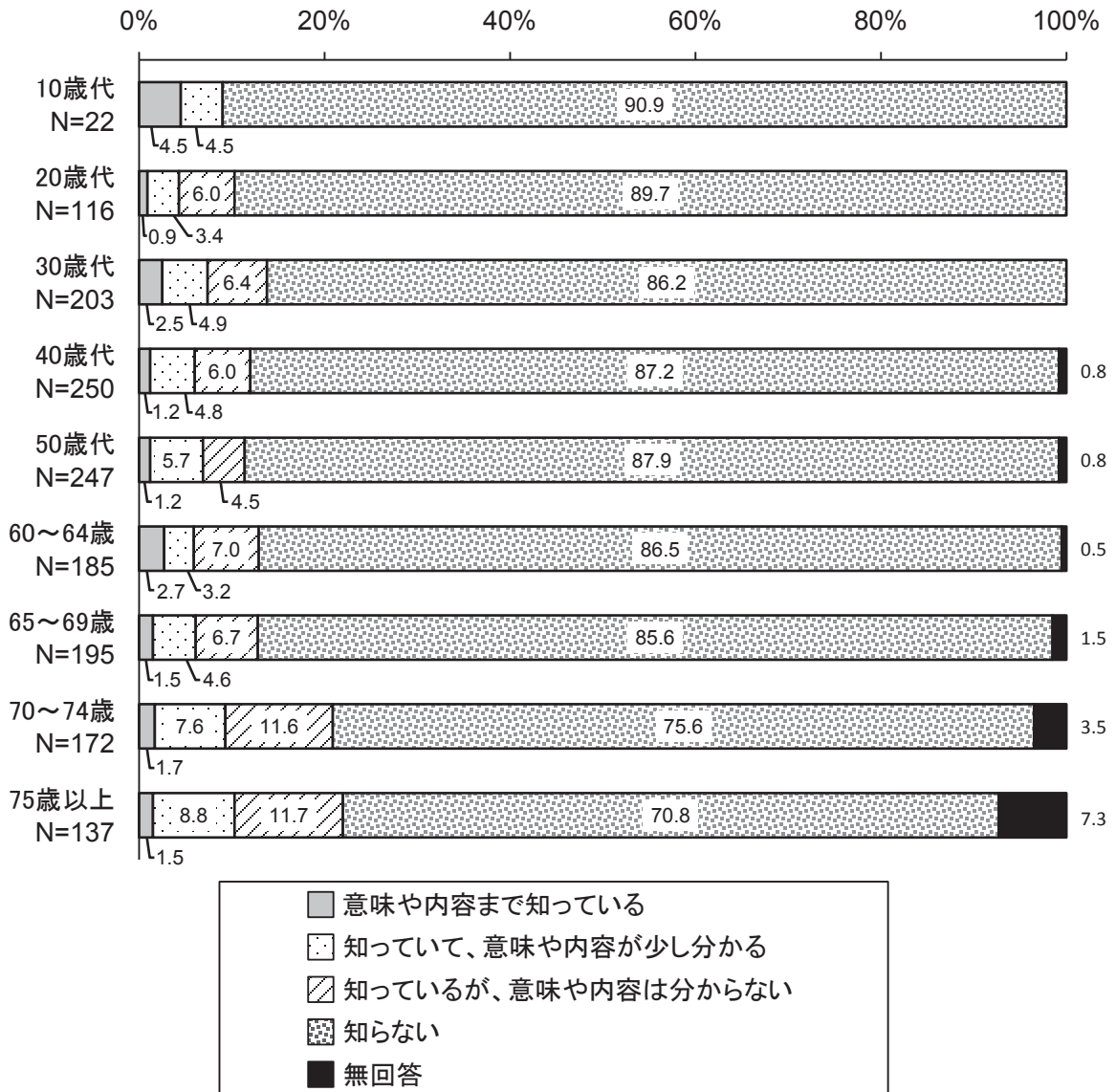
「1・1・1運動」について、市役所での懸垂幕掲出や市街地地下道・体育施設等でのポスター掲示を実施したり、運動量を記録し、運動への意欲向上を図る「1000METsマップ」を作成して市民に配布したりして、周知を図ってきた。認知度が低い理由にスポーツに関心のない市民への周知が進んでいないことが考えられる。「1・1・1運動」の認知度向上を図るため、スポーツへの関心が少ない層への周知方法を工夫していく必要がある。



【性別】

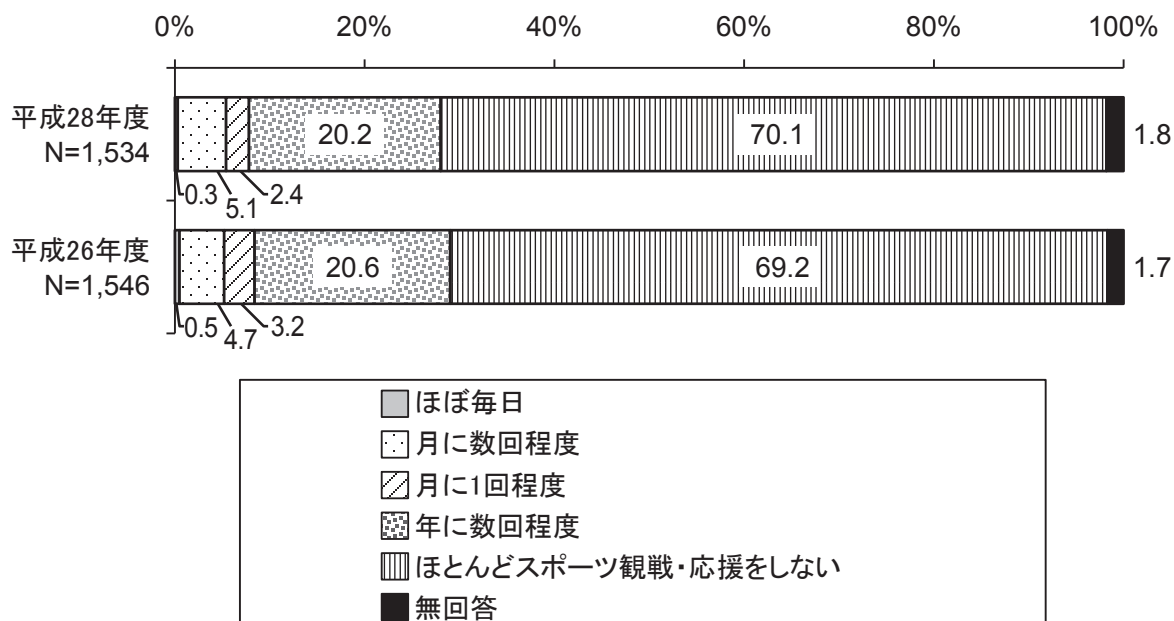


【年齢別】



問 8 過去1年間に、あなたは実際に会場に向いてスポーツ観戦・応援をどの程度行いましたか。プロスポーツだけでなく、地域のスポーツ活動や少年団などの観戦・応援も含まれます。(1つだけ○を付けてください)

『年1回以上』スポーツ観戦・応援をした人は28.0%



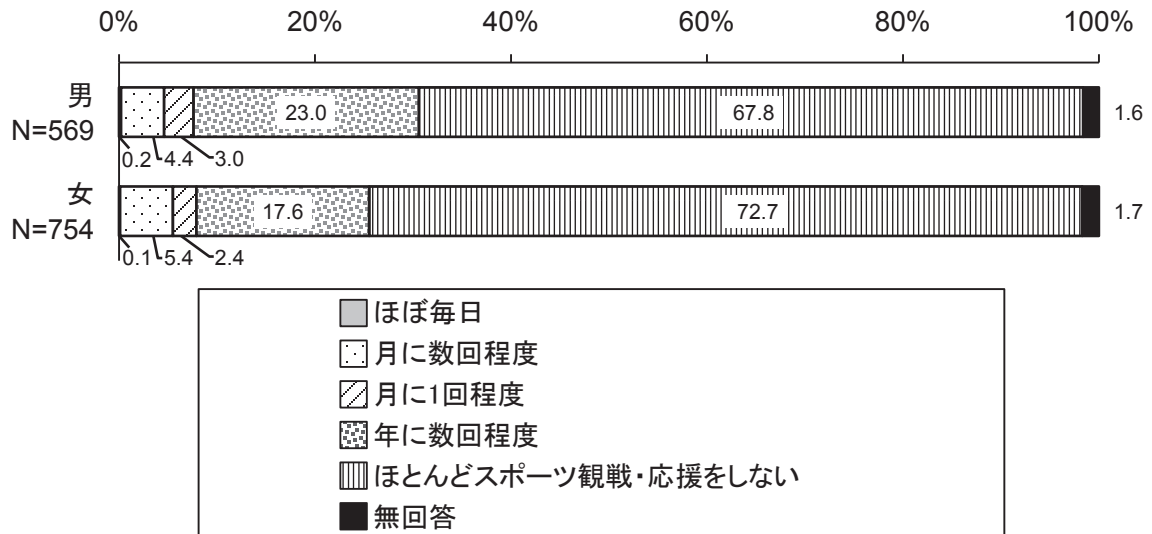
浜松市スポーツ推進計画では、年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率50%以上を目標としているが、「ほぼ毎日」(0.3%)、「月に数回程度」(5.1%)、「月に1回程度」(2.4%)、「年に数回程度」(20.2%)を合わせた『年1回以上』は28.0%となり、推進計画の目標を22.0ポイント下回った。「ほとんどスポーツ観戦・応援をしていない」は70.1%だった。

平成26年度調査と比較すると『年1回以上』の回答割合は、ほぼ横ばいとなっており、「観るスポーツ」の普及が進んでいない。

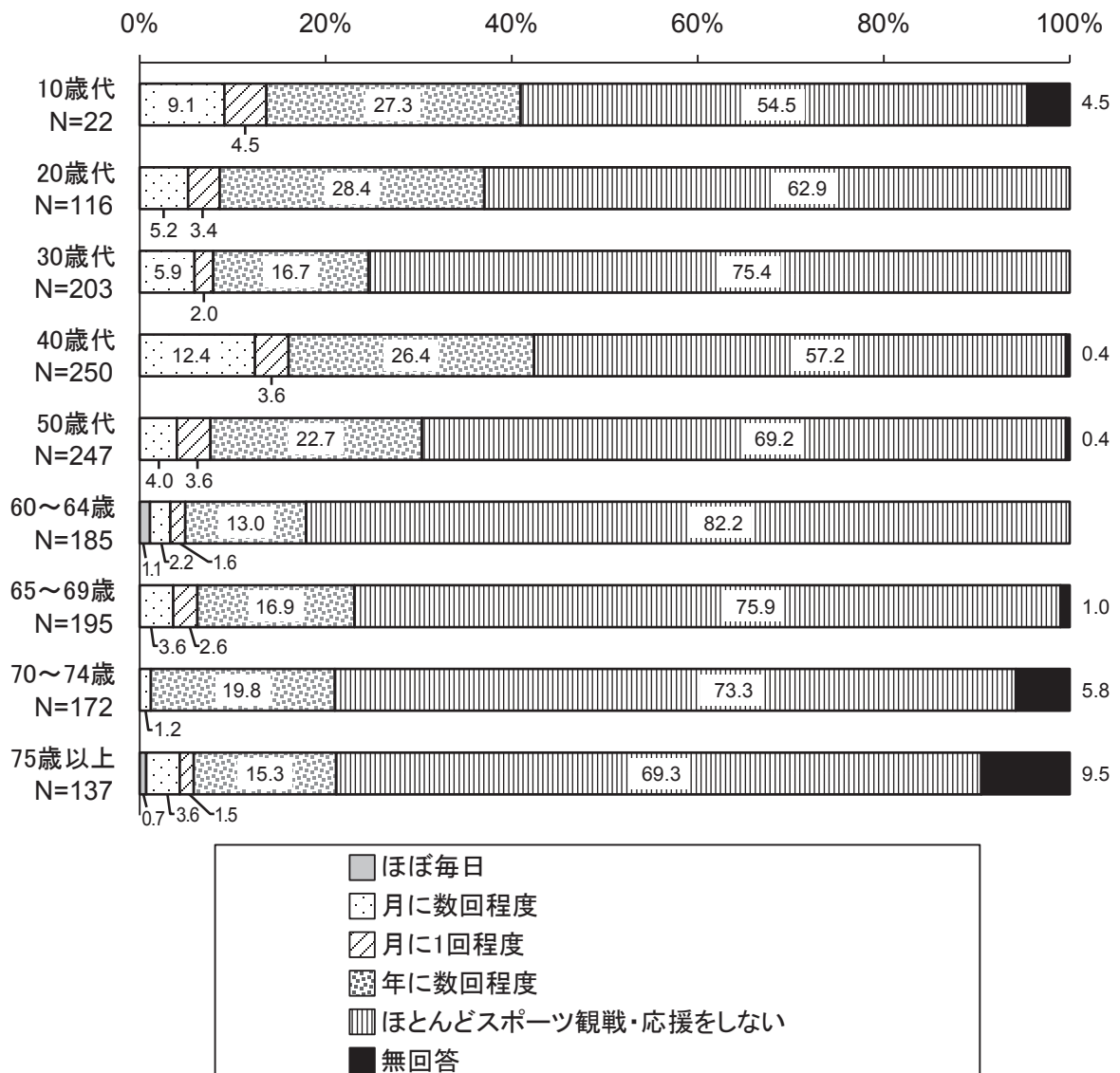
性別で見ると、男性の方が『年1回以上』の回答割合が高かった。年齢別で見ると、『年1回以上』が最も高かったのは40歳代の42.4%で、最も低かったのは60～64歳の17.9%だった。

東京オリンピック・パラリンピック開催決定でスポーツへの関心が高まる中、浜松市から全国大会や国際大会に出場する選手の活躍を市民に広く紹介し、さらにスポーツへの関心を高めていきたい。また、事前キャンプや国際大会等の誘致による「観るスポーツ」の機会創出や地域で観戦できるスポーツイベントの周知に努める必要がある。

【性別】



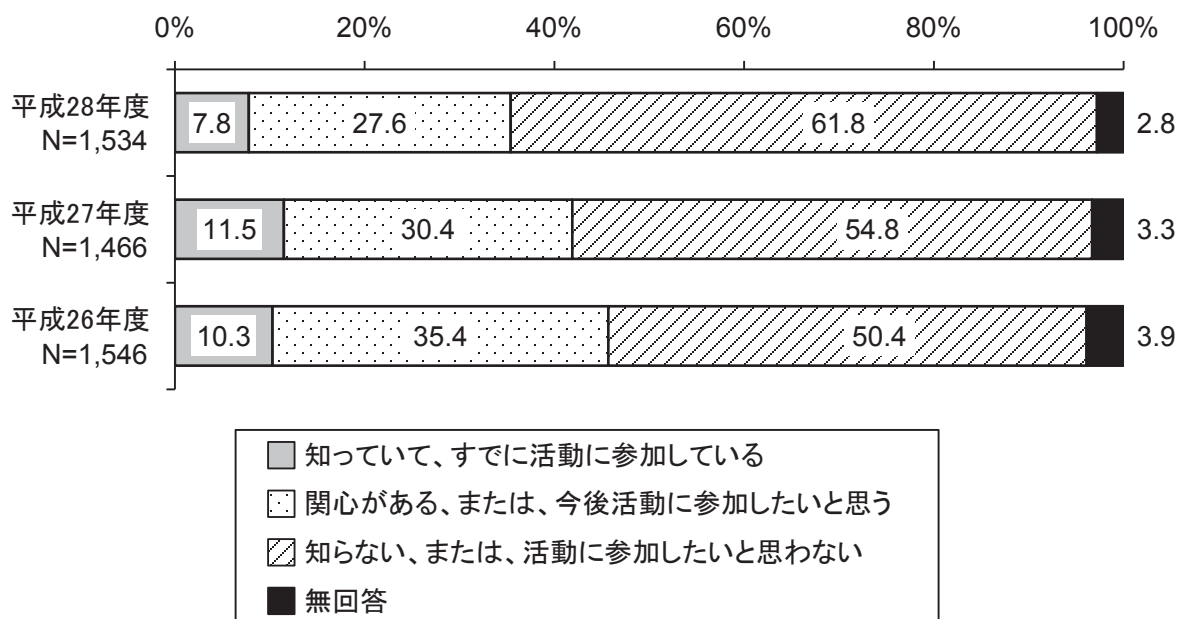
【年齢別】



## 5 地区社会福祉協議会の活動と地域福祉の推進について

問9 あなたは「地区社会福祉協議会」をご存じですか。(1つだけ○を付けてください)

「地区社会福祉協議会」の活動に参加している人は7.8%



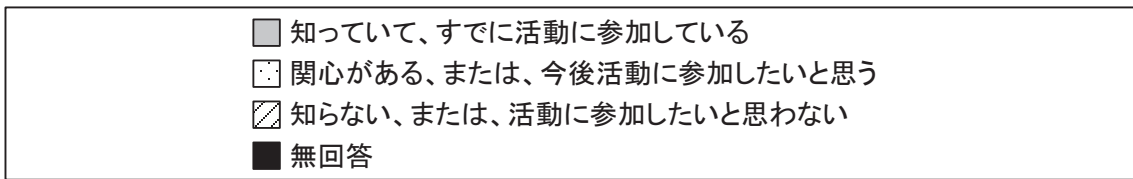
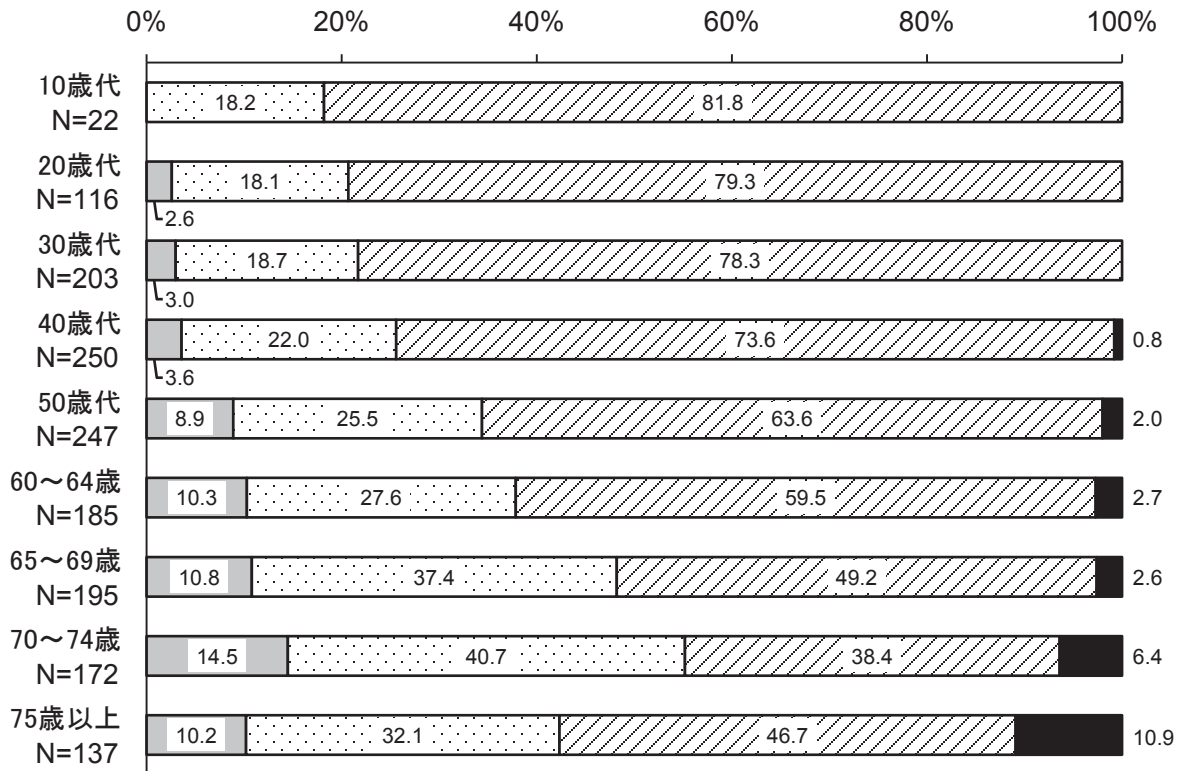
「知っている、すでに活動に参加している」が7.8%、「関心がある、または、今後活動に参加したいと思う」が27.6%となった。「知っている、すでに活動に参加している」と「関心がある、または、今後活動に参加したいと思う」を合わせた『関心度』は35.4%となり、平成27年度調査から6.5ポイント低下、平成26年度調査から10.3ポイントの低下となった。

平成23年3月に発生した東日本大震災により地域の絆や地域福祉に対する意識が向上したものの、5年が経過し、地域福祉への関心が薄れてきているとともに、地区社会福祉協議会の地域住民への周知や参加促進が進んでいない状況がうかがえる。

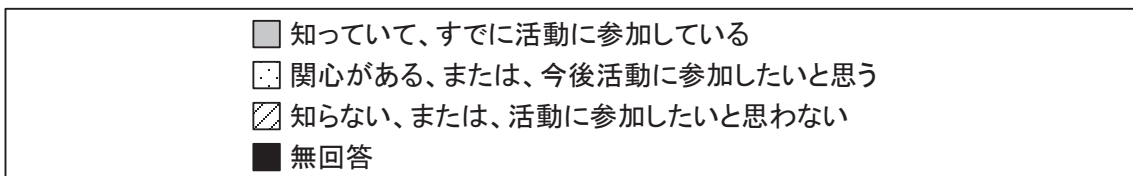
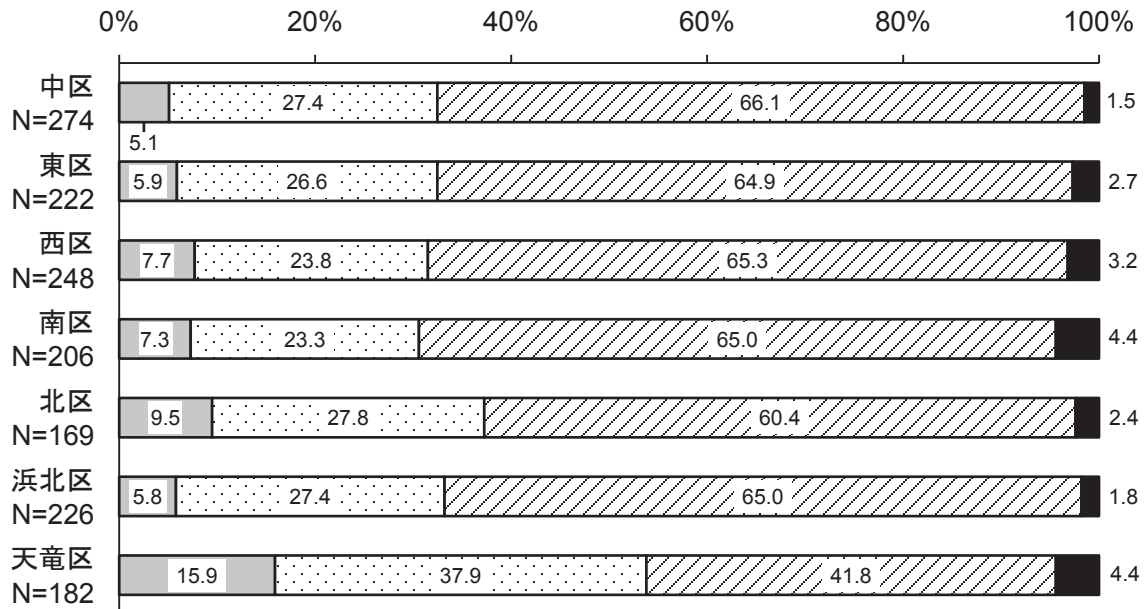
年齢別で見ると、10歳代から30歳代は『関心度』が20%前後と低い一方、65～69歳は48.2%、70歳～74歳は55.2%、75歳以上は42.3%と高く、年齢が高いほど『関心度』も高くなる傾向がみられた。平成27年度調査と比較すると、すべての年代で『関心度』は下がっており（今回から調査実施の10歳代を除く）、特に60～64歳は、55.2%から37.9%と17.3ポイント低下した。

行政区別で見ると、天竜区の『関心度』が53.8%で最も高く、天竜区以外の区の『関心度』はいずれも30%台だった。各区の地域ニーズにあった活動を行うことにより『関心度』を高めしていく必要がある。

【年齢別】

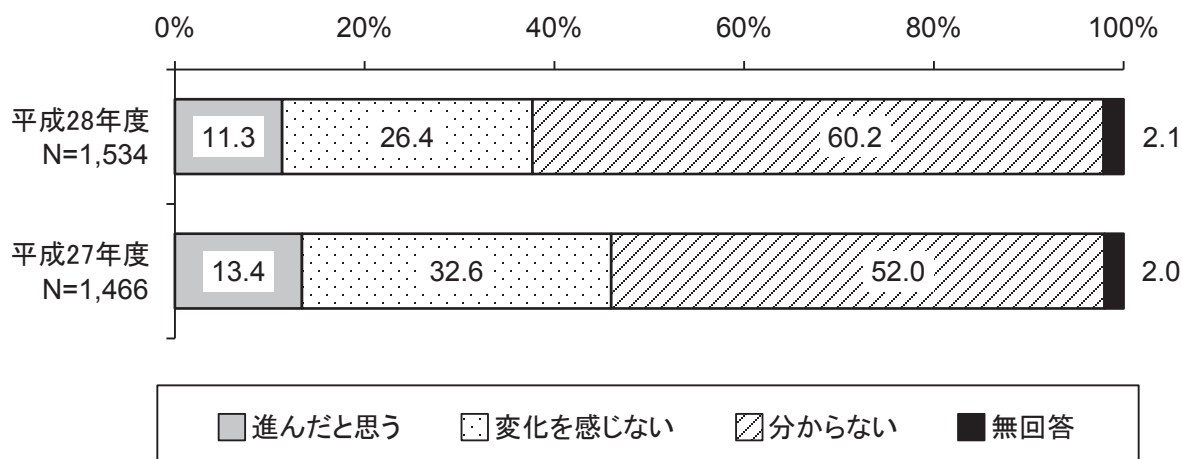


【行政区別】



問 10 地区社会福祉協議会の設立により、地域での支え合いが進んだと思いますか。  
 (1つだけ○を付けてください)

地域での支え合いが「進んだと思う」人は11.3%



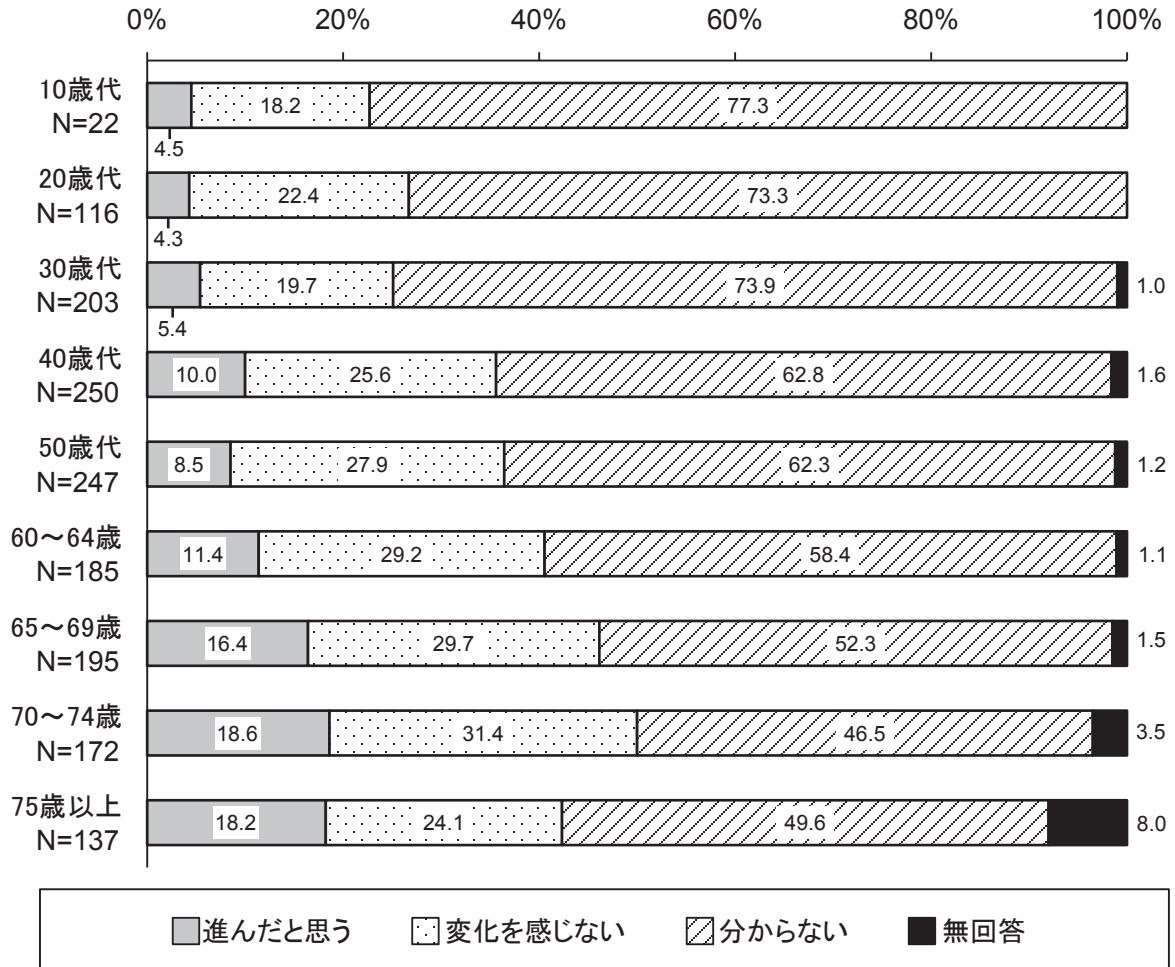
「進んだと思う」は11.3%にとどまり、「変化を感じない」が26.4%、「分からない」が60.2%となった。平成27年度調査と比較すると、「進んだと思う」と「変化を感じない」は回答割合が低下、「分からない」は増加した。平成27年度調査からの変化は、問9の地区社会福祉協議会について「知らない、または活動に参加したいと思わない」の回答割合が増加したためと思われる。

問9でたずねた地区社会福祉協議会の関心度別で見ると、「知っていて、すでに活動に参加している」人は「進んだと思う」が47.5%と半分近い一方、「知らない、または、活動に参加したいと思わない」人は「進んだと思う」は2.1%にとどまり、75.8%が「分からない」と回答している。地区社会福祉協議会の地域住民への周知が進んでいないことが、支え合いの進展度の低さにも繋がっていると思われる。

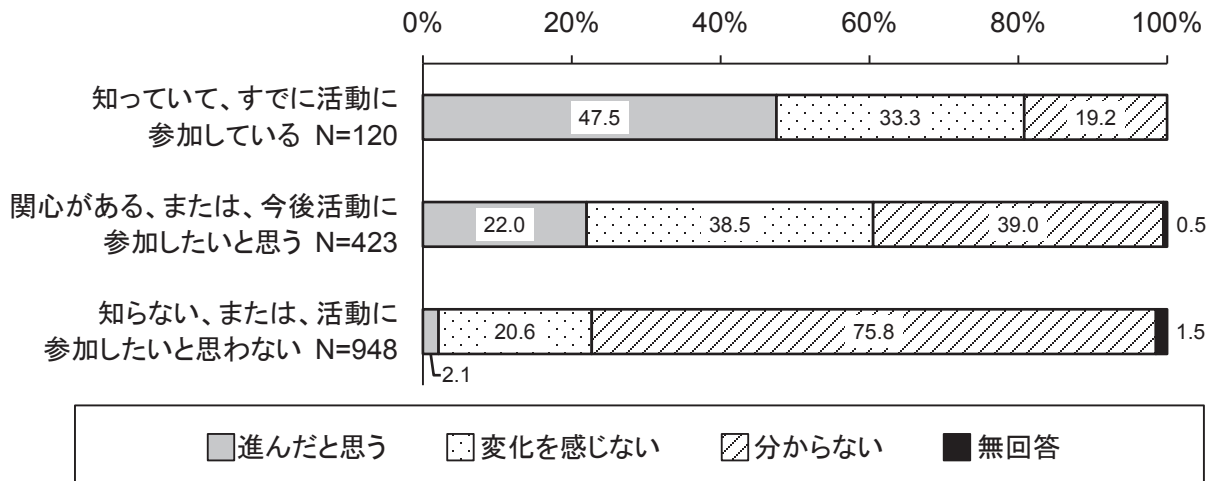
年齢別で見ると、年齢が高まるに伴い「進んだと思う」の回答割合が高くなる傾向がみられたが、いずれの年齢層においても、「変化を感じない」が「進んだと思う」を上回っている。

住民主体による地域福祉活動の推進母体である地区社会福祉協議会は、今後も地域福祉の推進の要となる組織である。その活動について地域住民の理解と参加促進を図っていくためには、地区社会福祉協議会を身近に感じてもらえるような周知活動や、参加しやすい事業づくり及び地域のニーズや課題を把握し地域全体で解決していく取り組みが必要である。

【年齢別】



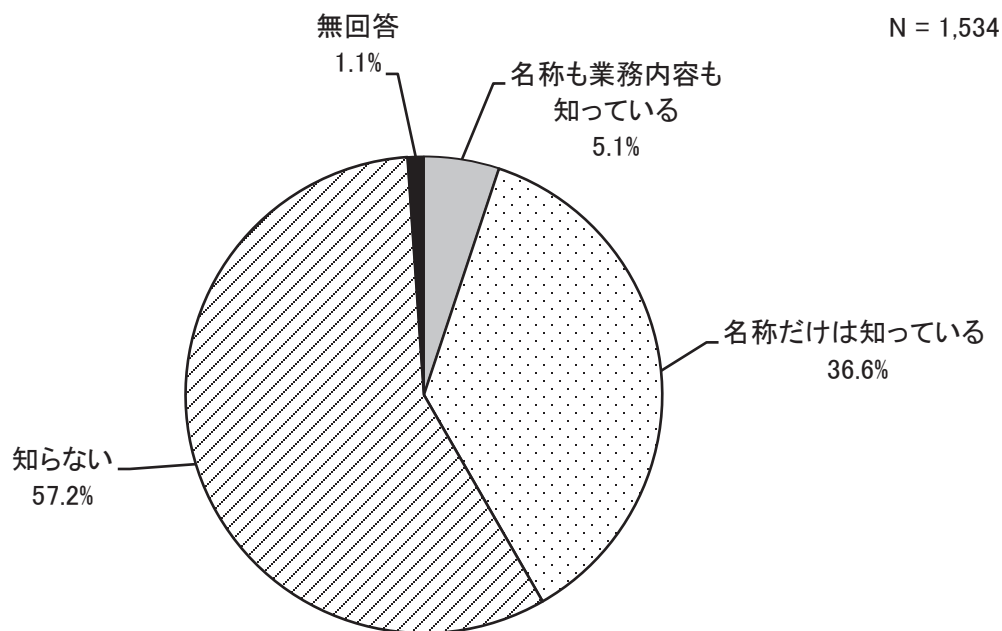
【関心度別】



## 6 消費生活について

問11 あなたは、市役所にある「くらしのセンター」をご存じですか。  
(1つだけ○を付けてください)

「くらしのセンター」の認知度は41.7%



「名称も業務内容も知っている」は5.1%にとどまり、「名称だけは知っている」の36.6%と合わせた『認知度』も41.7%と「知らない」の57.2%を15.5ポイント下回った。

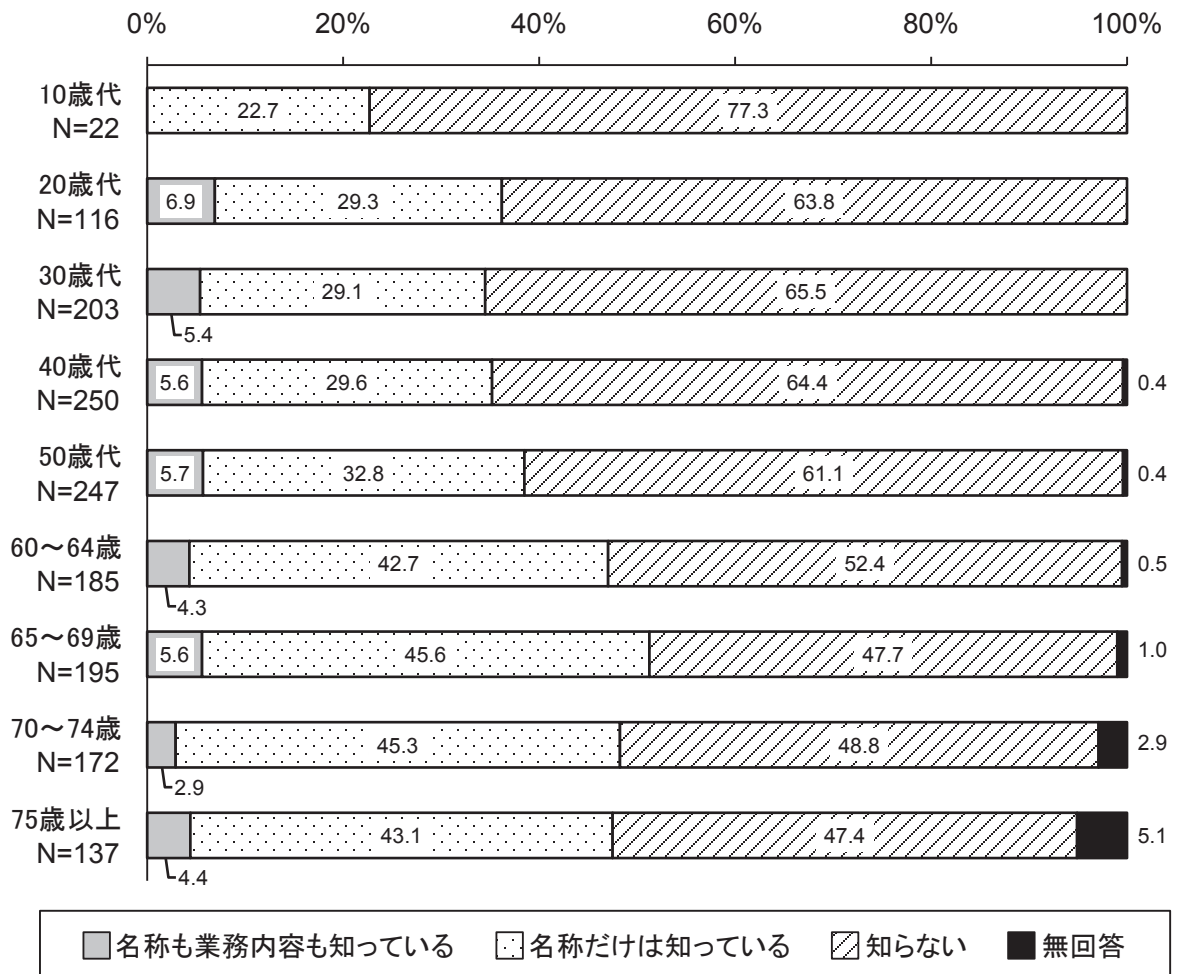
年齢別で見ると、年齢が高いほど『認知度』も高くなる傾向がみられた。消費者被害が目立つ60歳以上になると『認知度』は5割前後まで高まる。ただし『認知度』の内訳をみると「名称だけは知っている」が大半を占め、業務内容が周知されていない。

行政区別で見ると、最も『認知度』が低かったのは、くらしのセンターからの距離がある天竜区で36.3%となった。ただし、2番目に低かったのはくらしのセンターが所在する中区(38.0%)となっており、くらしのセンターからの距離と『認知度』に明確な傾向はみられなかった。

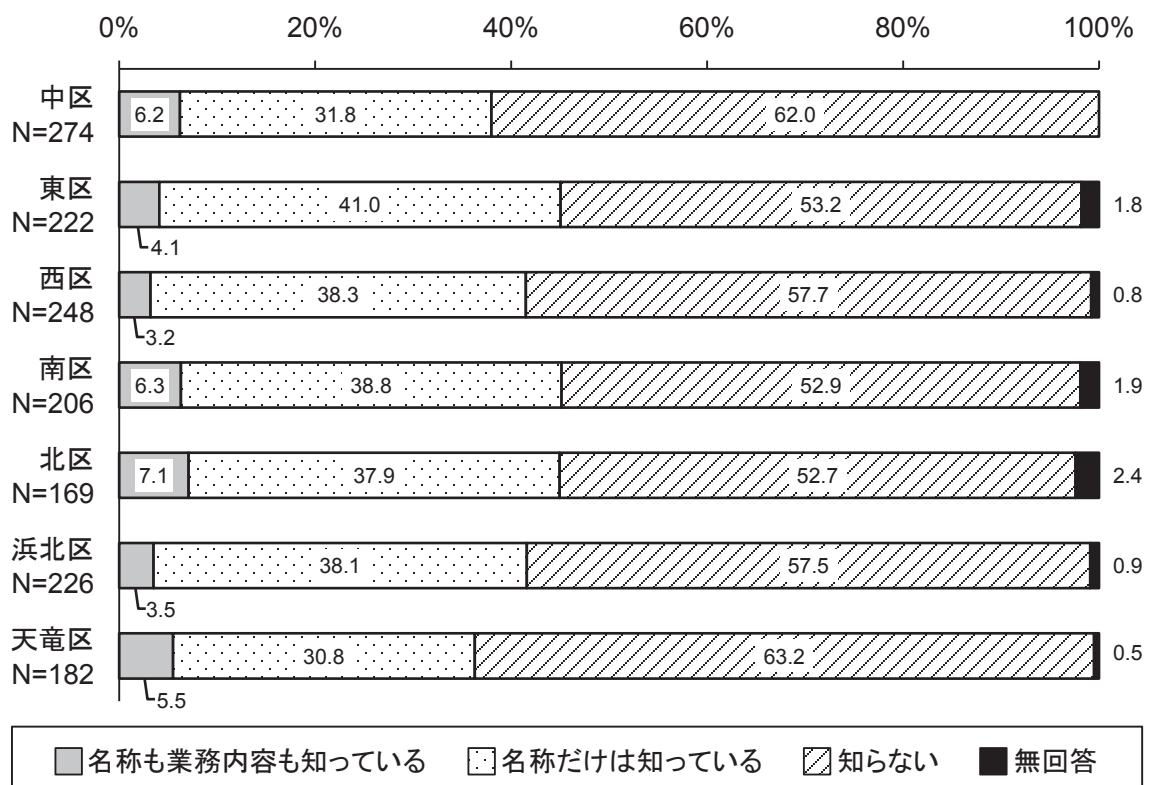
今後、消費者教育を推進するためには、くらしのセンターの名称と業務内容の両方を効果的に周知することが必要である。



【年齢別】

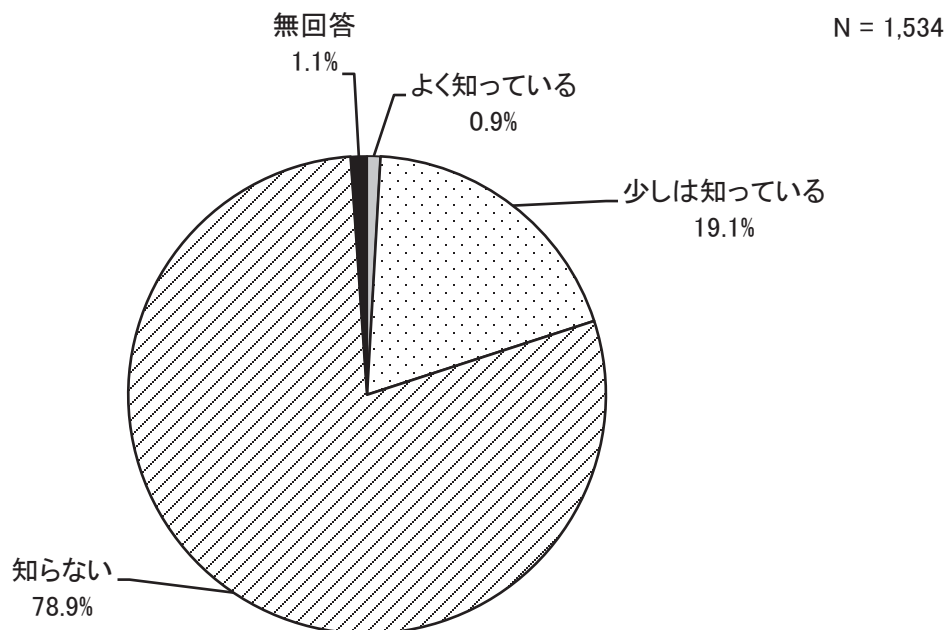


【行政区別】



問12 消費者一人ひとりが、現在と未来の社会・経済・環境に影響することにまで思いをはせて消費し、よりよい社会にしようとするを「消費者市民社会」といいますが、あなたはこの言葉をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

「消費者市民社会」の認知度は20.0%



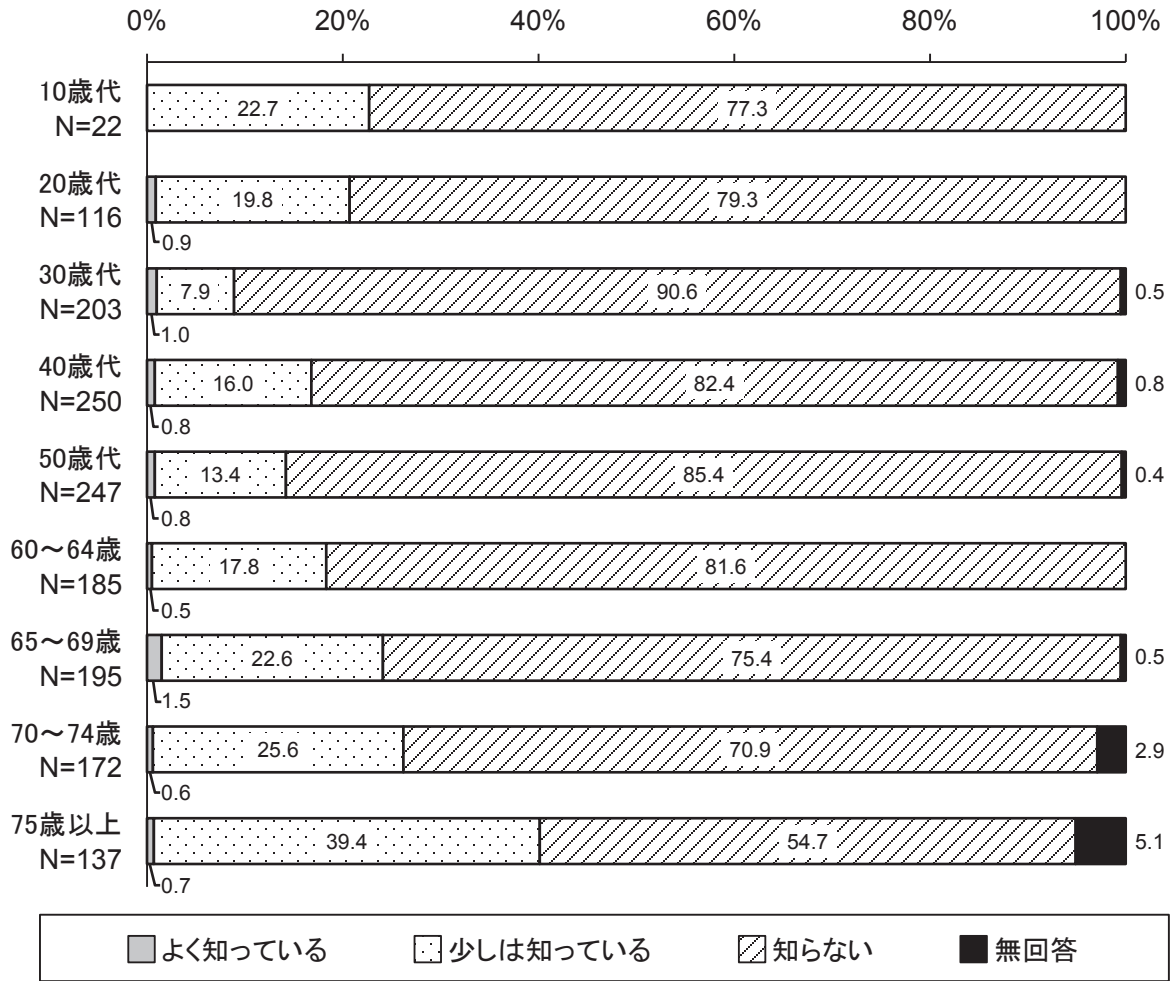
「よく知っている」はわずか0.9%にとどまり、「少しは知っている」の19.1%と合わせた『認知度』も20.0%と少なく、「知らない」が78.9%を占めた。

年齢別でみると、『認知度』が最も高いのは75歳以上の40.1%となっているが、「よく知っている」に限ってみれば0.7%と十分に理解しているとは言い難い。

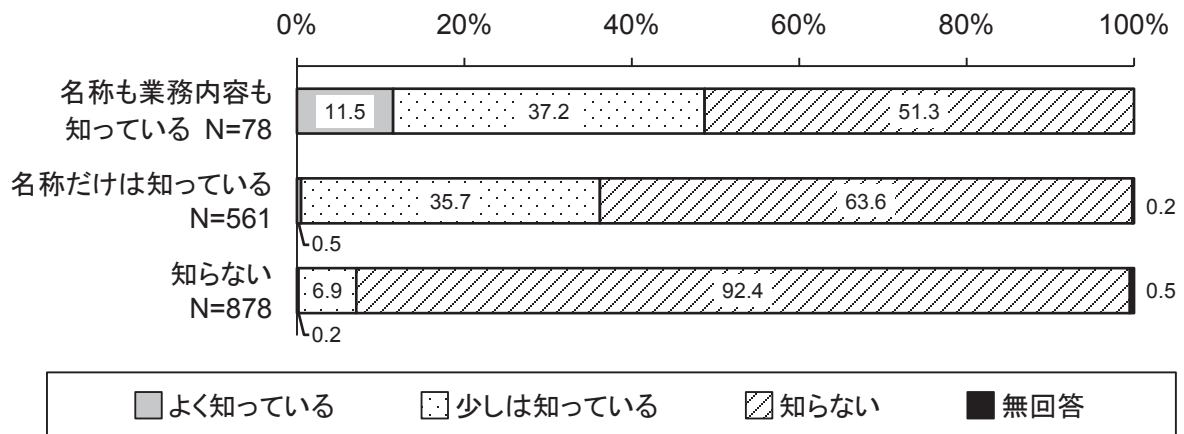
問11でたずねた「くらしのセンター認知度別」でみると、くらしのセンターの「名称も業務内容も知っている」人は『認知度』が48.7%と高かった一方、「知らない」人は『認知度』が7.1%と低かった。くらしのセンターの認知度を高め、消費者教育を推進することが「消費者市民社会」という概念を認知させる有効な手段と思われる。

また、『認知度』が低いのは、「消費者市民社会」という言葉に馴染みが少なく、その定義もわかりにくいことが一因と考えられる。また、概念は短期間で普及するものでもないため、平易でかみくだいた表現を併記するなど、継続的に普及に向けた施策を実施する必要がある。

【年齢別】

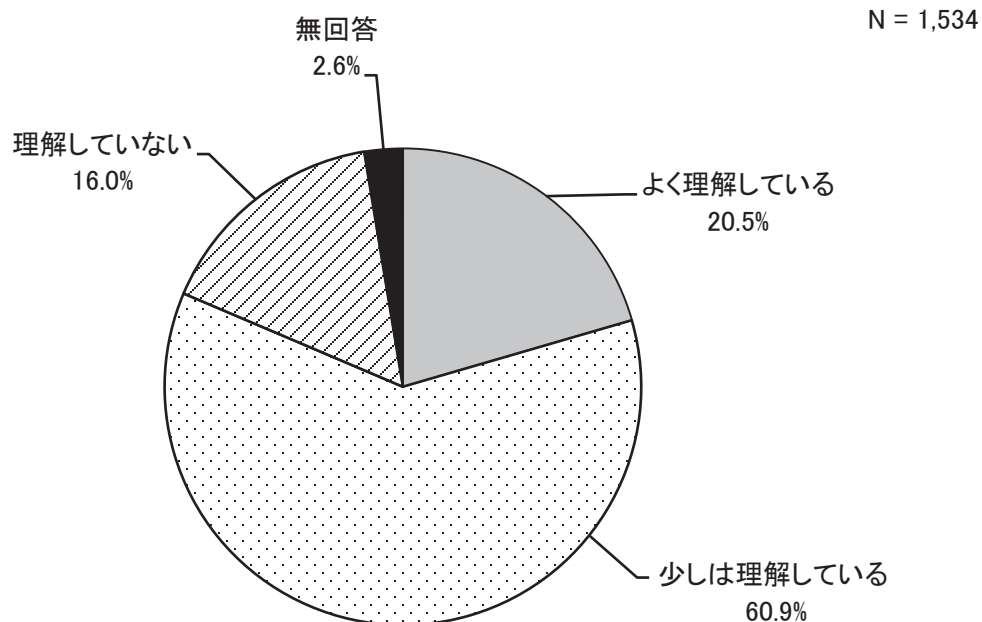


【くらしのセンター認知度別】



問 13 商品の購入やサービスの利用に関する契約内容について十分理解した上で、契約をしていますか。（1つだけ○を付けてください）

商品の購入やサービスの利用に関する契約内容を理解して契約している人は 81.4%



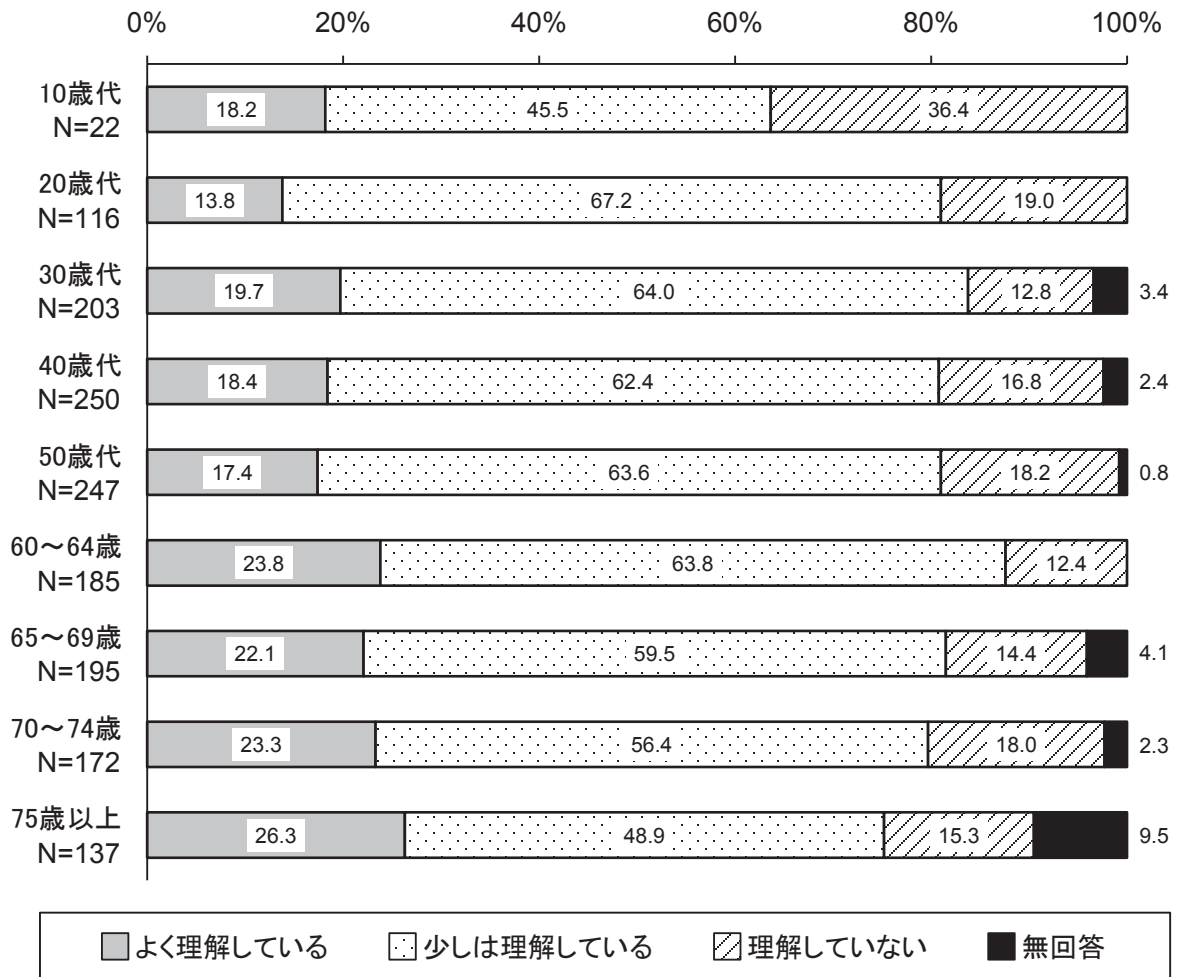
「少しは理解している」が 60.9%で最も多く、「よく理解している」（20.5%）と合わせた『理解している』は 81.4%となった。

年齢別でみると、『理解している』の回答割合が最も低いのは 10 歳代の 63.7%となり、次いで 75 歳以上の 75.2%となった。10 歳代と 75 歳以上では理解していない内容が異なると思われるため、“若年層向け”“高齢者向け”など対象を明確にした啓発活動が必要となる。

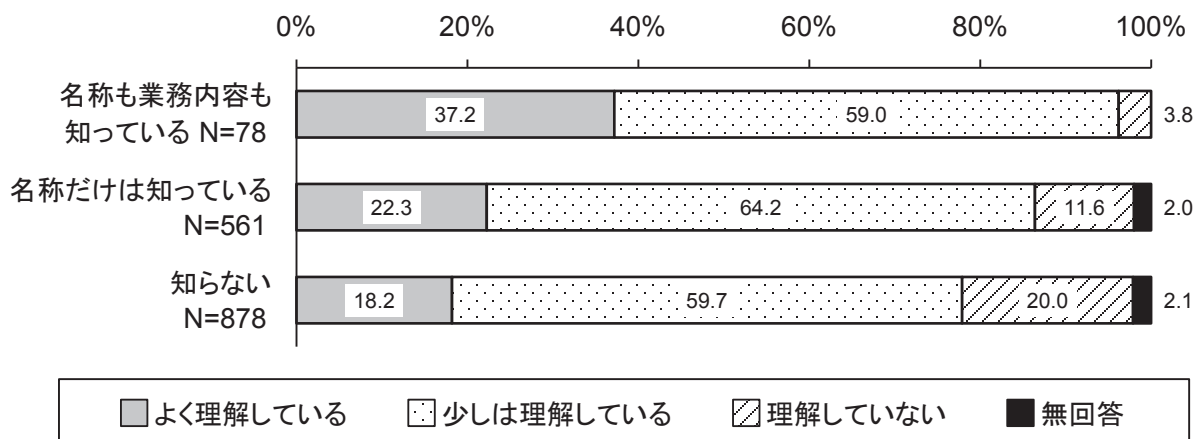
問11でたずねた「くらしのセンター認知度別」でみると、くらしのセンターの「名称も業務内容も知っている」人は『理解している』が96.2%と高かった一方、「知らない」人は『理解している』が77.9%と低かった。くらしのセンターの認知度を高めることが、契約内容の理解につながるものと思われる。

契約は、消費者行動の基礎的知識であるため、一層の理解度を高めるように施策を実施する必要がある。

【年齢別】



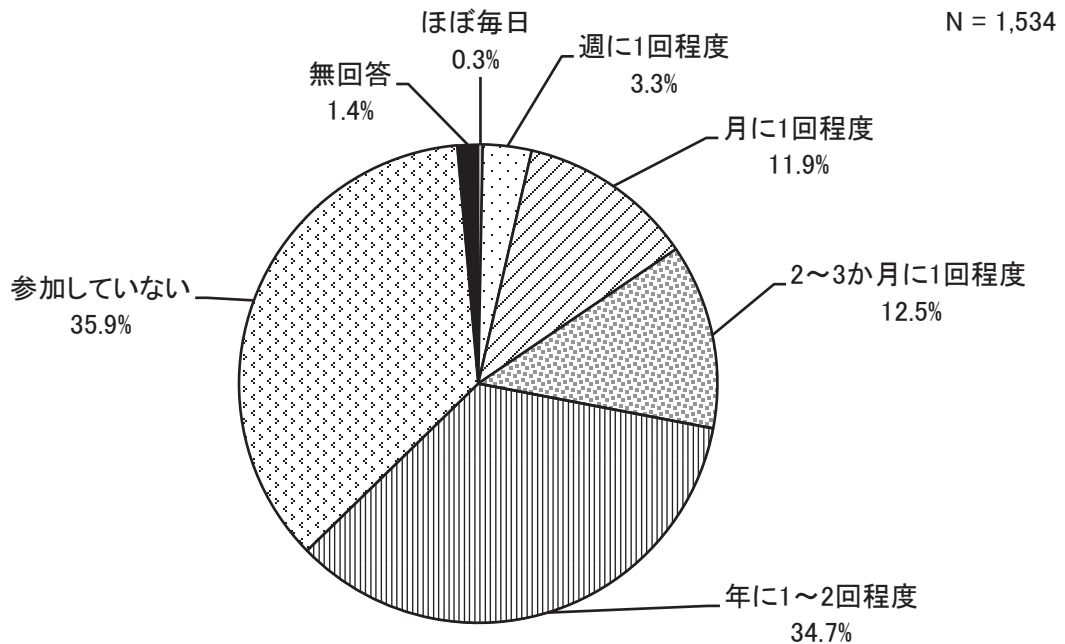
【くらしのセンター認知度別】



## 7 協働によるまちづくりについて

問 14 あなたは、どのくらいの頻度で、自治会（町内会）や消防団、PTAなど地域のコミュニティ活動に参加していますか？（1つだけ○を付けてください）

『年1回以上』参加している人は62.7%



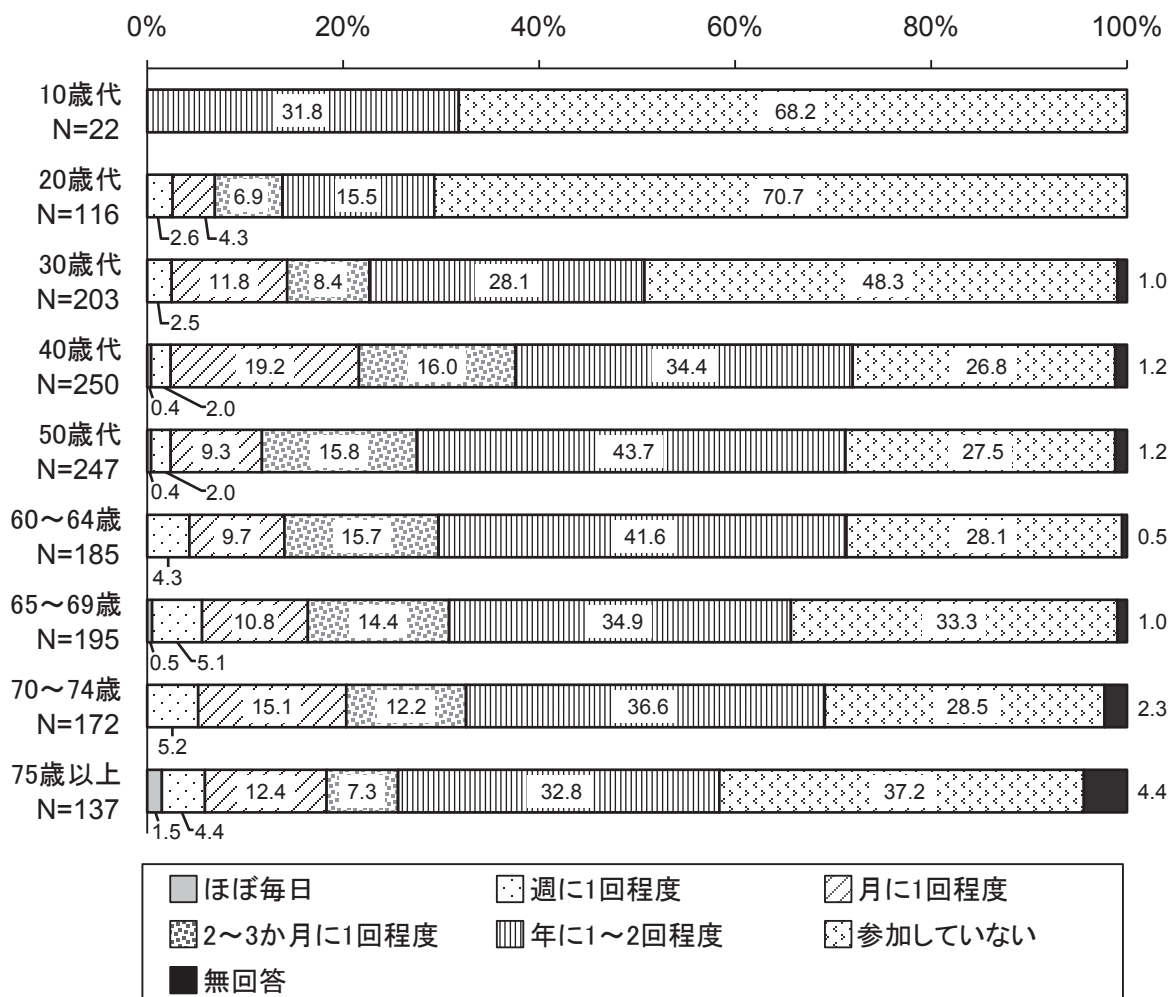
「ほぼ毎日」から「年に1~2回程度」を合わせた『年1回以上』は62.7%となり、「参加していない」の35.9%を26.8ポイント上回った。『年1回以上』の内訳をみると、「年に1~2回程度」が最も多い。

年齢別でみると、「参加していない」の回答割合は高齢者よりも若年層の方が高かった。10歳代、20歳代の約7割が「参加していない」と回答している。

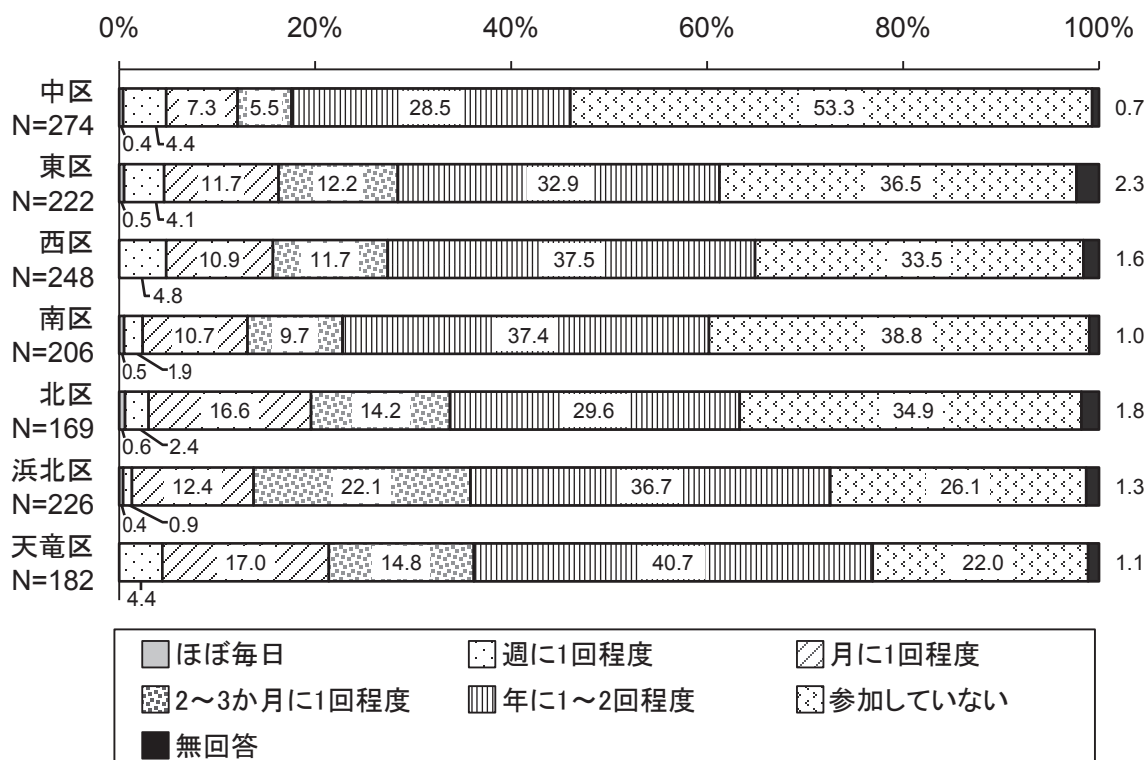
行政区別でみると、「参加していない」の回答割合は中区が53.3%で最も高く、天竜区が22.0%で最も低いなど、差がみられた。

浜松市は、自治会加入率が95.7%（平成28年4月1日現在、浜松市自治会連合会調べ）で政令指定都市の平均と比べ高い割合となっているが、加入率の高さと能動的な参加との間にかい離があると思われる。地域コミュニティの重要性について、さらに市民へ周知していく必要がある。

【年齢別】

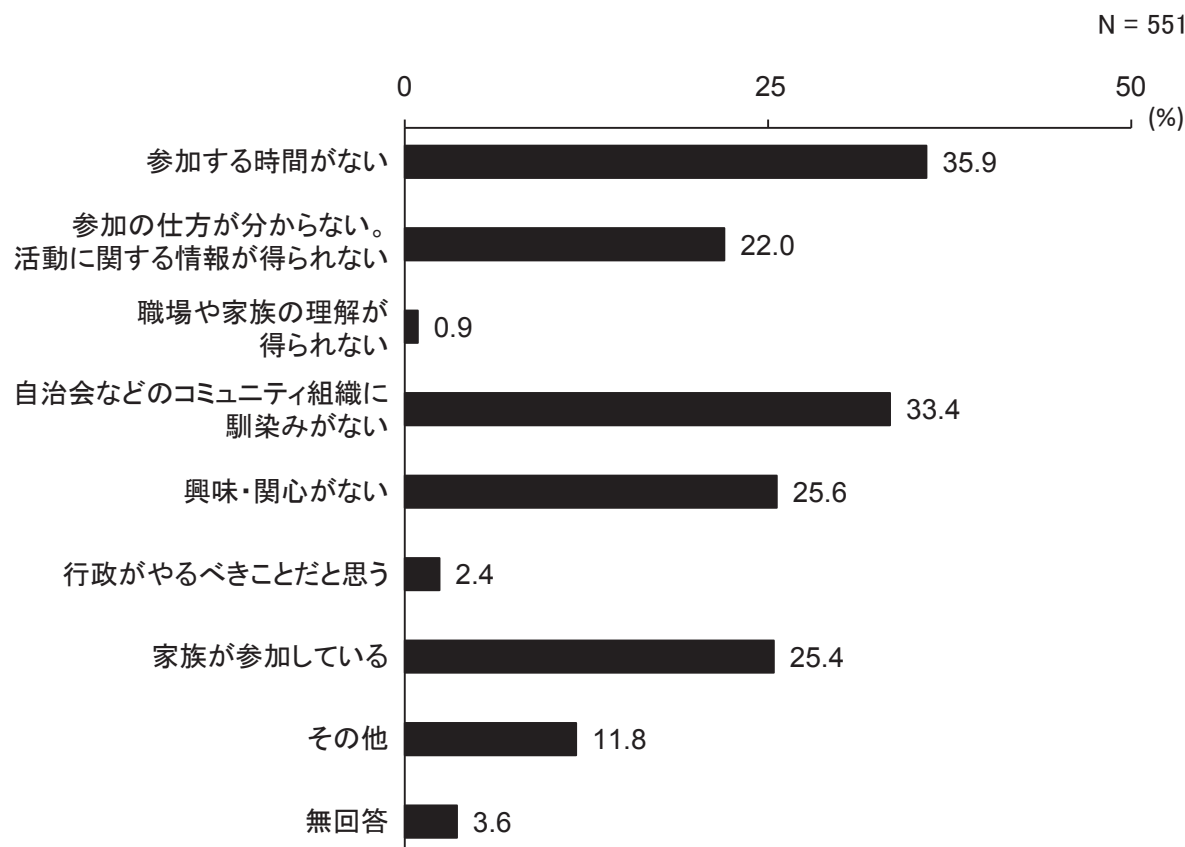


【行政区別】



問 15 問 14 で「6. 参加していない」とお答えされた方に伺います。その理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

参加していない理由は「参加する時間がない」が最も多い



参加していない理由は「参加する時間がない」が 35.9%で最も多く、僅差で「自治会などのコミュニティ組織に馴染みがない」が 33.4%で 2 番目に多かった。「参加の仕方が分からない。活動に関する情報が得られない」「興味・関心がない」「家族が参加している」の回答割合も 2 割以上あった。「行政がやるべきことだと思う」は 2.4%で少数意見だった。

性別でみると、男性は女性と比較して「参加する時間がない」の割合が高く、女性は男性と比較して「家族が参加している」の割合が高かった。

年齢別でみると、10 歳代から 50 歳代までは「参加する時間がない」が最も多く、60～74 歳までは「自治会などのコミュニティ組織に馴染みがない」が、75 歳以上は「家族が参加している」が最も多かった。

地域コミュニティに参加しない理由は、そもそも興味・関心のない人から、やむを得ず参加できない人まで幅広いことに加え、年齢によっても理由に違いがみられる。市民の参加率を高めるためには、啓発活動はもちろん、参加しやすい環境づくりを支援していく必要がある。



【性別】

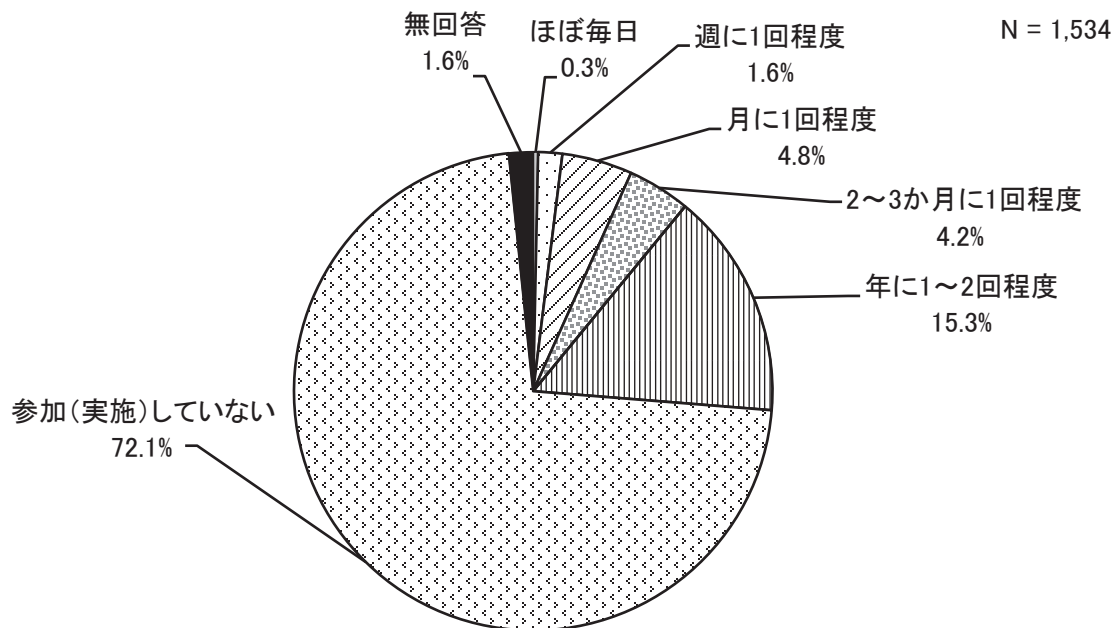
|         | 参加する時間がない | 参加の仕方が分からない。活動に関する情報が得られない | 職場や家族の理解が得られない | 自治会などのコミュニティ組織に馴染みがない | 興味・関心がない | 行政がやるべきことだと思う | 家族が参加している | その他  | 無回答 |
|---------|-----------|----------------------------|----------------|-----------------------|----------|---------------|-----------|------|-----|
| 男 N=192 | 40.6      | 25.0                       | 1.6            | 32.3                  | 27.1     | 3.1           | 21.4      | 10.9 | 3.6 |
| 女 N=295 | 33.9      | 20.0                       | 0.7            | 33.9                  | 23.7     | 1.7           | 30.8      | 12.9 | 2.7 |

【年齢別】

|                | 参加する時間がない | 参加の仕方が分からない。活動に関する情報が得られない | 職場や家族の理解が得られない | 自治会などのコミュニティ組織に馴染みがない | 興味・関心がない | 行政がやるべきことだと思う | 家族が参加している | その他  | 無回答 |
|----------------|-----------|----------------------------|----------------|-----------------------|----------|---------------|-----------|------|-----|
| 10 歳代 N=15     | 60.0      | 20.0                       | -              | 20.0                  | 20.0     | -             | 46.7      | 13.3 | 6.7 |
| 20 歳代 N=82     | 46.3      | 25.6                       | 3.7            | 40.2                  | 40.2     | 3.7           | 29.3      | 8.5  | 1.2 |
| 30 歳代 N=98     | 52.0      | 25.5                       | 1.0            | 45.9                  | 31.6     | 2.0           | 23.5      | 7.1  | 2.0 |
| 40 歳代 N=67     | 37.3      | 25.4                       | 1.5            | 31.3                  | 20.9     | 1.5           | 26.9      | 3.0  | 9.0 |
| 50 歳代 N=68     | 47.1      | 20.6                       | -              | 27.9                  | 25.0     | 2.9           | 23.5      | 10.3 | 2.9 |
| 60 ～ 64 歳 N=52 | 32.7      | 23.1                       | -              | 44.2                  | 19.2     | -             | 19.2      | 17.3 | -   |
| 65 ～ 69 歳 N=65 | 23.1      | 24.6                       | -              | 27.7                  | 26.2     | 1.5           | 24.6      | 10.8 | -   |
| 70 ～ 74 歳 N=49 | 10.2      | 14.3                       | -              | 24.5                  | 18.4     | 6.1           | 22.4      | 20.4 | 8.2 |
| 75 歳以上 N=51    | 9.8       | 11.8                       | -              | 15.7                  | 13.7     | -             | 29.4      | 23.5 | 7.8 |

問 16 あなたは、どのくらいの頻度で、NPOなどが運営するボランティア活動（自治会や消防団、PTA活動などは除く）へ参加したり、自発的に社会貢献活動（公共の場の清掃や子ども・高齢者の見守りなど）を実施したりしていますか？（1つだけ○を付けてください）

「参加（実施）していない」人は 72.1%



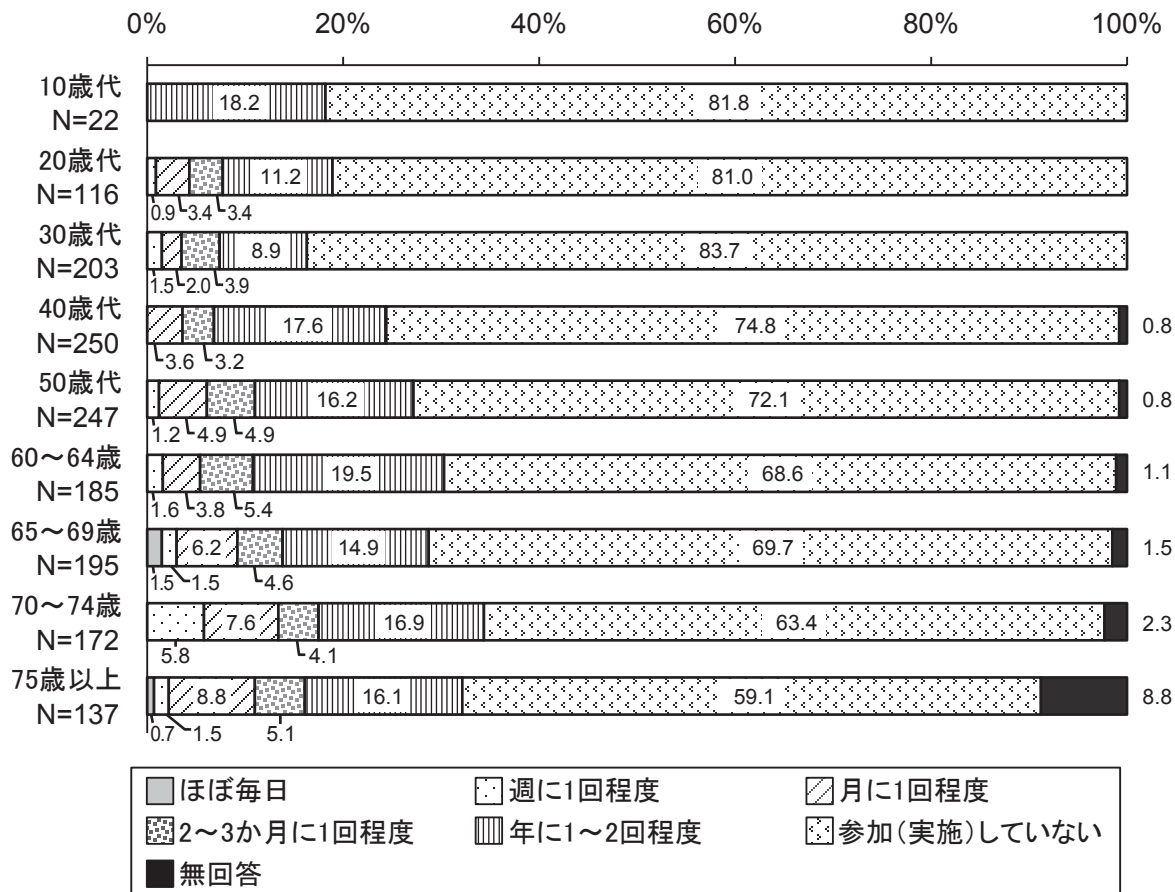
「ほぼ毎日」から「年に1~2回程度」を合わせた『年1回以上』は26.2%となり、「参加（実施）していない」の72.1%を45.9ポイント下回った。『年1回以上』の内訳をみると、「年に1~2回程度」が最も多い。問14でたずねた地域のコミュニティ活動と比較すると『年1回以上』は36.5ポイント低くなっている。

年齢別でみると、年齢が高まるに伴い「参加（実施）していない」の回答割合が低くなる傾向がみられた。

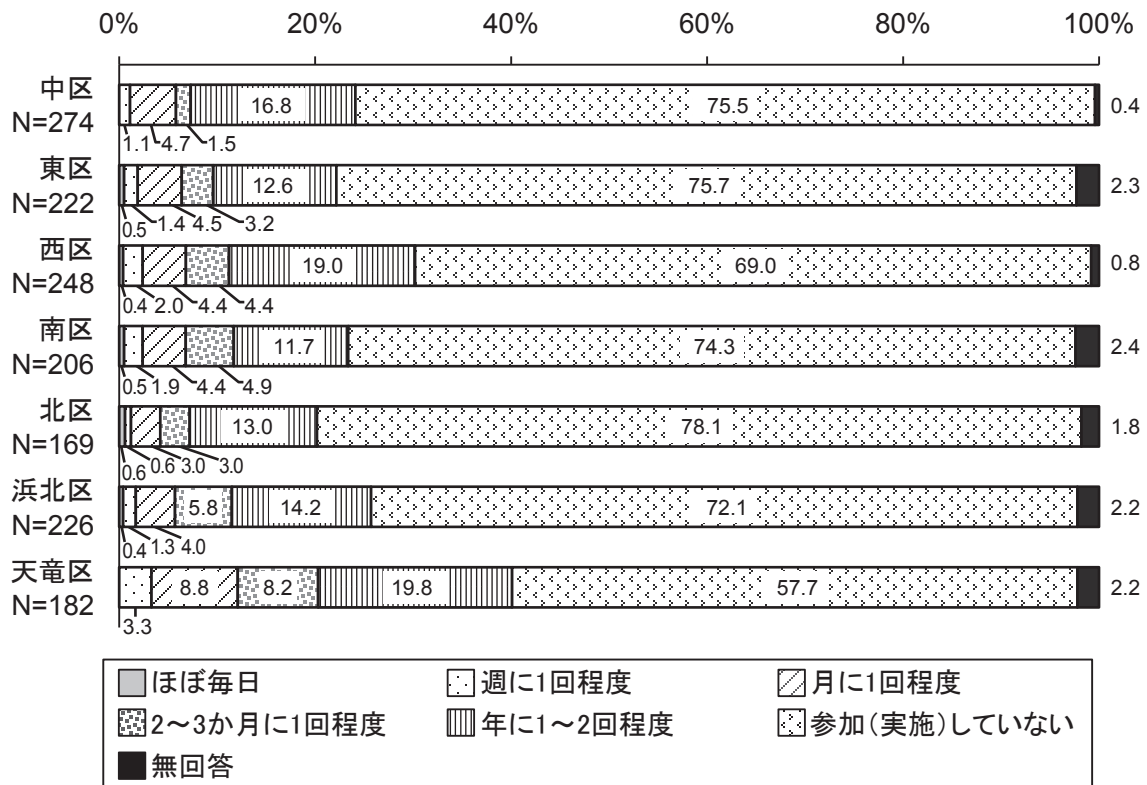
行政区別でみると、「参加（実施）していない」の回答割合は北区が78.1%で最も高く、天竜区が57.7%で最も低かった。天竜区は人口当たりのNPO法人数が最も多く、NPO法人の活動を身近に感じることで参加率の向上につながると思われる。

NPO法人など市民活動団体への理解度や認知度はまだ高くないため、市としてはさらに情報発信に努める必要がある。

【年齢別】

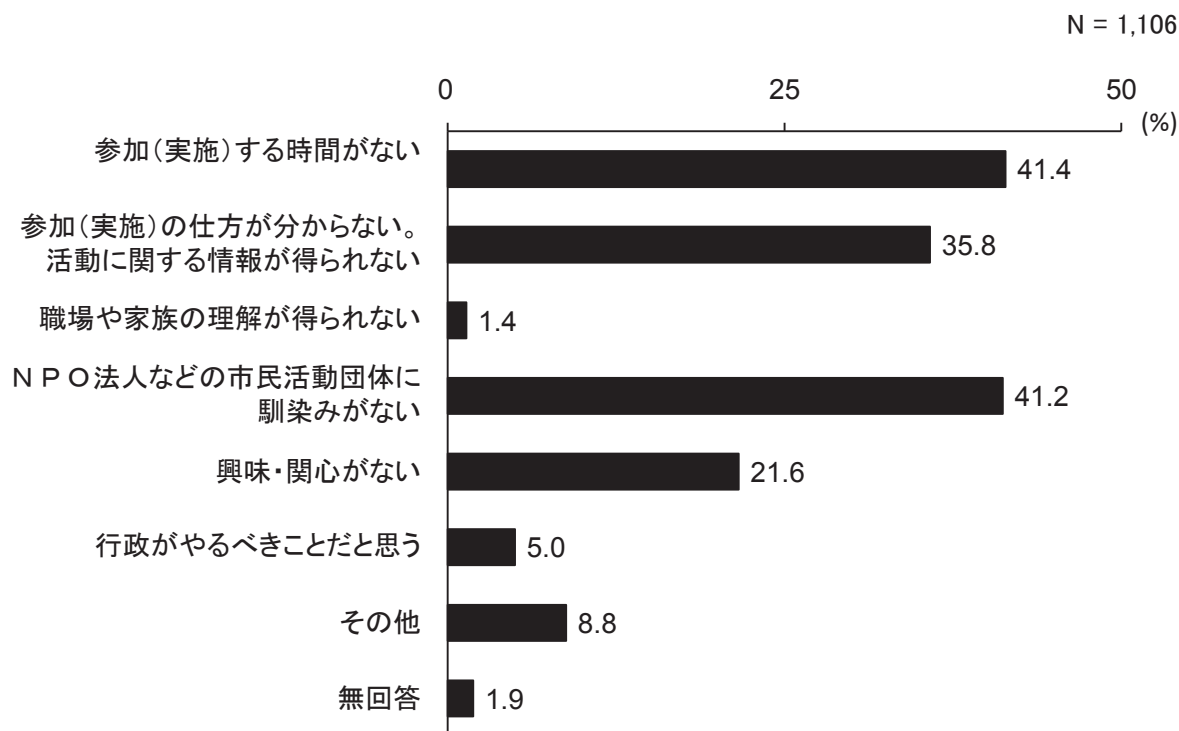


【行政区別】



問17 問16で「6. 参加（実施）していない」とお答えされた方に伺います。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

「行政がやるべきことだと思う」は5.0%で少数意見



参加していない理由は「参加（実施）する時間がない」が41.4%で最も多く、ほぼ同率で「NPO法人などの市民活動団体に馴染みがない」が41.2%で2番目に多かった。「行政がやるべきことだと思う」は5.0%で少数意見だった。

性別で見ると、男性は女性と比較して「興味・関心がない」「行政がやるべきことだと思う」の割合が高かった。

年齢別で見ると、10歳代から50歳代までは「参加（実施）する時間がない」が最も多く、60歳以上は「NPO法人などの市民活動団体に馴染みがない」が最も多かった。

若年層には参加促進に向けた環境整備、高齢者には市民活動団体の理解度・認知度向上などの周知活動を行うことにより、参加率を高めていく必要がある。

【性別】

|         | 参加（実施）する時間がない | 参加（実施）の仕方が分からない。活動に関する情報が得られない | 職場や家族の理解が得られない | NPO法人などの市民活動団体に馴染みがない | 興味・関心がない | 行政がやるべきことだと思う | その他 | 無回答 |
|---------|---------------|--------------------------------|----------------|-----------------------|----------|---------------|-----|-----|
| 男 N=407 | 40.0          | 34.9                           | 1.7            | 40.8                  | 24.1     | 7.6           | 8.8 | 1.0 |
| 女 N=547 | 43.5          | 37.3                           | 1.3            | 42.0                  | 18.8     | 2.9           | 9.7 | 2.0 |

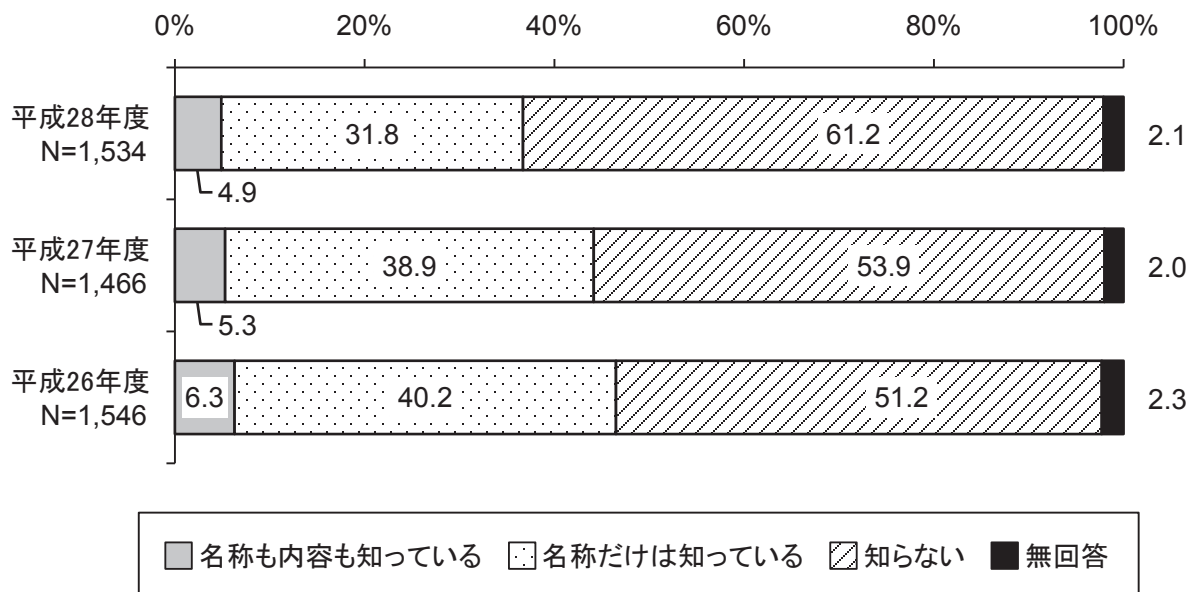
【年齢別】

|                 | 参加（実施）する時間がない | 参加（実施）の仕方が分からない。活動に関する情報が得られない | 職場や家族の理解が得られない | NPO法人などの市民活動団体に馴染みがない | 興味・関心がない | 行政がやるべきことだと思う | その他  | 無回答 |
|-----------------|---------------|--------------------------------|----------------|-----------------------|----------|---------------|------|-----|
| 10 歳代 N=18      | 55.6          | 27.8                           | —              | 38.9                  | 27.8     | —             | 11.1 | —   |
| 20 歳代 N=94      | 51.1          | 41.5                           | 1.1            | 46.8                  | 34.0     | 4.3           | 6.4  | 1.1 |
| 30 歳代 N=170     | 58.2          | 38.8                           | 1.2            | 45.3                  | 22.9     | 2.9           | 3.5  | 1.2 |
| 40 歳代 N=187     | 49.7          | 40.1                           | 2.7            | 40.1                  | 18.7     | 3.2           | 2.1  | 2.1 |
| 50 歳代 N=178     | 47.8          | 41.0                           | 1.7            | 44.4                  | 23.6     | 7.3           | 7.3  | 0.6 |
| 60 ～ 64 歳 N=127 | 37.8          | 40.2                           | 1.6            | 48.8                  | 16.5     | 2.4           | 10.2 | —   |
| 65 ～ 69 歳 N=136 | 25.0          | 31.6                           | 0.7            | 39.0                  | 22.1     | 5.1           | 13.2 | 1.5 |
| 70 ～ 74 歳 N=109 | 27.5          | 25.7                           | 0.9            | 33.9                  | 16.5     | 11.9          | 11.9 | 2.8 |
| 75 歳以上 N=81     | 12.3          | 19.8                           | —              | 25.9                  | 21.0     | 3.7           | 24.7 | 8.6 |

## 8 子育て支援について

問 18 あなたは、社会全体で子どもを健全に育成し支えていくための基本理念や、それぞれの役割などを定めた「浜松市子ども育成条例」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

「浜松市子ども育成条例」の認知度は36.7%

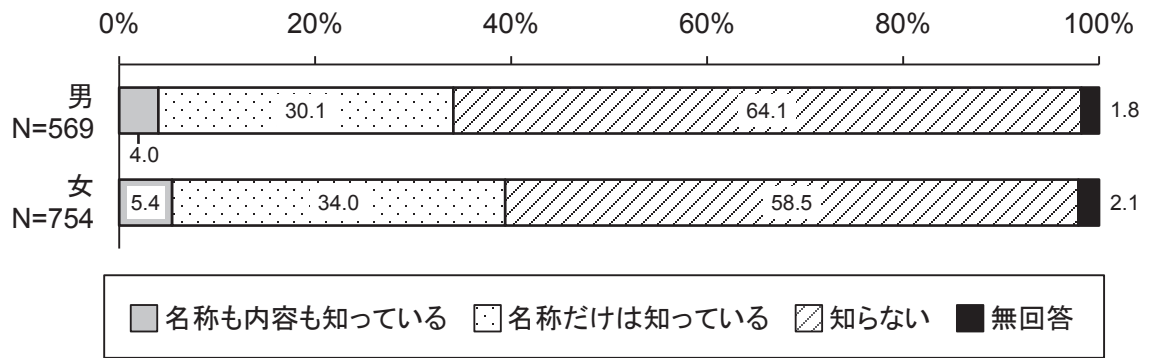


「名称も内容も知っている」（4.9%）と、「名称だけは知っている」（31.8%）を合わせた『認知度』は36.7%となった。平成26年度、平成27年度調査と比較すると、『認知度』は年々低下している。

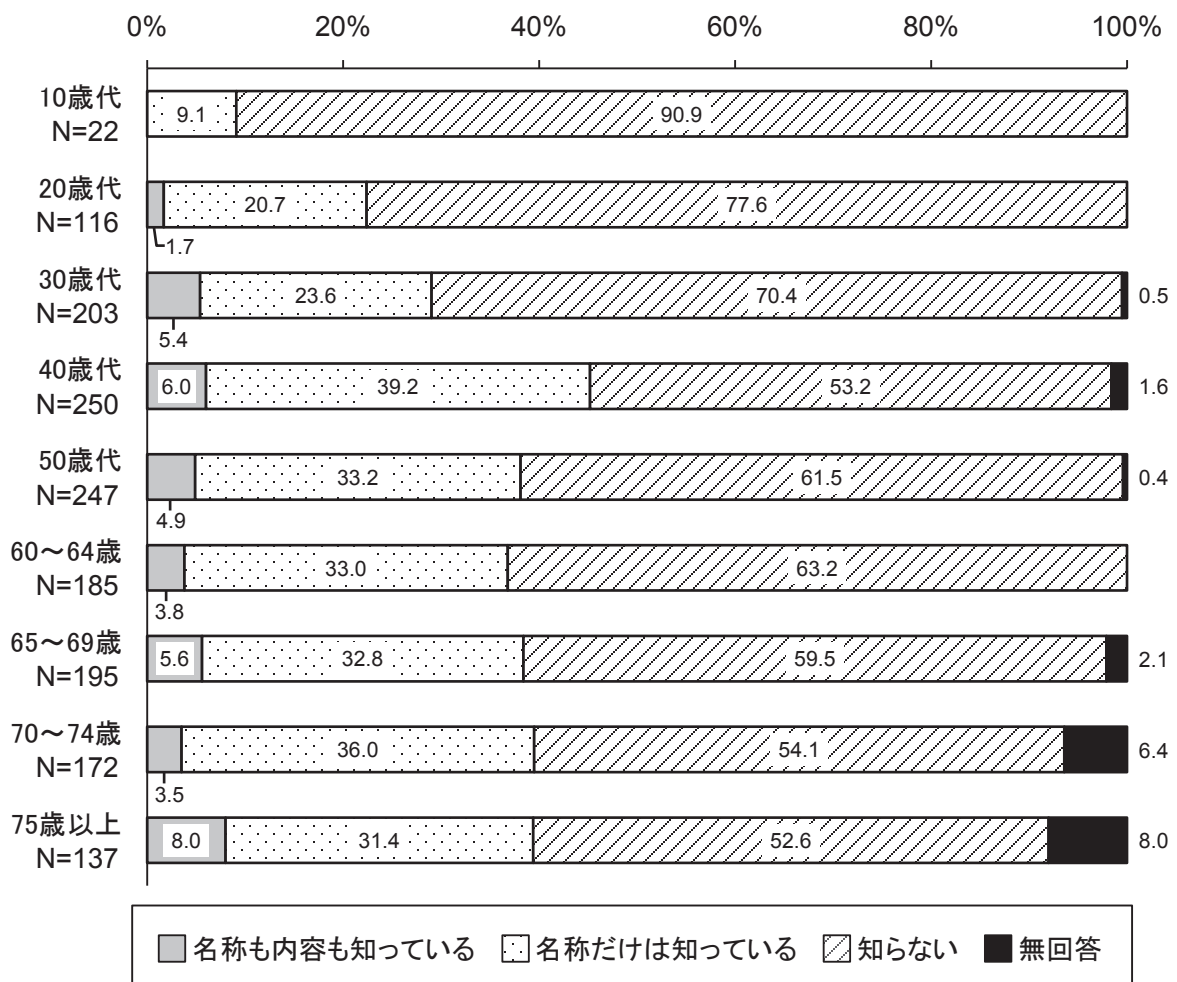
性別でみると、『認知度』は男性が34.1%、女性が39.4%となっており、女性の方が5.3ポイント高かった。

年齢別で『認知度』をみると、40歳代が45.2%で最も高かった。最も低かったのは10歳代の9.1%で、次いで20歳代（22.4%）、30歳代（29.0%）の順に低く、子育て前や子育て初期の世代の『認知度』が低い結果となった。今後も積極的な周知活動を行う必要がある。

【性別】

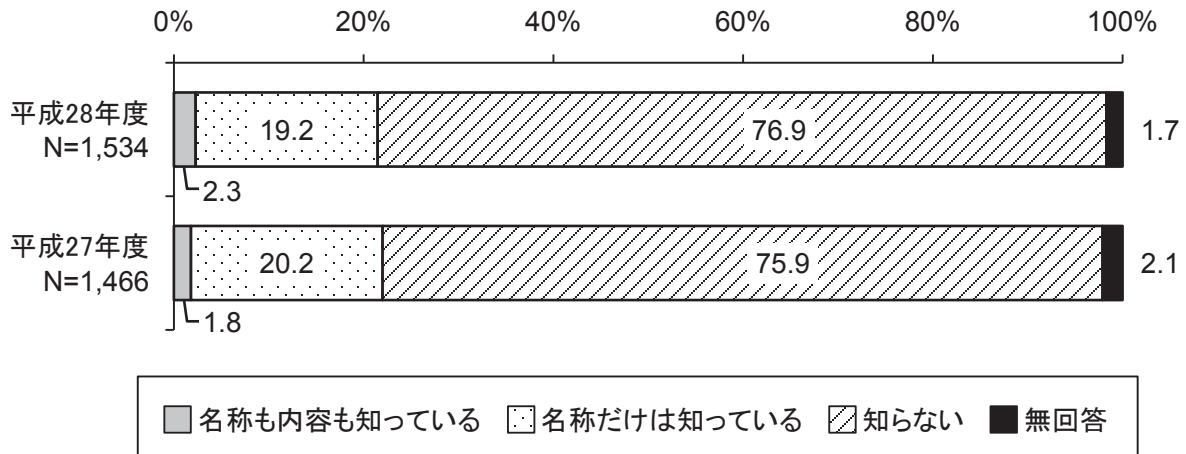


【年齢別】



問 19 あなたは、子どもや子育ての支援、社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者の支援を目的に策定した「浜松市子ども・若者支援プラン」をご存じですか。(1つだけ○を付けてください)

「浜松市子ども・若者支援プラン」の認知度は 21.5%



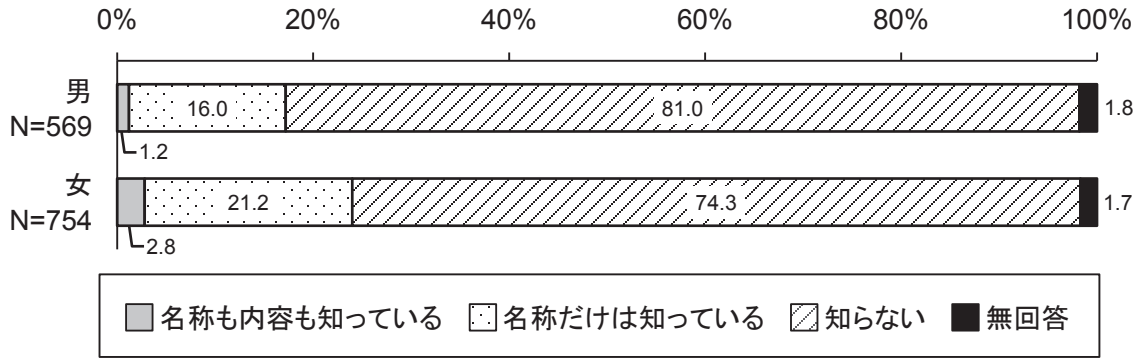
「名称も内容も知っている」は2.3%にとどまり、「名称だけは知っている」の19.2%と合わせた『認知度』も 21.5%と低かった。「浜松市子ども・若者支援プラン」は平成 26 年度末に策定され、施行後間もないことから、低い『認知度』になっていると思われる。今後、徐々に認知されていく可能性もあるが、平成 27 年度調査から『認知度』がほとんど横ばいで推移していることから、積極的な周知活動が必要といえる。

性別で見ると、『認知度』は男性が 17.2%、女性が 24.0%となっており、女性の方が 6.8 ポイント高かった。

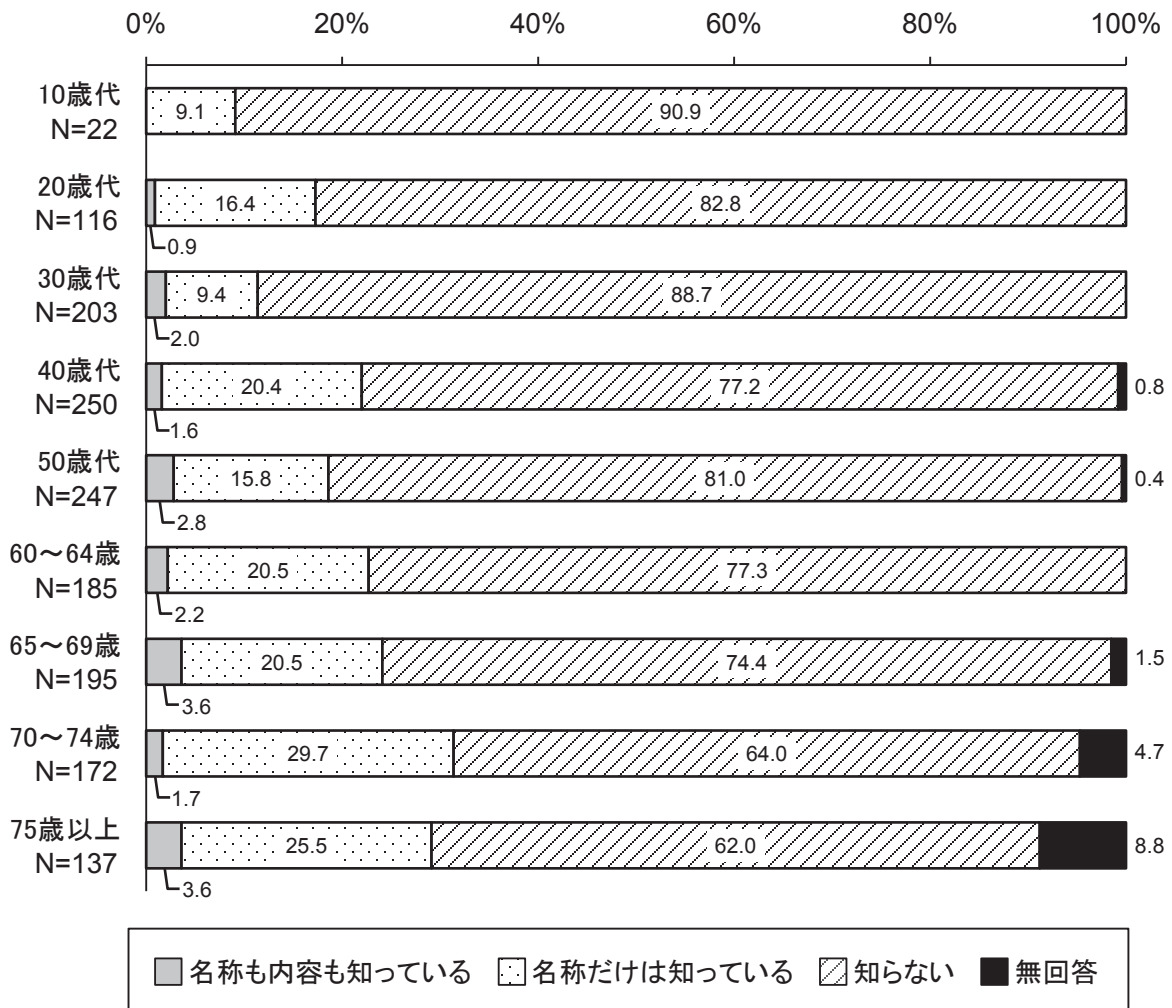
年齢別で見ると、『認知度』が最も高かったのは、70～74 歳の 31.4%で、次いで 75 歳以上の 29.1%となり、子育て世代よりも子育てを終えた世代の『認知度』が高かった。今後、子育て世代への周知活動を重点的に強化していく必要がある。



【性別】

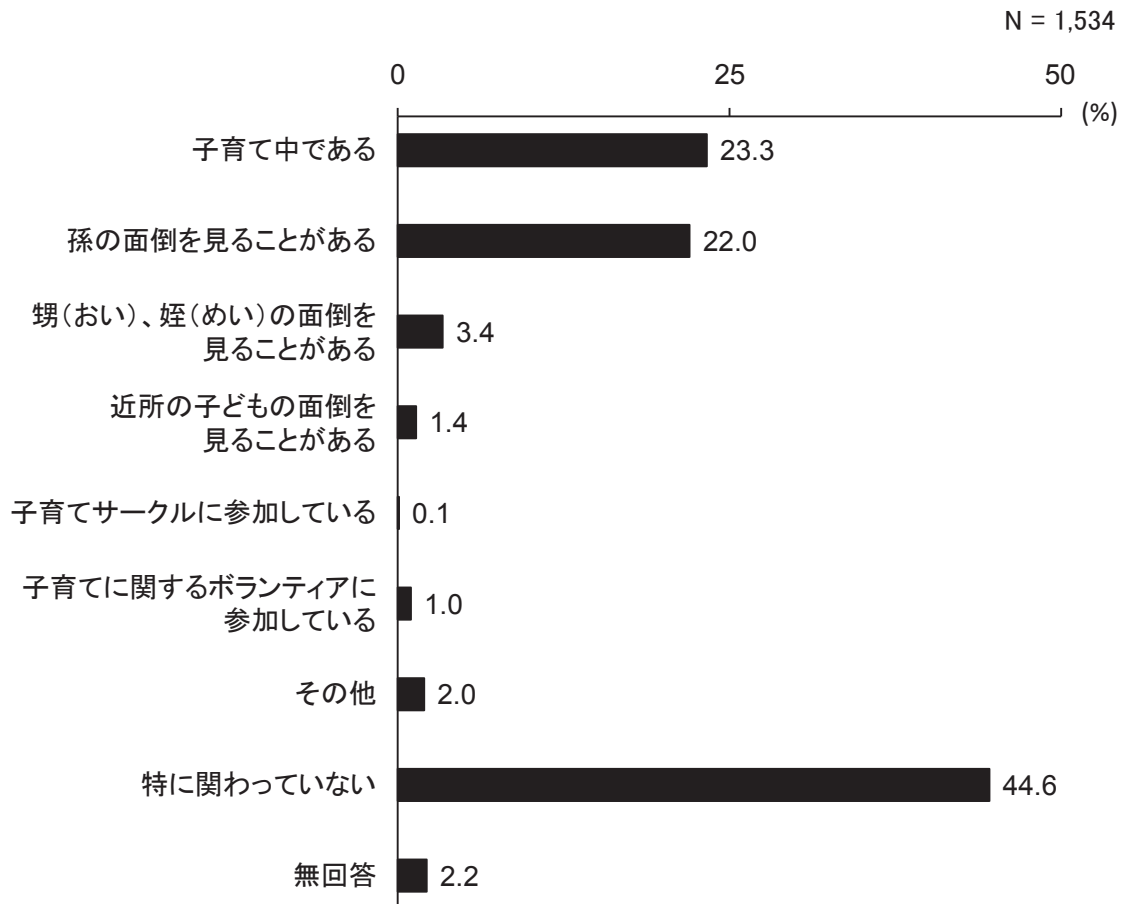


【年齢別】



問 20 あなたは、現在、「子育て」に対して、どのような関わり方をしていますか。  
(1つだけ○を付けてください)

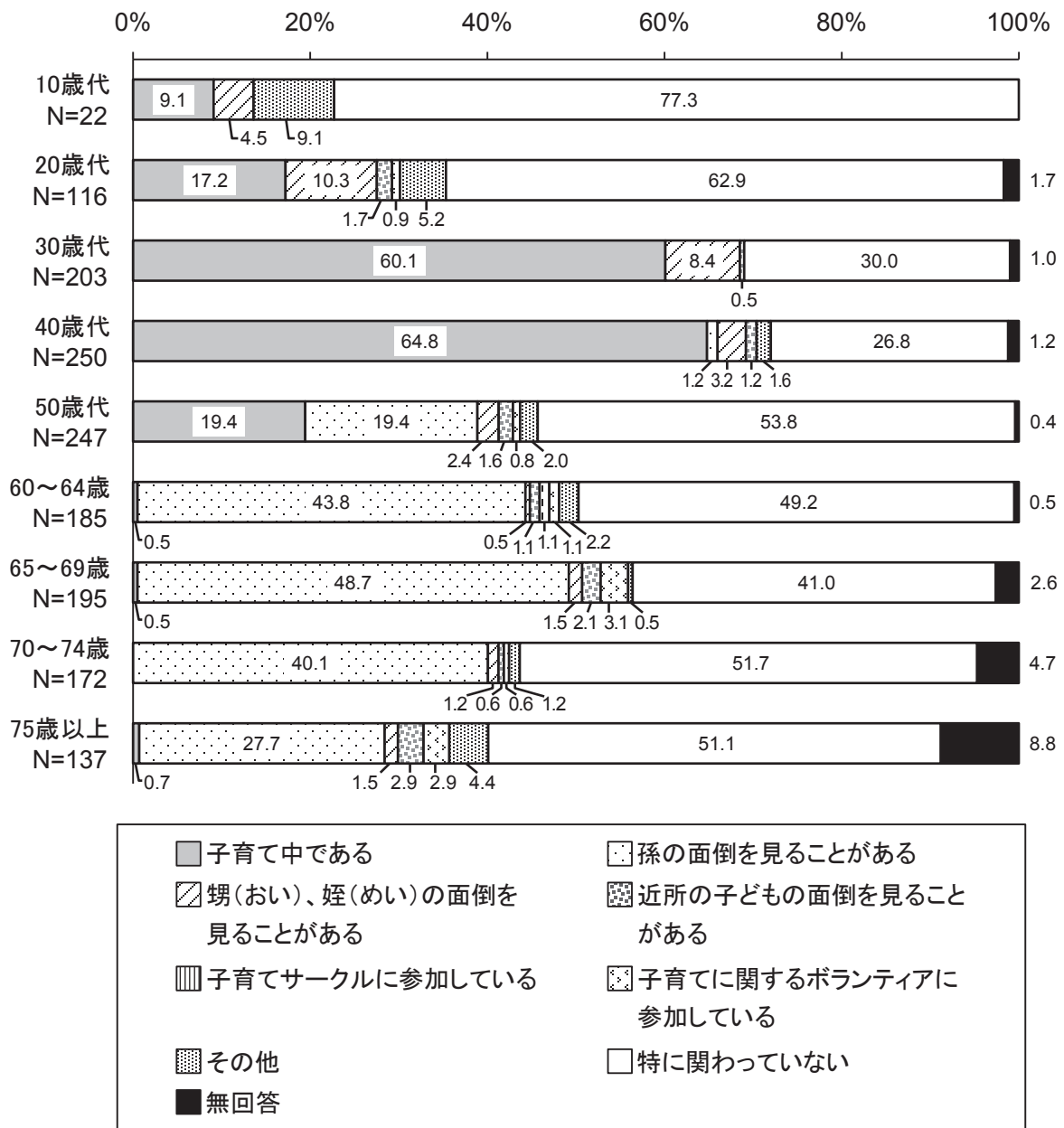
社会全体で子供を育てる気運はあまり高くない



「特に関わっていない」が44.6%で最も多く、次いで「子育て中である」(23.3%)、「孫の面倒を見ることがある」(22.0%)の順となっている。また、身内以外の子供と関わる、「近所の子どもの面倒を見ることがある」が1.4%、「子育てに関するボランティアに参加している」が1.0%といずれも低い数値となっている。少子化や共働き世帯の増加等の影響もあり、社会全体で子供を育てる気運はあまり高いとは言えない。三世代交流や地域の子供と接する機会を増やし、社会全体で子供を育てる気運を醸成していく必要がある。

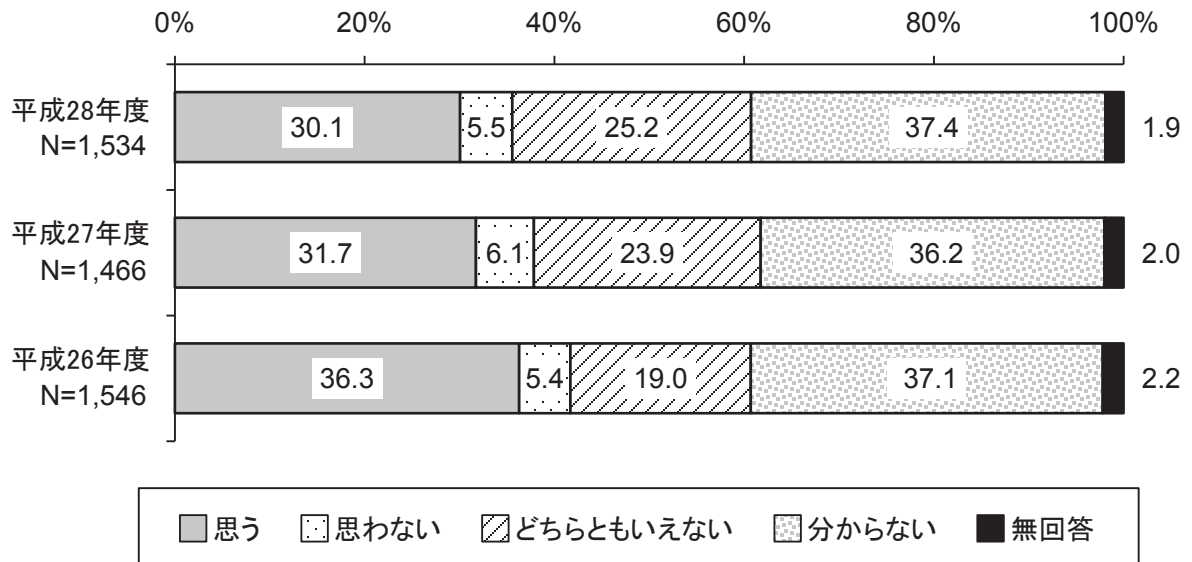
年齢別でみると、「子育て中である」は30歳代が60.1%、40歳代が64.8%となっている。50歳代は「子育て中である」と「孫の面倒を見ることがある」が同率の19.4%となっている。

【年齢別】



問 21 浜松市では、保育所整備、親子が集う場所づくり、子どもの医療費助成など子育てに関する支援を行っています。あなたは、このような支援によって子育てがしやすくなっていると思いますか。（1つだけ○を付けてください）

市の支援により子育てがしやすくなっていると思う人は 30.1%



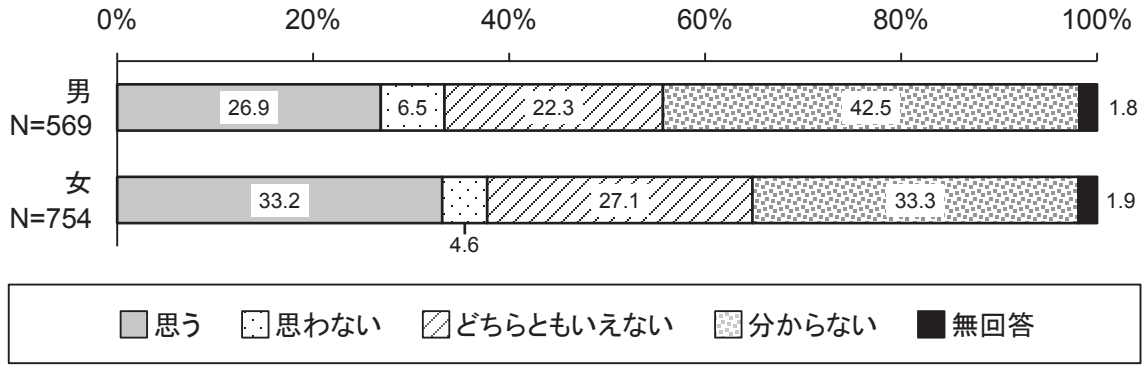
「思う」が 30.1%となり、「思わない」の 5.5%を 24.6 ポイント上回った。平成 27 年度調査とは質問内容が若干異なるため（“親子が集う場所づくり”の文言が平成 27 年度は“子育て支援ひろば”だった）単純比較はできないが、「思う」、「思わない」とも微減となった。

性別で見ると、「思う」の回答割合は男性が 26.9%、女性が 33.2%となり、女性の方が 6.3 ポイント高かった。

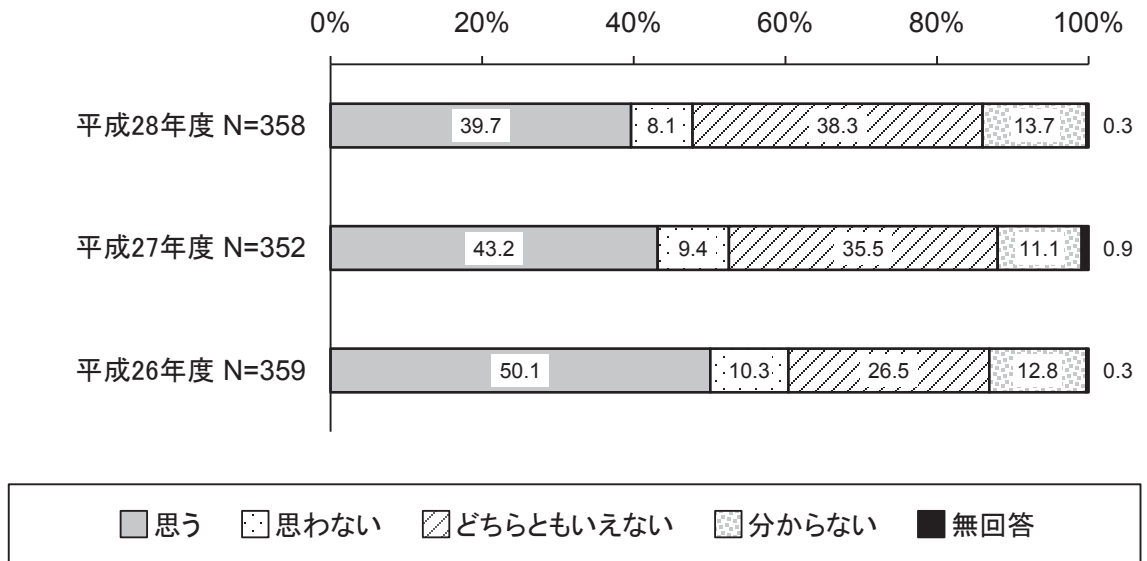
問 20 で「子育て中である」と回答した層は、「思う」の回答割合が 39.7%と全体の結果よりも高かった。ただし、平成 26 年度、平成 27 年度調査と比較すると、「思う」の回答割合は年々低下している。

「思わない」は各年約 5%の少数意見で、「どちらともいえない」が年々増加していることから、本市が行う子育て支援施策をある程度評価しつつも、さらに充実した子育て支援を求めていると考えられる。

【性別】

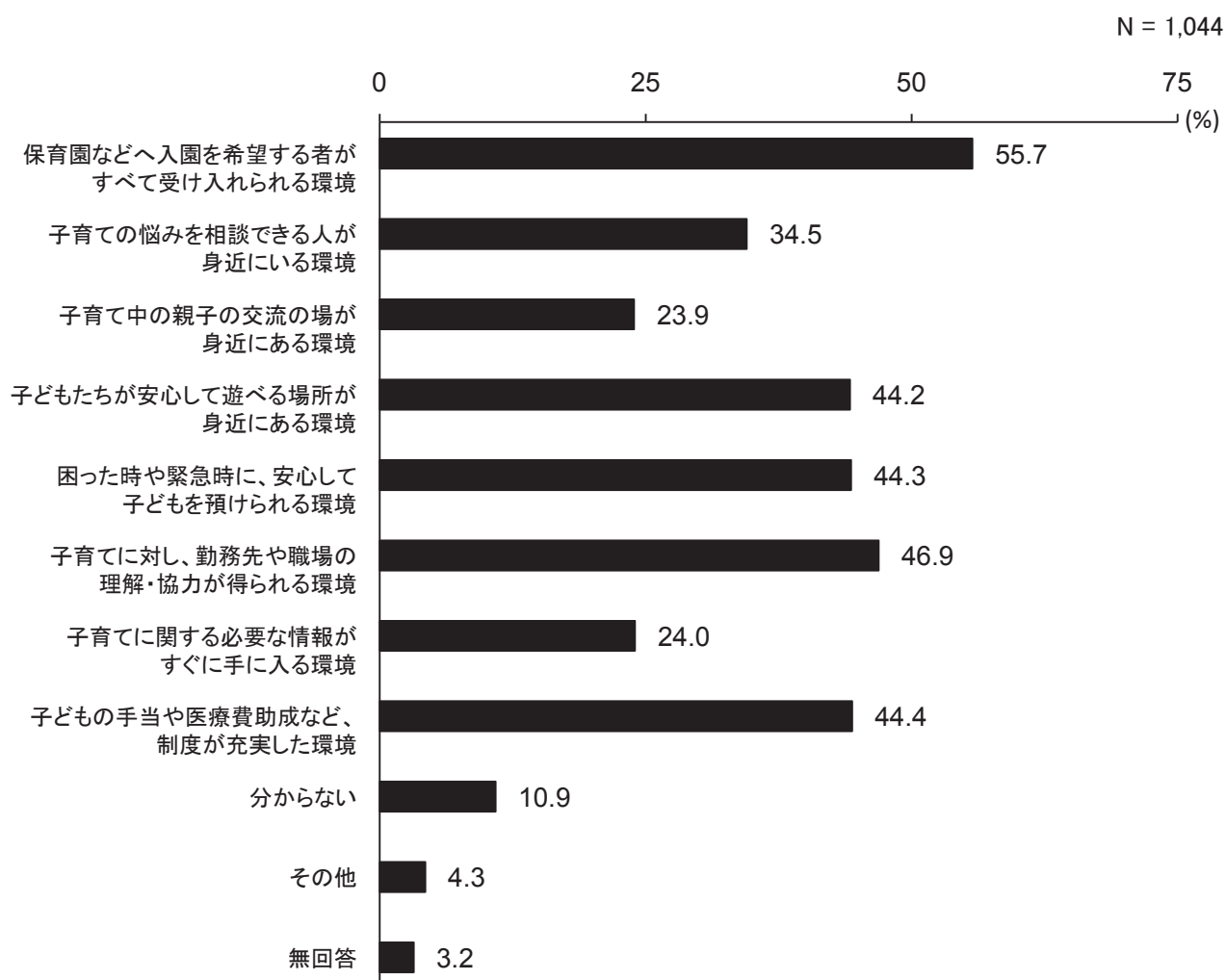


【子育て中の人への回答】



問 22 問 21 で「2. 思わない」「3. どちらともいえない」「4. 分からない」とお答えされた方に伺います。どのような環境を整えば子育てがしやすくなったと感じると思いますか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

『保育所整備』を求める声が多い

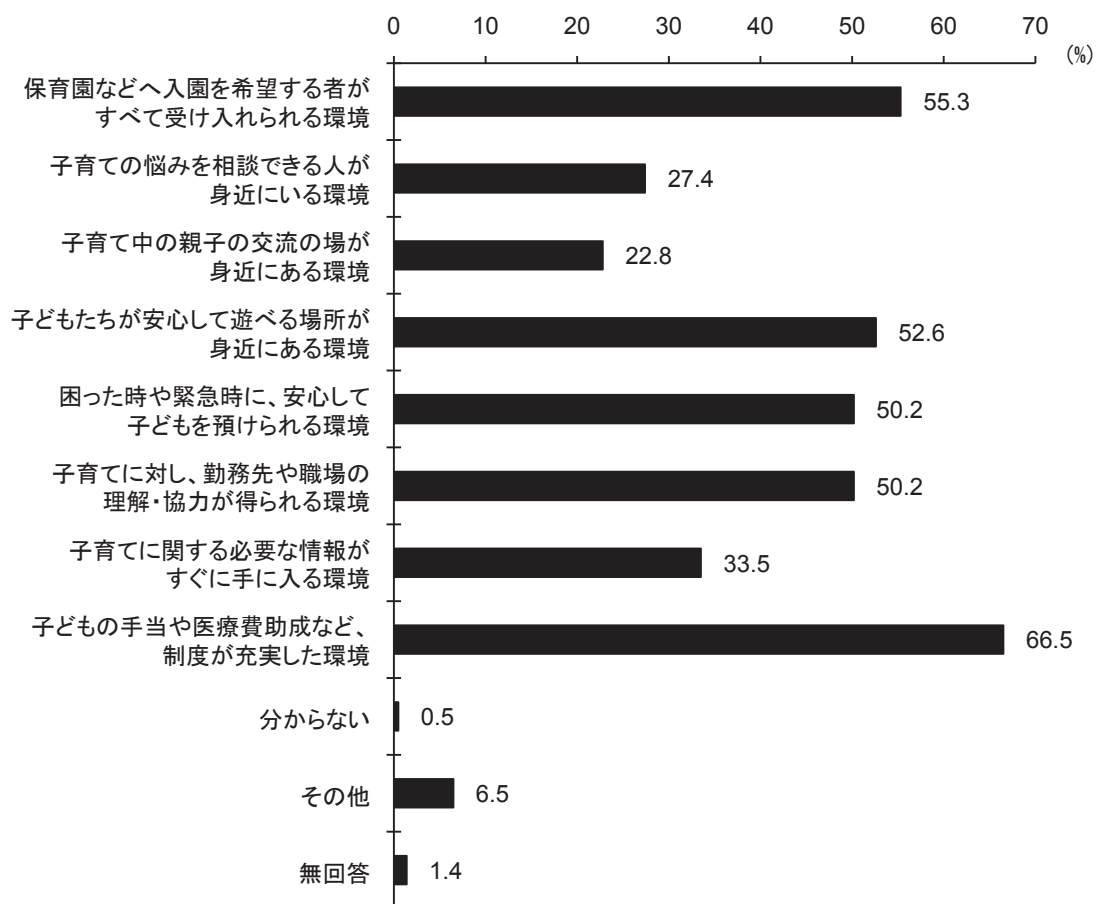


「保育園などへ入園を希望する者がすべて受け入れられる環境」が 55.7% で最も高かった。「子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある環境」、「困った時や緊急時に、安心して子どもを預けられる環境」、「子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境」、「子どもの手当や医療費助成など、制度が充実した環境」は、いずれも回答割合が 4 割を超えた。

問 20 で「子育て中」と回答した層に限ってみると、「子どもの手当や医療費助成など、制度が充実した環境」が 66.5% で最も多く、次いで「保育園などへ入園を希望する者がすべて受け入れられる環境」(55.3%)、「子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある環境」(52.6%) の順に多かった。全体の回答結果と比較すると、「子どもの手当や医療費助成など、制度が充実した環境」は、「子育て中」と回答した層の方が 20 ポイント以上高かった。

【子育て中の人の回答】

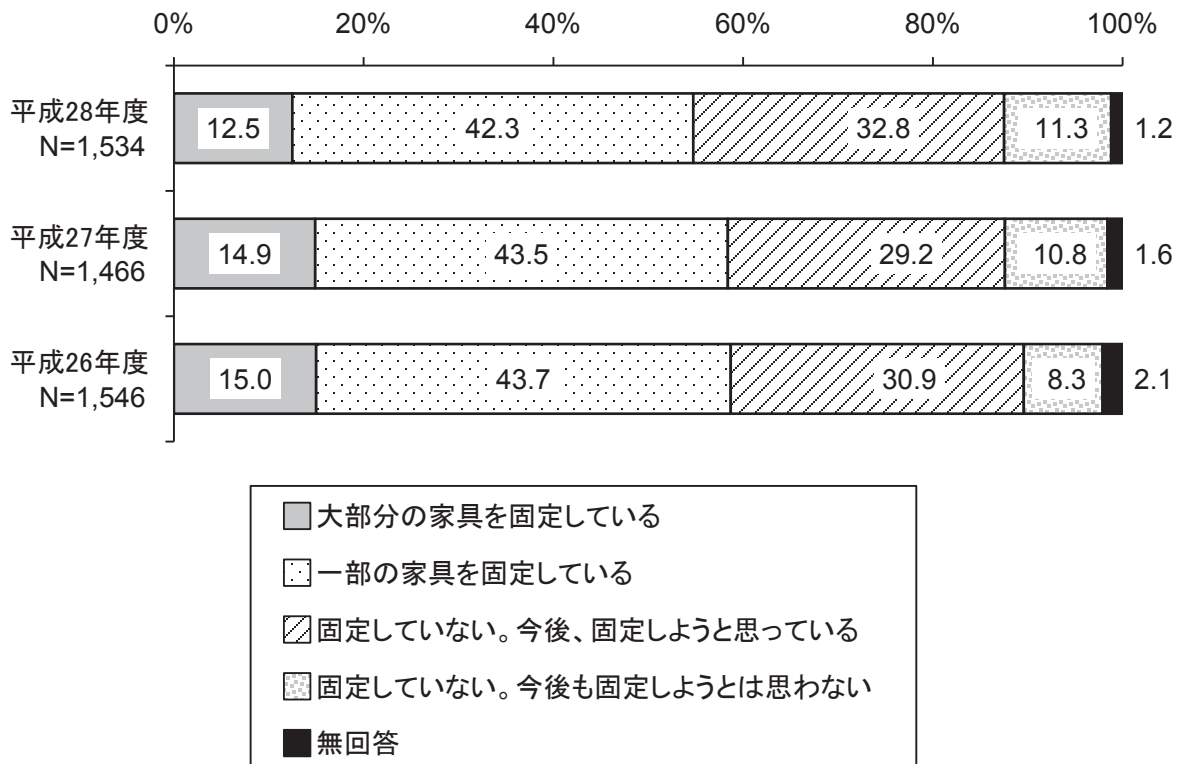
N = 215



## 9 市民の地震への備えについて

問 23 あなたのご家庭では、家具が転倒しないように固定していますか。  
(1つだけ○を付けてください)

一部でも家具を『固定している』人は54.8%

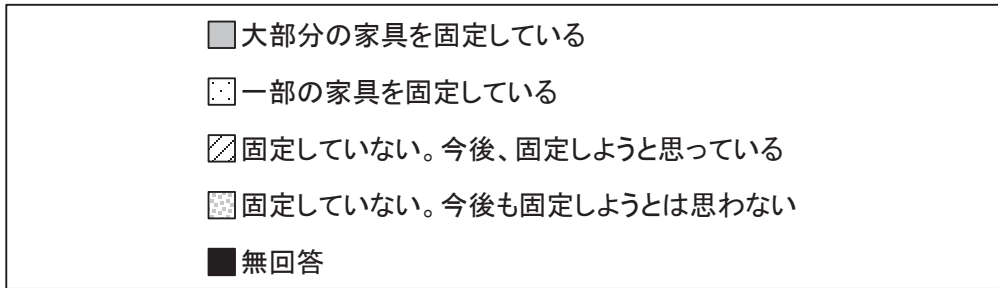
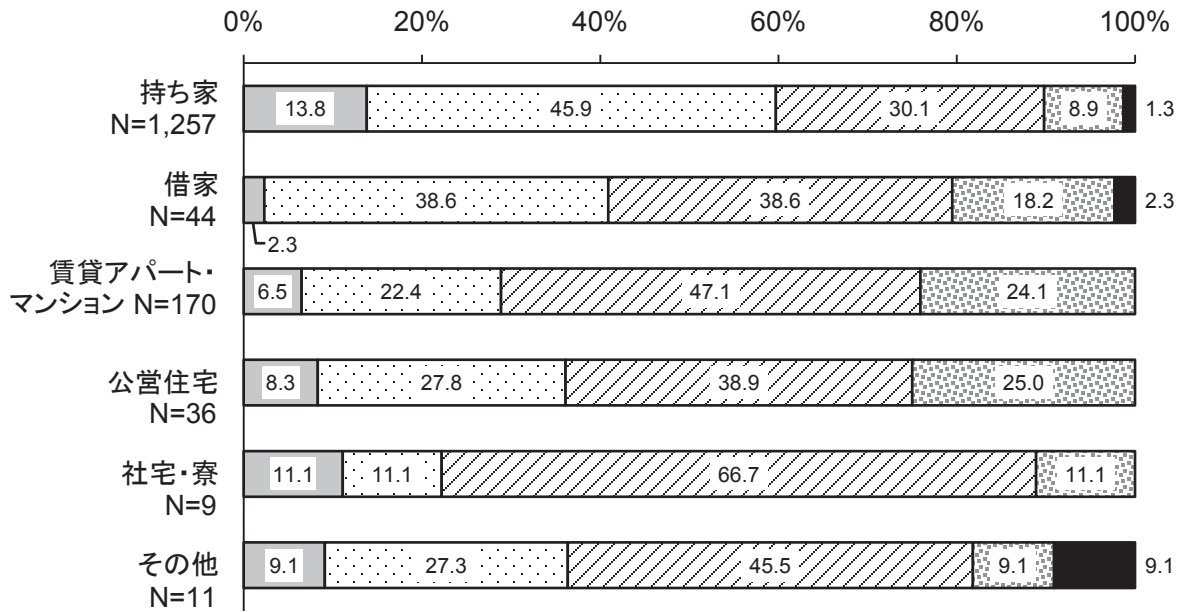


「一部の家具を固定している」が42.3%で最も多く、次いで「固定していない。今後、固定しようと思っている」の32.8%となった。「大部分の家具を固定している」(12.5%)と「一部の家具を固定している」を合わせた『固定している』は54.8%と過半数を上回った。

今後、『固定している』の割合を高めるためには「固定していない。今後、固定しようと思っている」層(32.8%)への対策が欠かせない。特に、居住形態では、社宅・寮で66.7%、賃貸アパート・マンションで47.1%、公営住宅で38.9%と高いため、賃貸アパート等の所有者への啓発を行う必要がある。

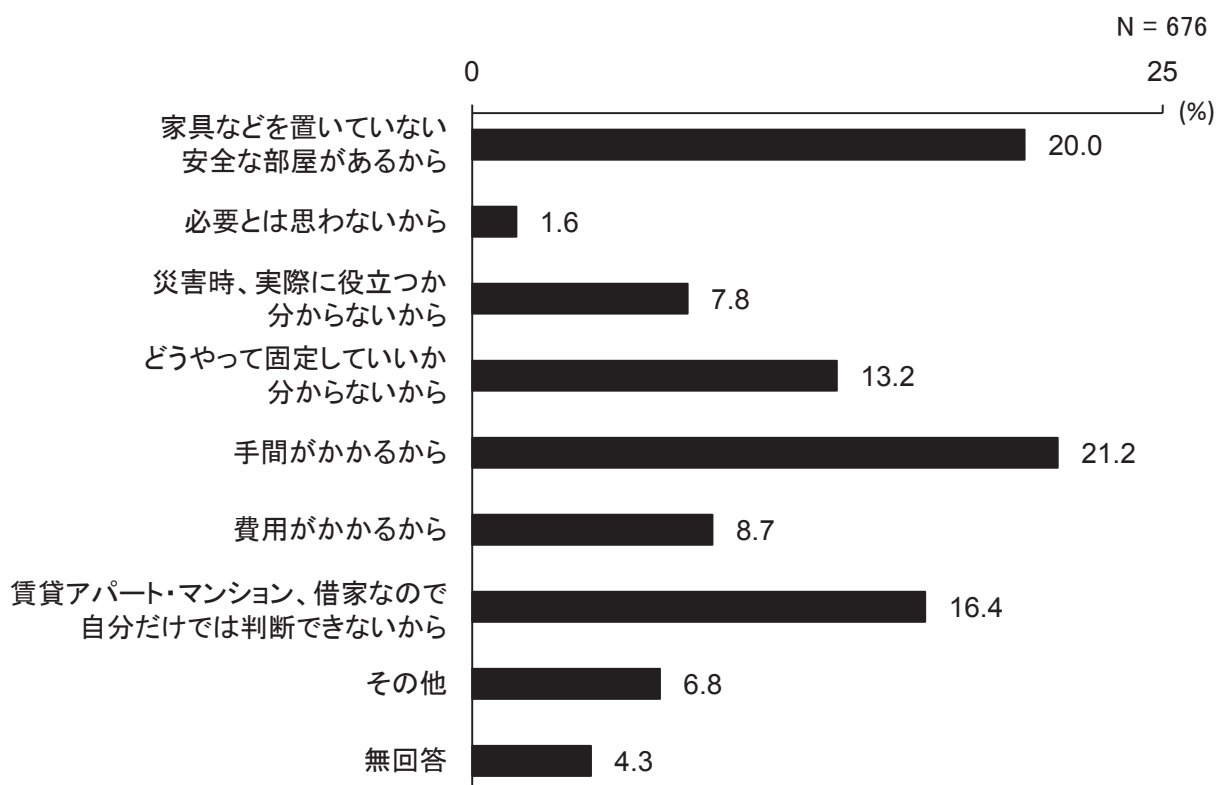


【居住形態別】



問 24 問 23 で「3. 固定していない。今後、固定しようと思っている」「4. 固定していない。今後も固定しようとは思わない」とお答えされた方に伺います。固定していない理由は何ですか。(1つだけ○を付けてください)

家具の固定対策をしていない理由は「手間がかかるから」が最も多い

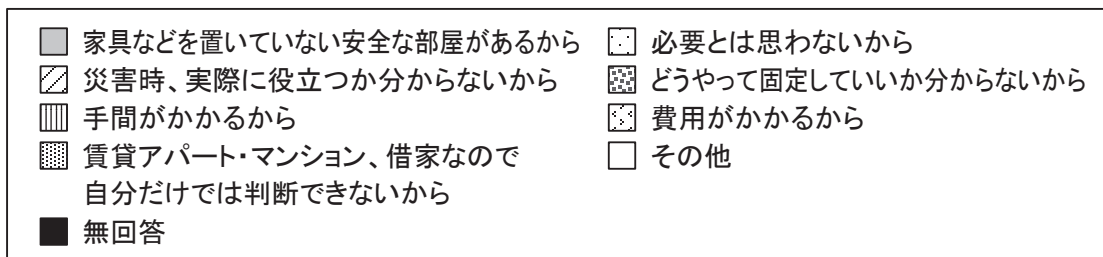
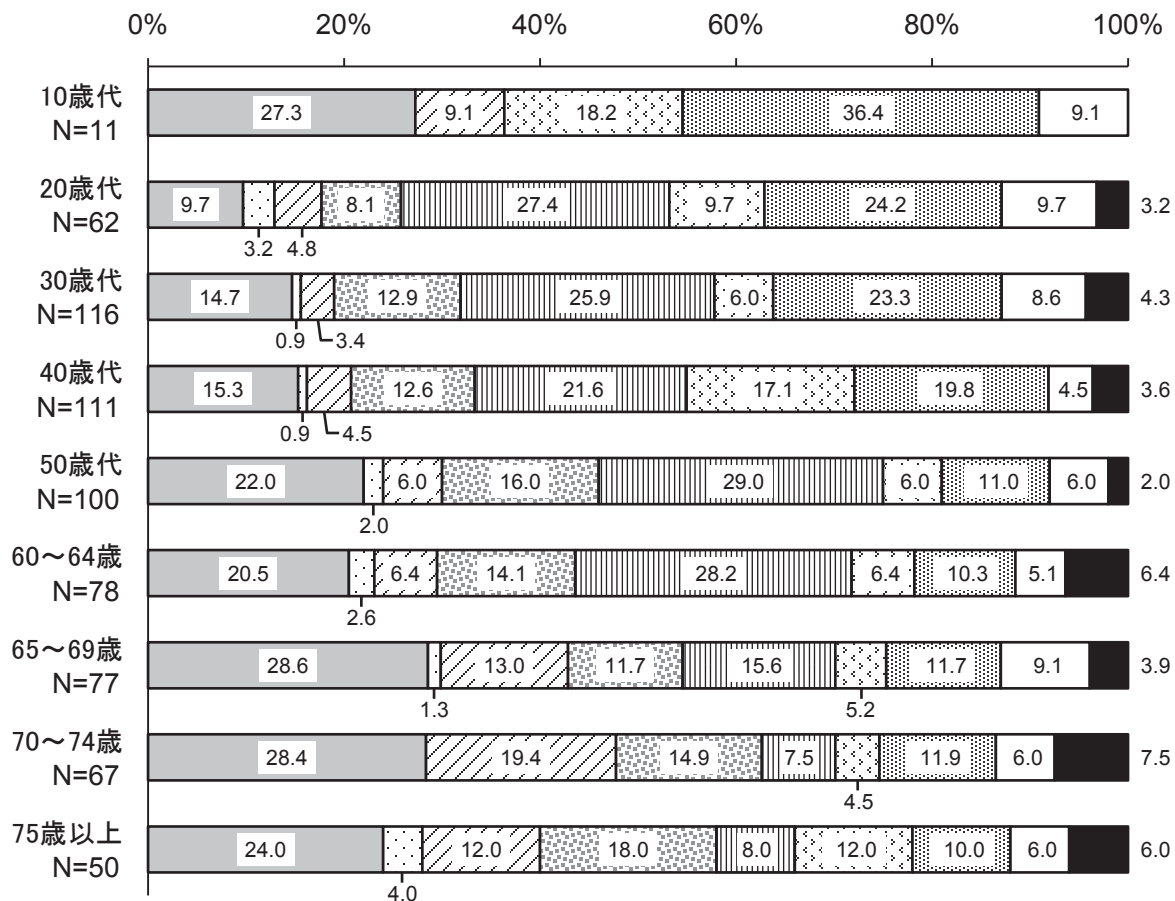


「手間がかかるから」が21.2%で最も高かった。また「どうやって固定していいかわからないから」の13.2%を合わせると、34.4%となる。これは、実際に家具の固定を経験したことが無いことが理由とも考えられるため、家具固定の実演講座を検討していく必要がある。次いで「家具などを置いていない安全な部屋があるから」(20.0%)が高かった。

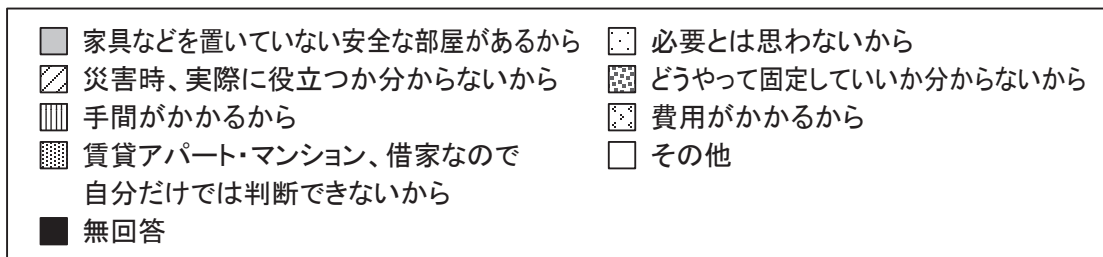
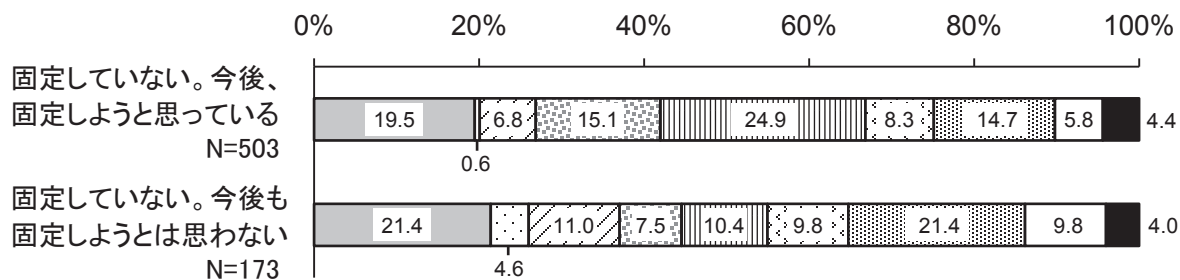
「必要とは思わないから」(1.6%)、「災害時、実際に役立つかわからないから」(7.8%)といった減災効果の周知不足が起因する項目は少数意見にとどまった。ただし、「災害時、実際に役立つかわからないから」を年齢別で見ると、防災意識が高いと思われる年齢層(50歳代～)で高い割合となっており、災害時をイメージできるようにして意識を変える対策が必要である。

問 23 で「固定していない。今後、固定しようと思っている」と回答した人は、相対的に、「手間がかかるから」、「どうやって固定していいかわからないから」の回答割合が高く、「固定していない。今後も固定しようとは思わない」と回答した人は「賃貸アパート・マンション、借家なので自分だけでは判断できないから」、「災害時、実際に役立つかわからないから」、の回答割合が高かった。固定意思のある人には固定のための支援対策、意思のない人にはさらなる啓発などの対策が必要といえる。

【年齢別】

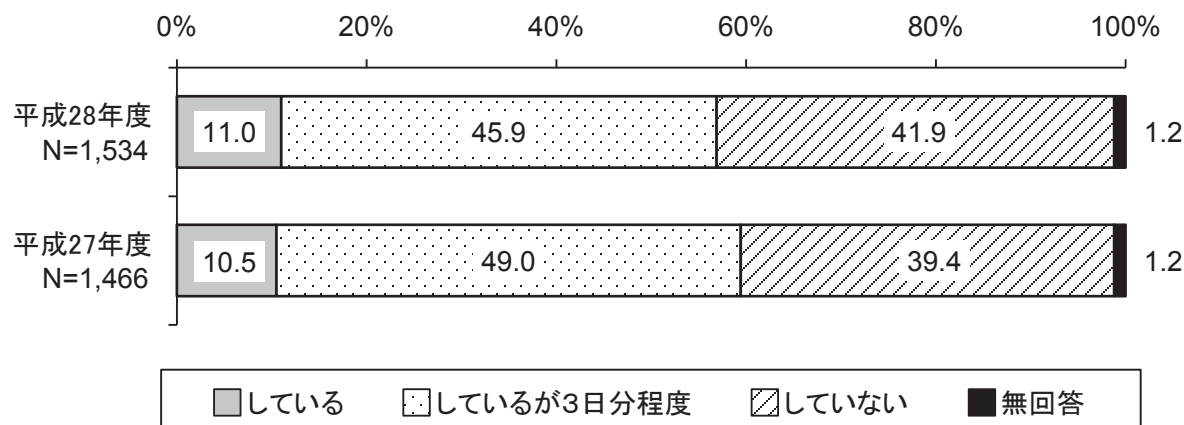


【固定意思の有無別】



問 25 あなたのご家庭では、災害の発生に備え7日分以上の水や食糧を備蓄していますか。  
(1つだけ○を付けてください)

7日分以上の水や食糧を備蓄している人は11.0%



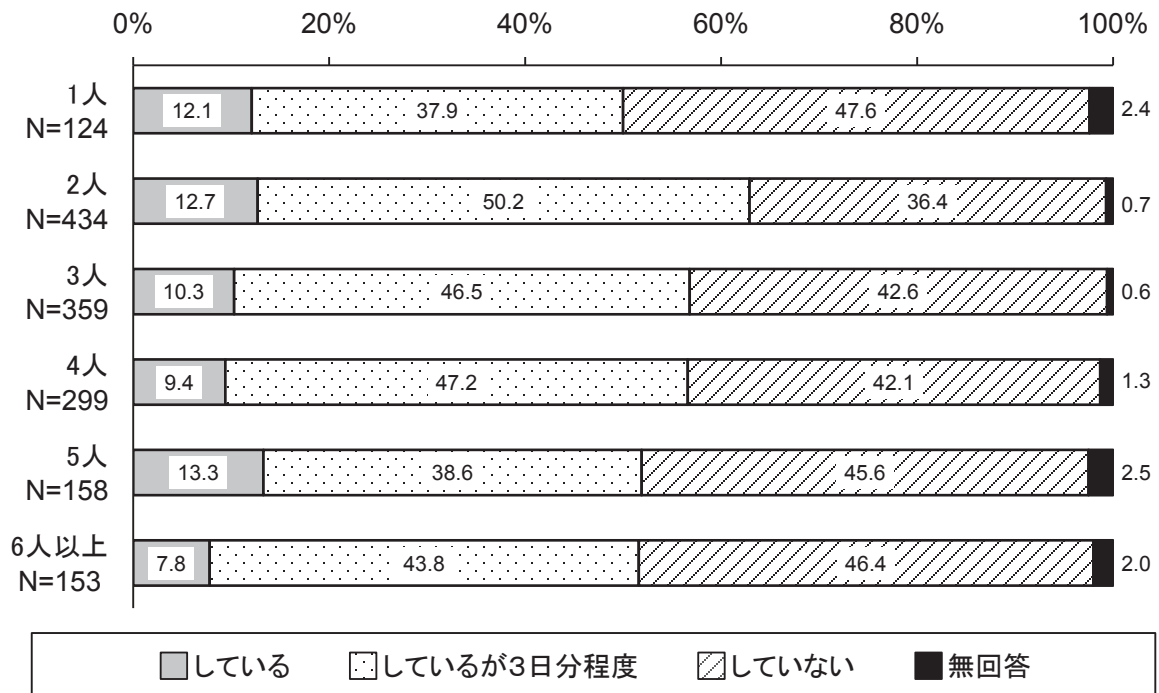
7日分以上の水や食糧の備蓄をしている人は全体の11.0%となった。「しているが3日分程度」(45.9%)と合わせた『している』は56.9%となった。

平成27年度調査と比較すると『している』は2.6ポイント低下した。

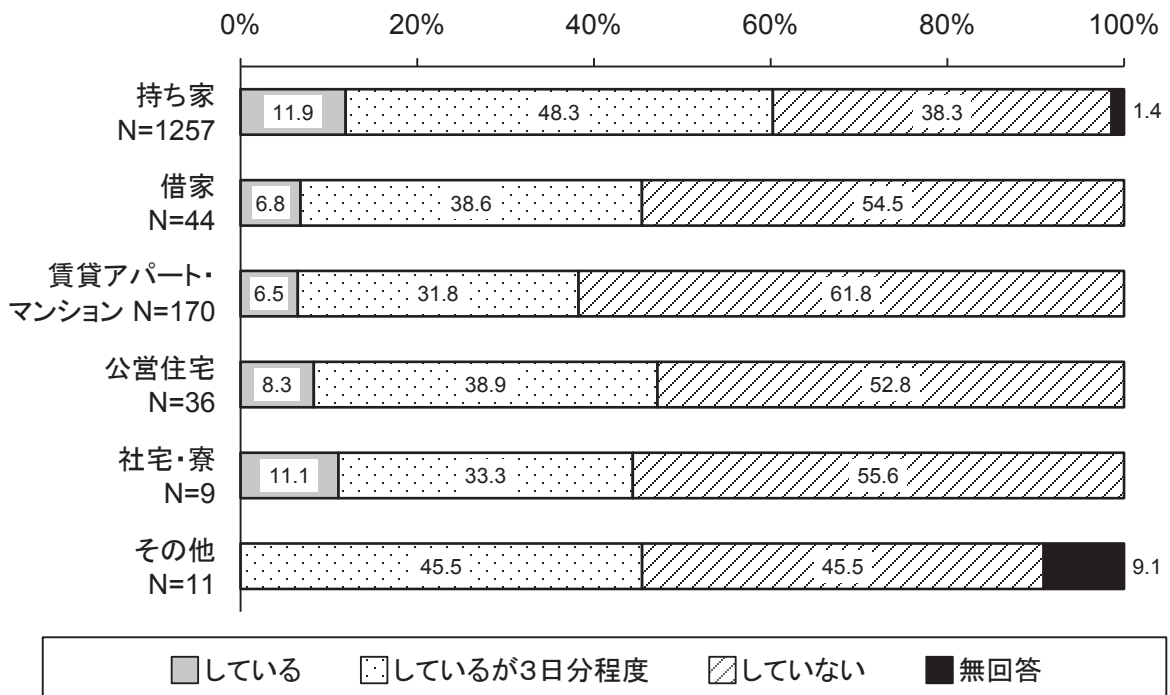
家族数別でみると、「していない」の回答割合が最も高かったのは「1人」の47.6%。次いで「6人以上」の46.4%だった。最も低かったのは「2人」の36.4%だった。

居住形態別でみると、「していない」の回答割合が最も高かったのは「賃貸アパート・マンション」の61.8%。次いで「社宅・寮」(55.6%)、「借家」(54.5%)の順に高かった。

【家族数別】

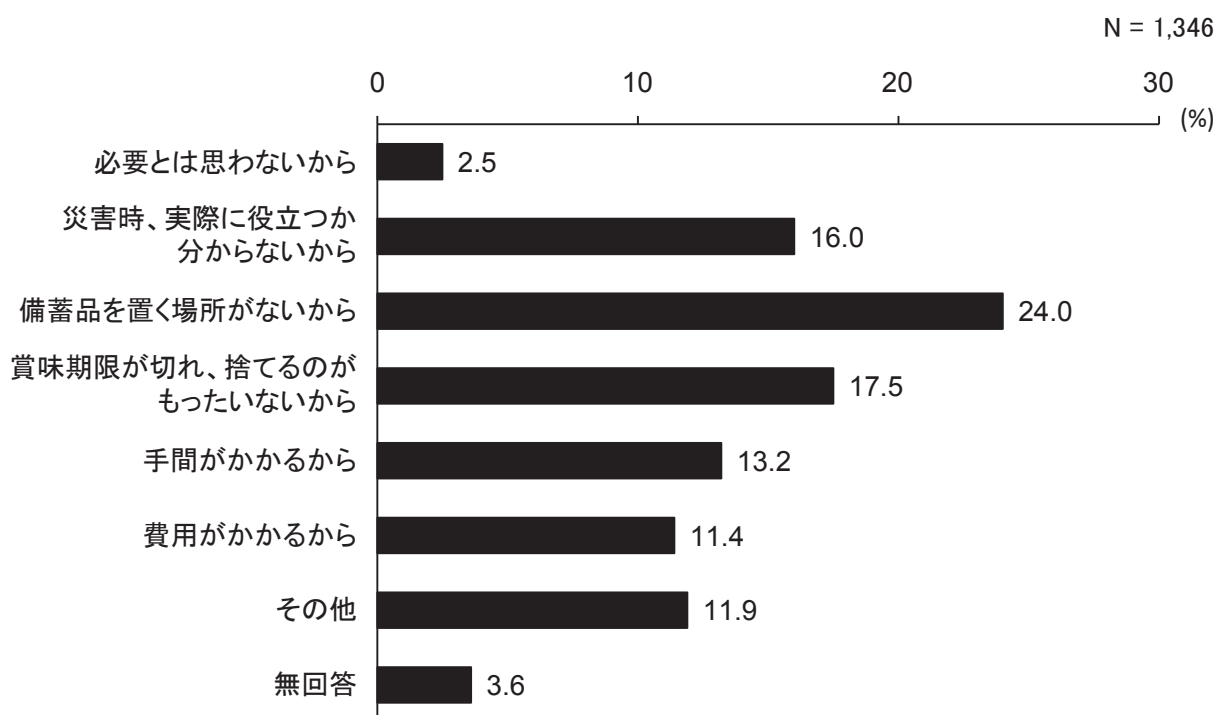


【居住形態別】



問 26 問 25 で「2. しているが3日分程度」「3. していない」とお答えされた方に伺います。7日分以上の備蓄をしない理由は何ですか。(1つだけ○を付けてください)

「必要とは思わないから」と考えている人は少数

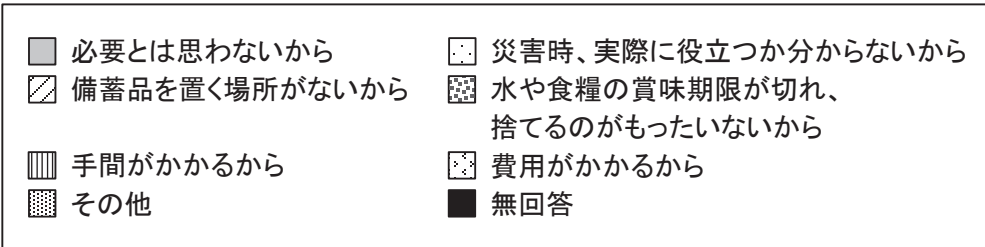
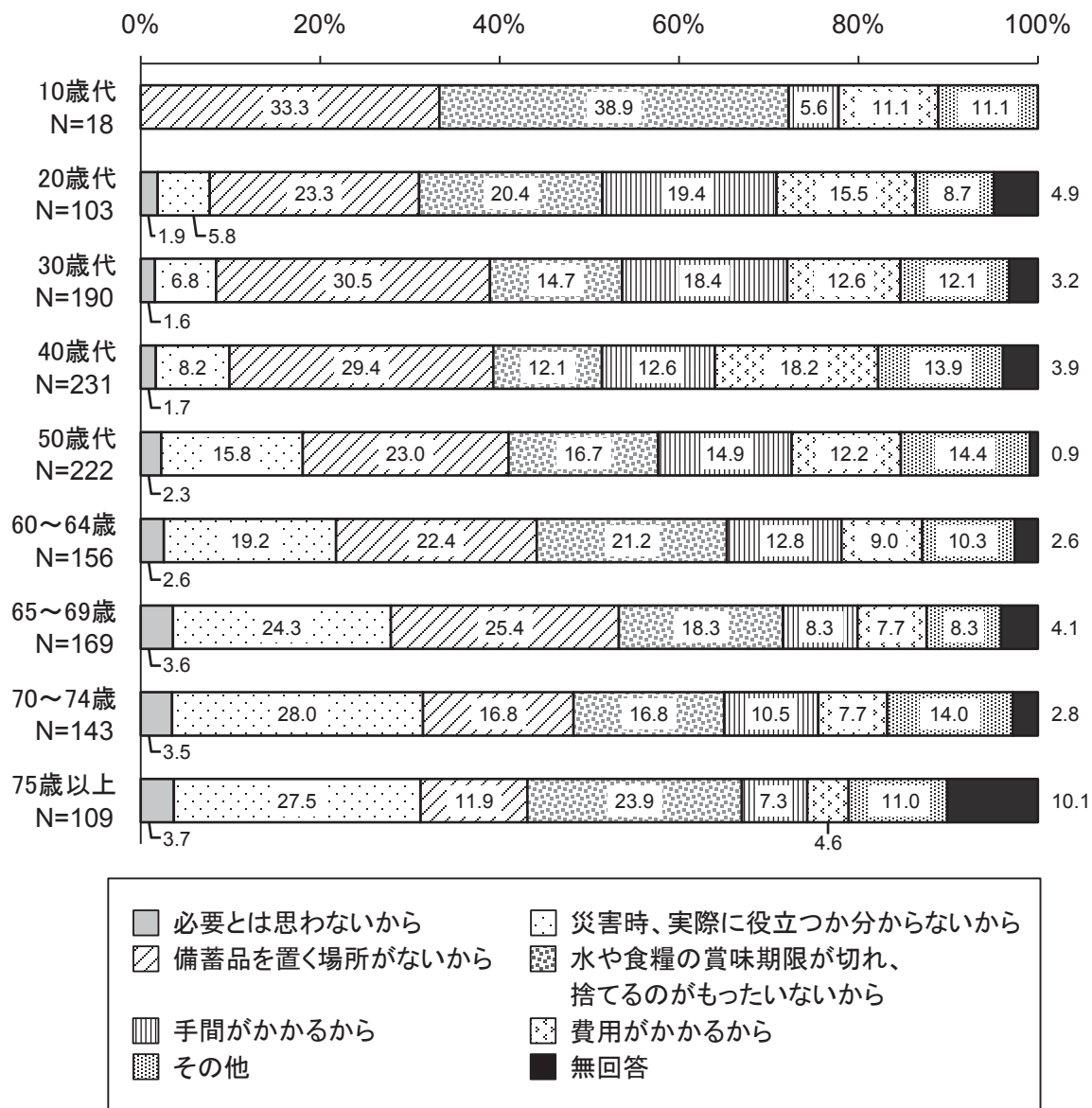


「必要とは思わないから」は2.5%にとどまり、大半の人が備蓄は必要と思いつつも、何らかの理由で7日分以上の備蓄ができていないことがわかった。備蓄ができていない理由としては、「備蓄品を置く場所がないから」が24.0%で最も高く、次いで「賞味期限が切れ、捨てるのがもったいないから」の17.5%となった。このため、従来の備蓄品の例といった広報に加え、日常の食材を多めに用意し、使った分を補充するローリングストックなどの備蓄方法も広報する必要がある。

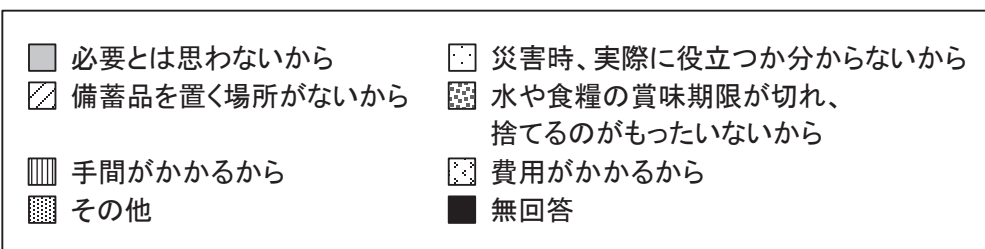
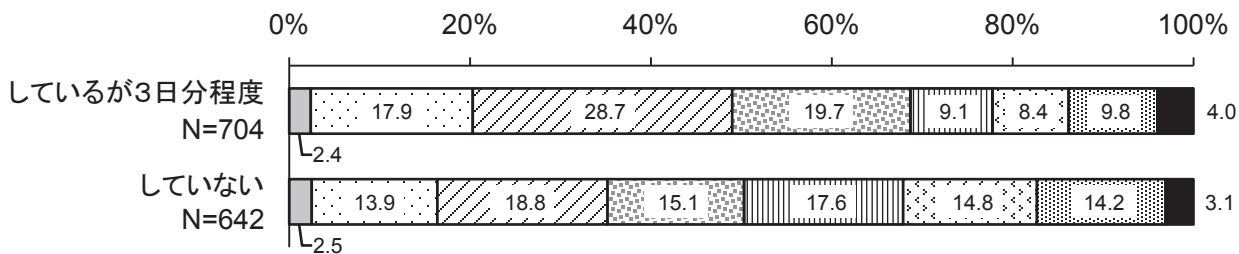
年齢別でみると、「必要とは思わないから」、「災害時、実際に役立つかわからないから」は年齢が高いほど回答割合も高い傾向がみられた。「備蓄品を置く場所がないから」は年齢が低いほど回答割合が高い傾向がみられた。年齢により備蓄をしない理由が異なることから、年齢に応じた周知広報活動が必要といえる。

問 25 で、「しているが3日分程度」と回答した人は相対的に「備蓄品を置く場所がないから」、「賞味期限が切れ、捨てるのがもったいないから」、「災害時、実際に役立つかわからないから」の回答割合が高かった。「していない」と回答した人は「しているが3日分程度」に比べ「手間がかかるから」、「費用がかかるから」の回答割合が高かった。

【年齢別】

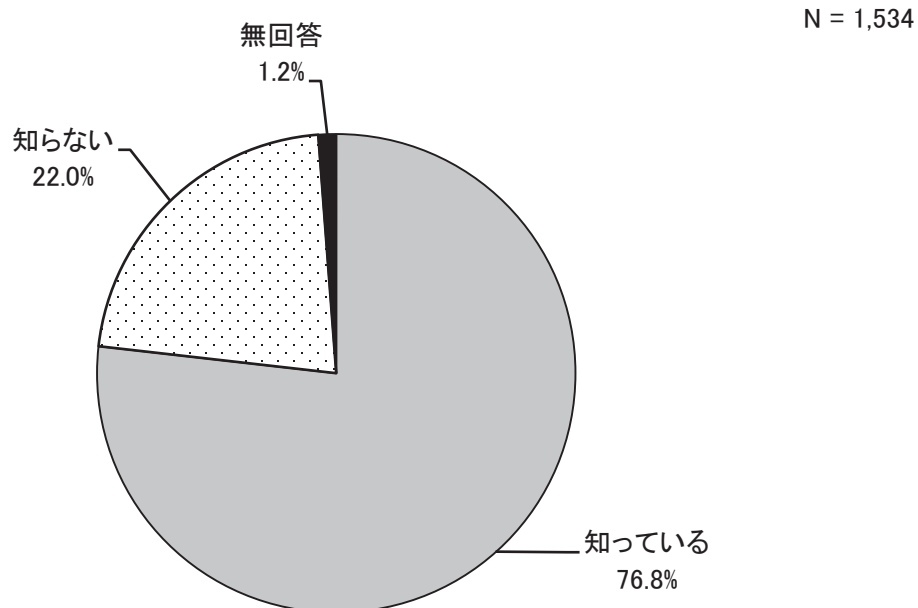


【備蓄程度別】



問 27 浜松市では、大雨等による避難情報（避難準備情報、避難勧告、避難指示）を地区ごとに発令しています。あなたは、ご自分の住んでいる地区名を知っていますか。（1つだけ○を付けてください）

自分の住んでいる地区名を知っている人は 76.8%



「知っている」は76.8%となり「知らない」の22.0%を54.8ポイント上回った。広報はままつ2016年3月号に地区名が分かる地図を折り込んだことが「知っている」の回答割合を高めた一因になっていると思われる。

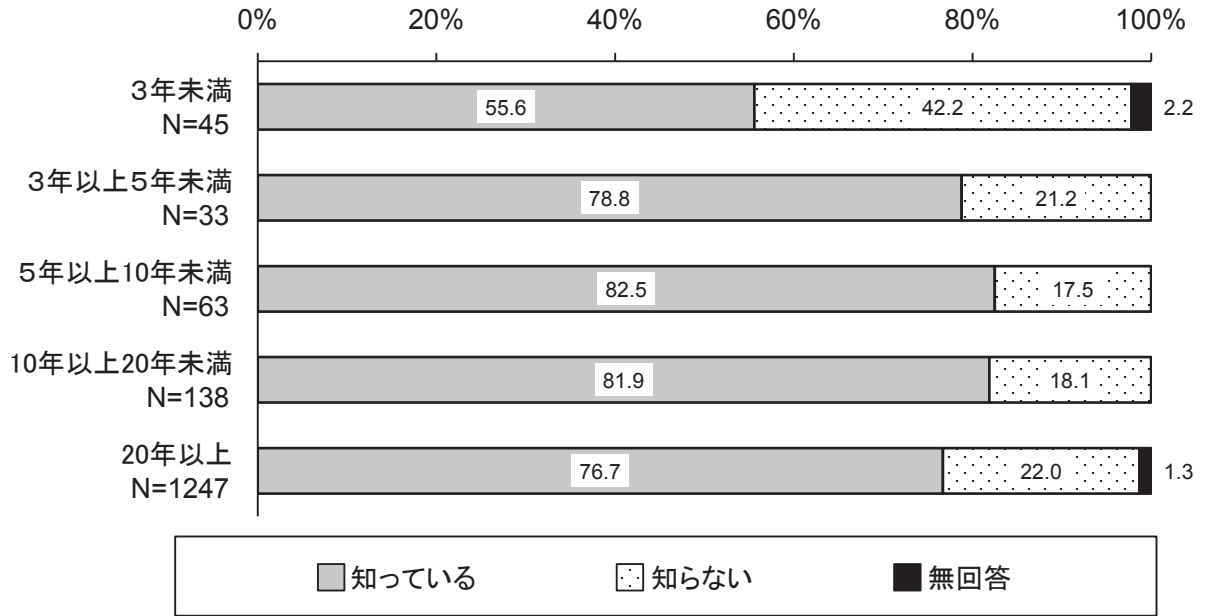
居住年数別で見ると「知らない」と回答した割合が最も高いのは、「3年未満」の42.2%となった。「3年以上5年未満」になると「知らない」は21.2%に低下し、20年以上の層と回答割合はあまり変わらなくなることから、居住年数3年未満の人達への周知を重点的に行う必要がある。

居住形態別で見ると、「知らない」は「社宅・寮」が55.6%で最も高かった。

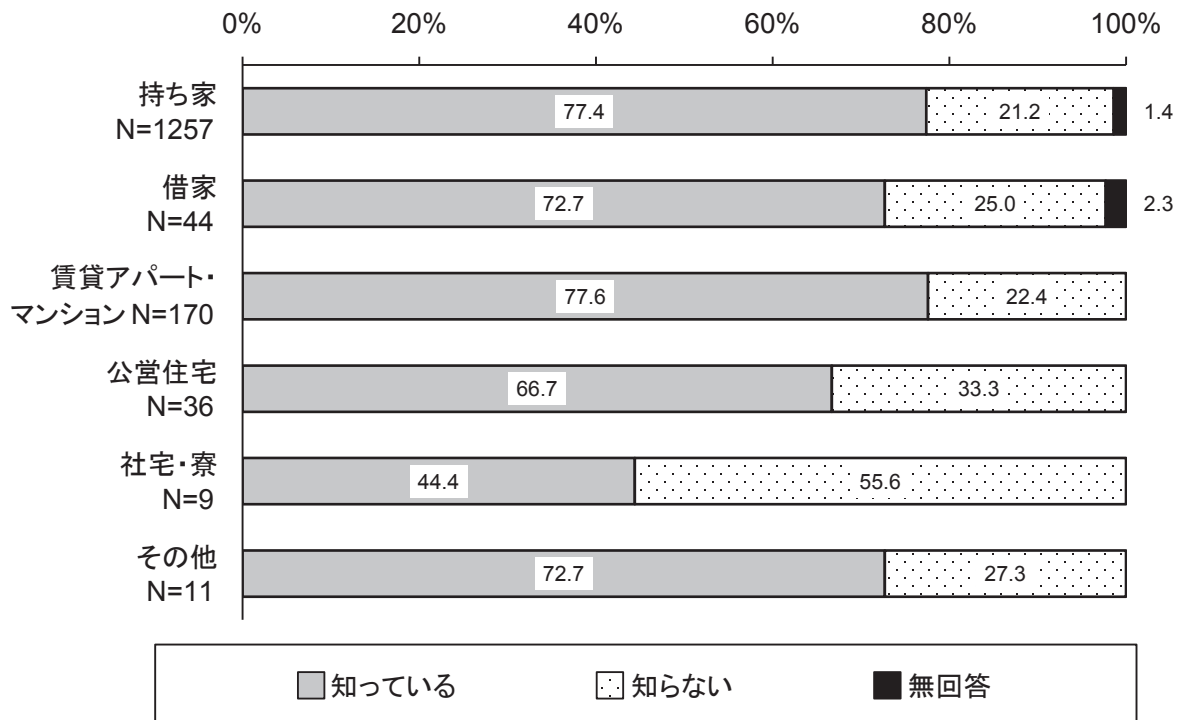
避難情報という観点から「知らない」22.0%に対する対策を継続的に実施しなければならない。このため、転入時のほか寮を保有している企業、大学などを通して、地区名が分かる地図を、配付や掲示していただき周知する必要がある。



【居住年数別】



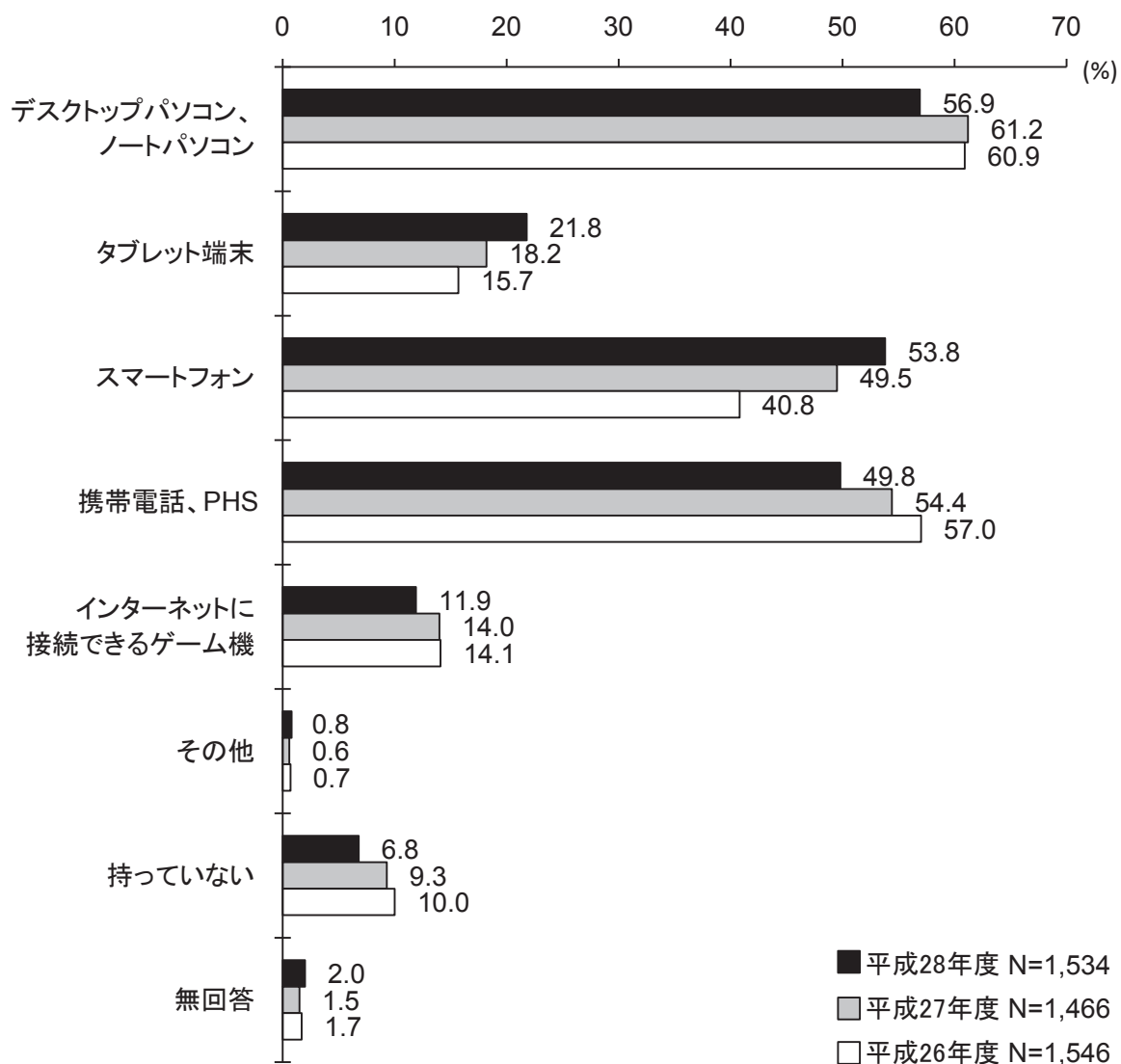
【居住形態別】



## 10 地域情報化について

問 28 あなたのご家庭で、次のような情報通信機器を利用していますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「スマートフォン」利用者が「携帯電話、PHS」利用者を上回る



「デスクトップパソコン、ノートパソコン」が56.9%で最も多く、次いで「スマートフォン」(53.8%)、「携帯電話、PHS」(49.8%)の順に多かった。

平成26年度調査からの推移をみると、「スマートフォン」は40.8%→49.5%→53.8%と増加する一方、「携帯電話、PHS」は57.0%→54.4%→49.8%と減少し、本年度調査で初めて「スマートフォン」が「携帯電話、PHS」を上回った。最も利用の多い「デスクトップパソコン、ノート

パソコン」は平成26年度調査から平成27年度調査にかけては、ほぼ横ばいだったが、本年度調査では4.3ポイント低下した。

年齢別でみると、10歳代～30歳代は「スマートフォン」の利用率が9割を超え、50歳代までは「スマートフォン」が「携帯電話、PHS」を上回っている。

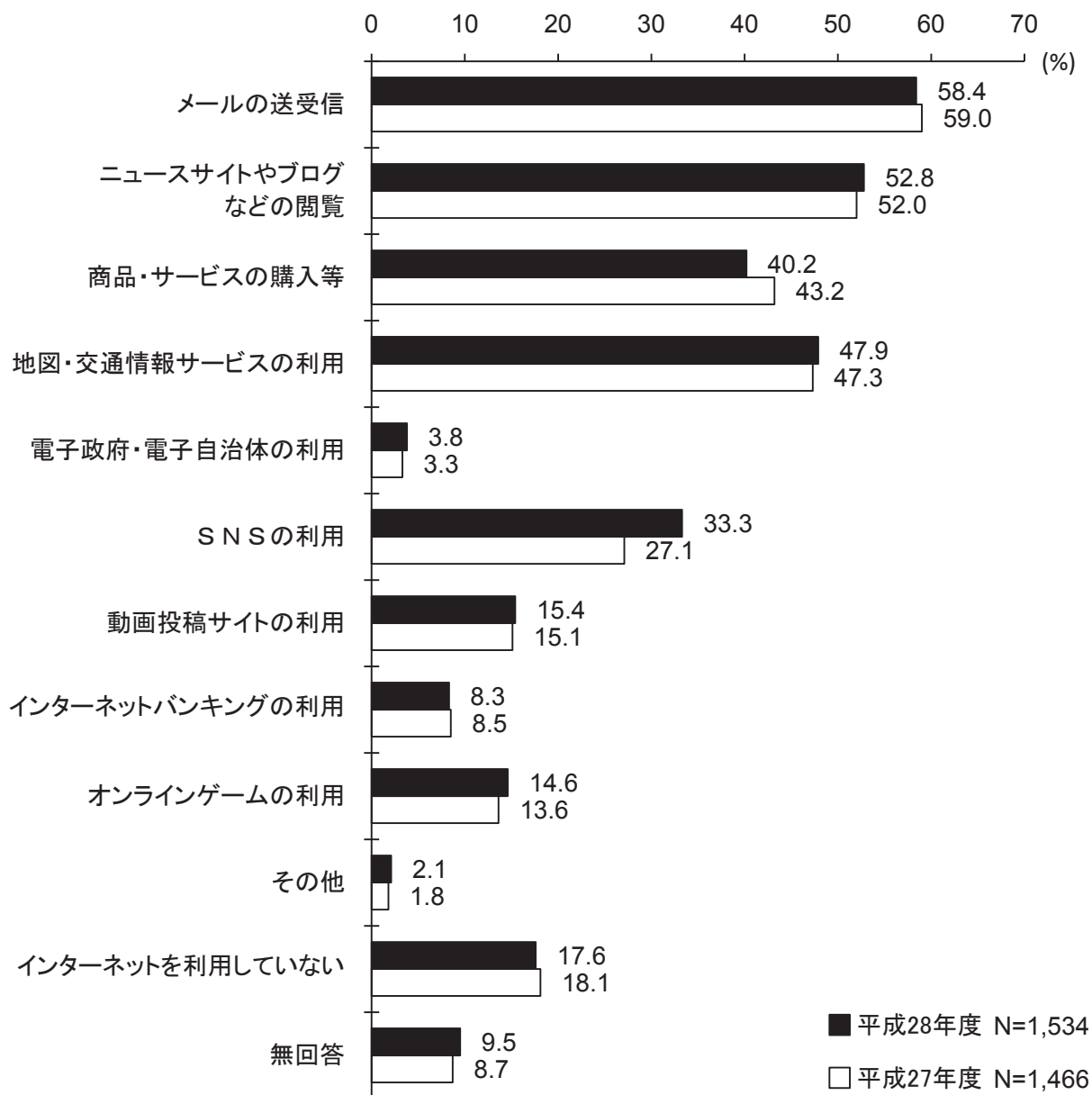
情報通信機器を「持っていない」は6.8%となった。年齢別でみると、年齢が高まるに伴い「持っていない」の割合が高くなる傾向がみられるが、75歳以上でも「持っていない」は24.1%にとどまっている。年齢に関わらず多くの市民が何らかの情報通信機器を所有している。

#### 【年齢別】

|                 | ノートパソコン | デスクトップパソコン、<br>タブレット端末 | スマートフォン | 携帯電話、PHS | インターネットに<br>接続できるゲーム機 | その他 | 持っていない | 無回答 |
|-----------------|---------|------------------------|---------|----------|-----------------------|-----|--------|-----|
| 10歳代<br>N=22    | 72.7    | 22.7                   | 90.9    | 22.7     | 22.7                  | -   | -      | -   |
| 20歳代<br>N=116   | 70.7    | 32.8                   | 91.4    | 31.0     | 18.1                  | -   | -      | -   |
| 30歳代<br>N=203   | 71.4    | 34.0                   | 92.1    | 26.6     | 23.6                  | 1.5 | -      | 0.5 |
| 40歳代<br>N=250   | 76.8    | 29.2                   | 80.0    | 34.0     | 21.6                  | -   | 1.6    | 1.2 |
| 50歳代<br>N=247   | 68.4    | 25.9                   | 65.6    | 50.2     | 9.3                   | -   | 2.4    | 0.4 |
| 60～64歳<br>N=185 | 54.1    | 21.6                   | 34.6    | 64.9     | 5.9                   | 1.6 | 7.6    | 1.1 |
| 65～69歳<br>N=195 | 42.1    | 10.8                   | 23.6    | 71.3     | 3.6                   | 2.6 | 9.7    | 3.1 |
| 70～74歳<br>N=172 | 32.0    | 7.6                    | 16.9    | 66.3     | 5.8                   | 1.2 | 15.7   | 3.5 |
| 75歳以上<br>N=137  | 23.4    | 8.0                    | 7.3     | 59.9     | 2.2                   | -   | 24.1   | 8.0 |

問 29 あなたが、過去 1 か月間にインターネットを利用した際の、利用目的は何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○を付けてください)

利用目的は「メールの送受信」が 58.4% で最も多い



「メールの送受信」が58.4%と最も多く、次いで「ニュースサイトやブログなどの閲覧」(52.8%)、「地図・交通情報サービスの利用」(47.9%)となった。「電子政府・電子自治体の利用」は3.8%にとどまった。

「電子政府・電子自治体の利用」は平成27年度調査でも3.3%にとどまっており、電子政府・電子自治体の利用普及が進んでいない状況がうかがえる。なお、本市における平成27年国勢調査

のインターネット回答率は49.3%（うちスマートフォン16.7%）となっていることから、広報と利便性の向上を図れば、電子自治体の利用普及は進むものと思われる。

年齢別でみると、10歳代と20歳代は「SNSの利用」が、「メールの送受信」を上回っておりSNSが普及していることがうかがえる。

「インターネットを利用していない」は全体では17.6%と2割未満にとどまったが、年齢が高まるに伴い回答割合も高くなる傾向がみられ、70～74歳は41.3%、75歳以上は32.1%が「インターネットを利用していない」と回答している。問28でみたとおり、高齢者においても情報通信機器の所有は高まっているが、活用が進んでいない状況にある。高齢者向けのわかりやすい利活用講座・講演などの利用促進支援が必要といえる。

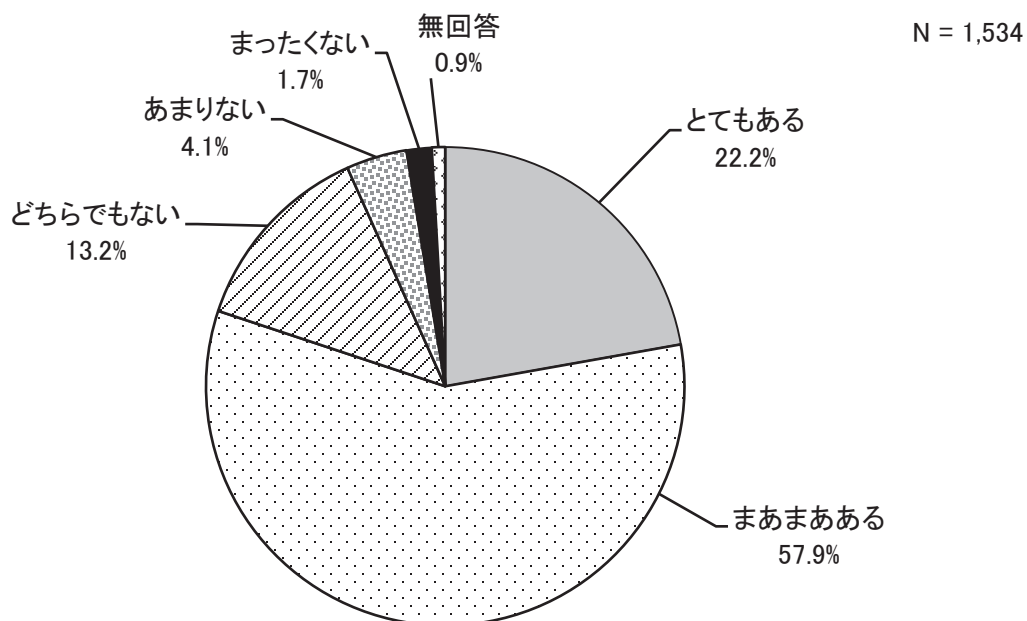
### 【年齢別】

|                 | メールの送受信 | ニュースサイトやブログなどの閲覧 | 商品・サービスの購入等 | 地図・交通情報サービスの利用 | 電子政府・電子自治体の利用 | SNSの利用 | 動画投稿サイトの利用 | インターネットバンキングの利用 | オンラインゲームの利用 | その他 | インターネットを利用していない | 無回答  |
|-----------------|---------|------------------|-------------|----------------|---------------|--------|------------|-----------------|-------------|-----|-----------------|------|
| 10歳代<br>N=22    | 59.1    | 54.5             | 45.5        | 59.1           | -             | 81.8   | 31.8       | 13.6            | 36.4        | -   | 4.5             | 4.5  |
| 20歳代<br>N=116   | 81.9    | 79.3             | 68.1        | 70.7           | 4.3           | 84.5   | 44.8       | 6.0             | 41.4        | 2.6 | 1.7             | -    |
| 30歳代<br>N=203   | 88.2    | 85.2             | 63.5        | 63.1           | 6.4           | 70.0   | 31.5       | 14.3            | 28.1        | 2.0 | 1.5             | 0.5  |
| 40歳代<br>N=250   | 84.0    | 78.4             | 57.6        | 64.8           | 4.0           | 53.6   | 24.0       | 12.0            | 28.0        | 0.8 | 4.4             | 1.2  |
| 50歳代<br>N=247   | 75.3    | 66.0             | 50.6        | 63.2           | 6.1           | 30.0   | 10.5       | 12.1            | 11.3        | 2.0 | 8.5             | 2.0  |
| 60～64歳<br>N=185 | 45.9    | 40.5             | 30.8        | 43.2           | 2.7           | 13.5   | 7.6        | 7.0             | 3.8         | 2.7 | 27.6            | 8.1  |
| 65～69歳<br>N=195 | 29.2    | 24.1             | 19.5        | 27.2           | 2.1           | 6.7    | 3.6        | 2.6             | 1.0         | 3.1 | 31.8            | 18.5 |
| 70～74歳<br>N=172 | 23.8    | 18.0             | 11.6        | 20.3           | 1.2           | 2.9    | 2.9        | 3.5             | 1.2         | 1.7 | 41.3            | 21.5 |
| 75歳以上<br>N=137  | 19.7    | 15.3             | 10.2        | 18.2           | 2.9           | 1.5    | -          | 3.6             | 1.5         | 2.9 | 32.1            | 34.3 |

## 1 1 浜松市の強みについて

問 30 あなたは、現在、浜松市に対して愛着を持っていますか。  
(1つだけ○を付けてください)

8割の人が浜松市に愛着を持っている

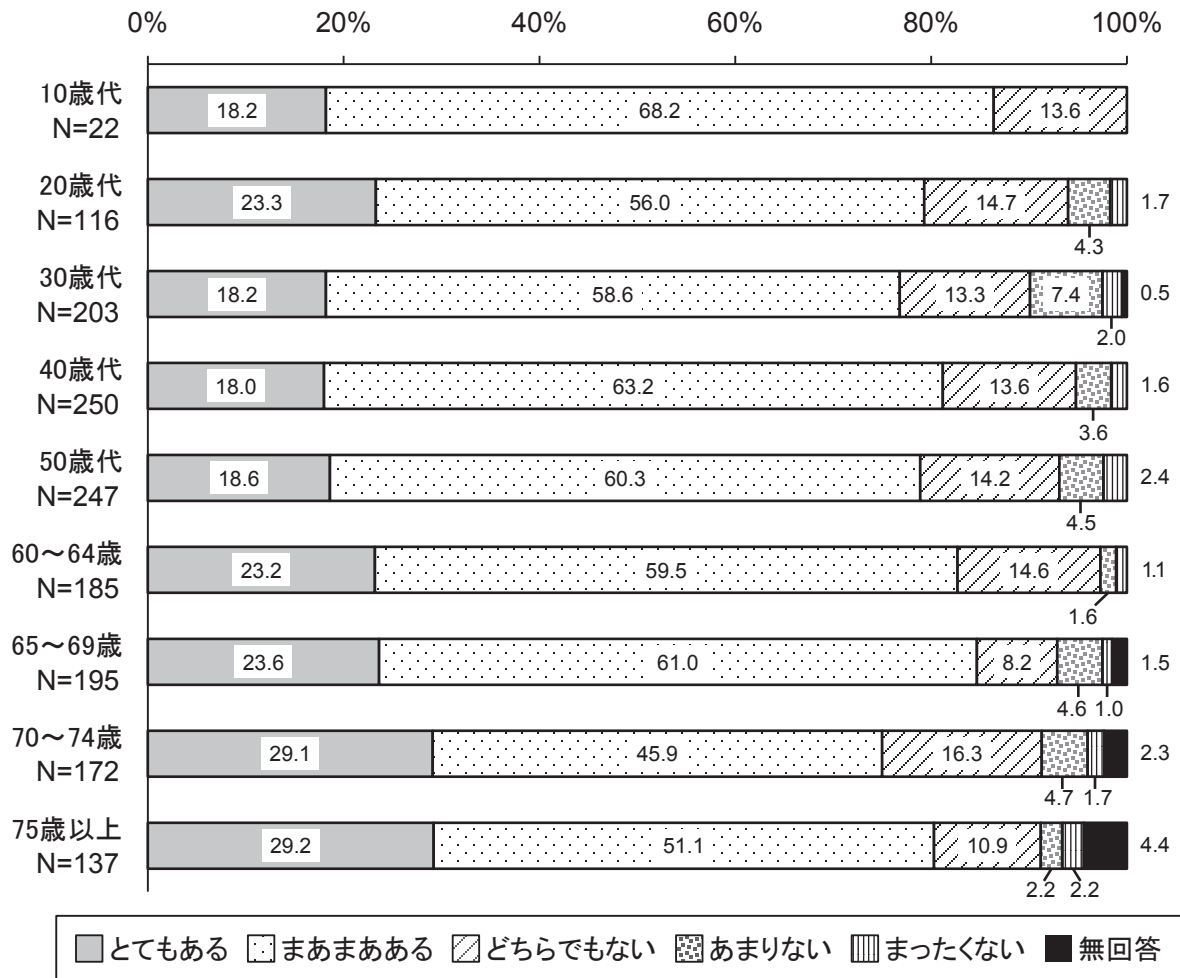


「とてもある」が 22.2%、「まあまあある」が 57.9%となり、2項目を合わせた『愛着を持っている』は 80.1%となった。「あまりない」は 4.1%、「まったくない」は 1.7%と少数意見で、市民の大半が浜松市に愛着を持っている。

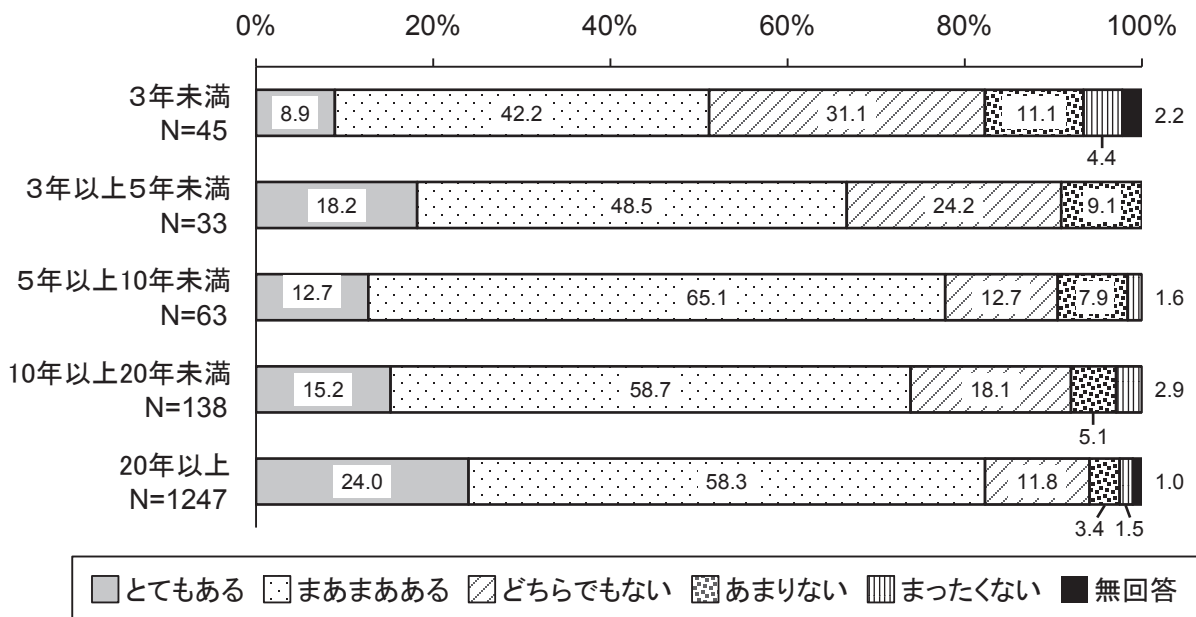
年齢別でみると、『愛着を持っている』が最も高いのは 10 歳代の 86.4%だった。最も低いのは 70～74 歳の 75.0%となったが、「とてもある」に限ってみれば 70～74 歳は、75 歳以上に次いで回答割合が高かった。年齢を問わず多くの市民が浜松市に愛着を持っているといえる。

居住年数別でみると、居住年数が長いほど『愛着を持っている』の割合が高い傾向がみられた。

【年齢別】

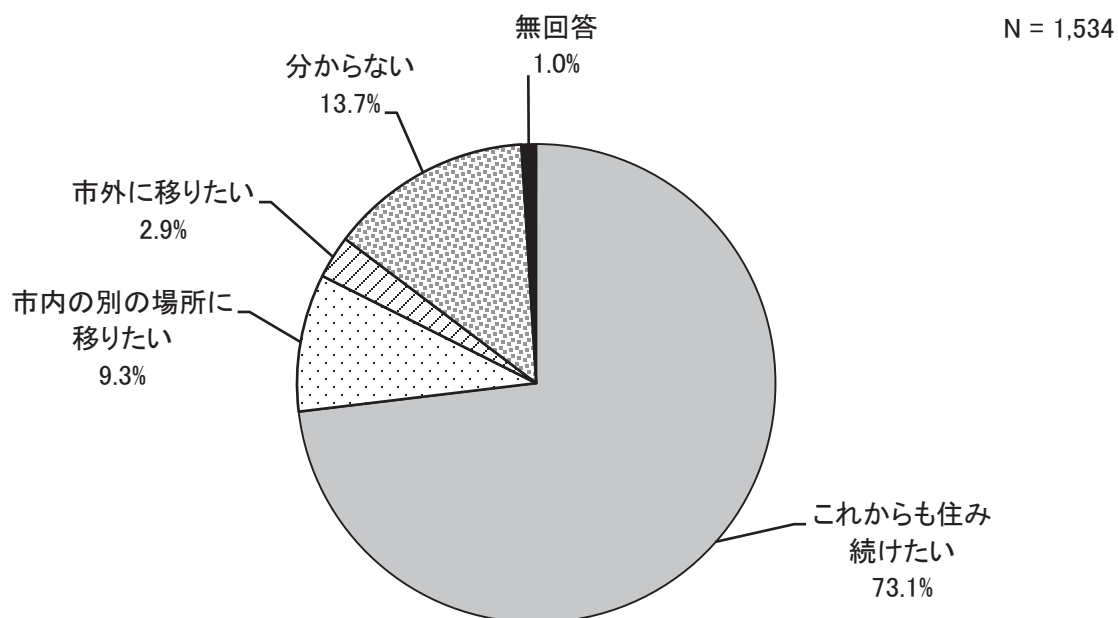


【居住年数別】



問 31 あなたは、これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか。  
(1つだけ○を付けてください)

現在の場所に「これからも住み続けたい」が 73.1%



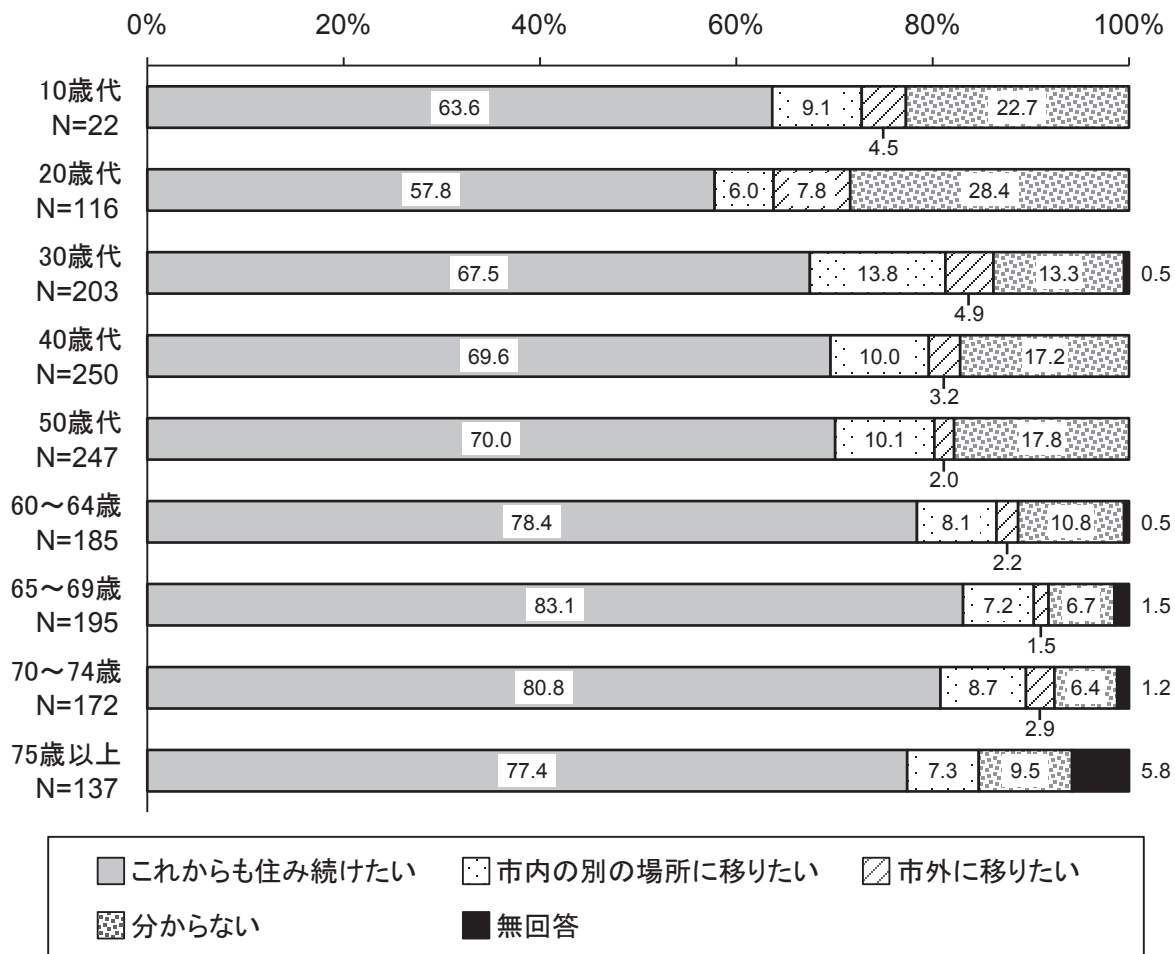
「これからも住み続けたい」が 73.1%で圧倒的に高く、「市内の別の場所に移りたい」の 9.3%と合わせると、82.4%が『浜松市に住みたい』と回答している。「市外に移りたい」は 2.9%で少数意見だった。

年齢別でみると、「これからも住み続けたい」の回答割合が最も低かったのは20歳代の57.8%で、次いで10歳代(63.6%)の順であった。若年層で「これからも住み続けたい」の回答割合が低い結果となったが、10歳代、20歳代は「分からない」の割合も相対的に高く、積極的に移りたいと考えている人は少数となっている。

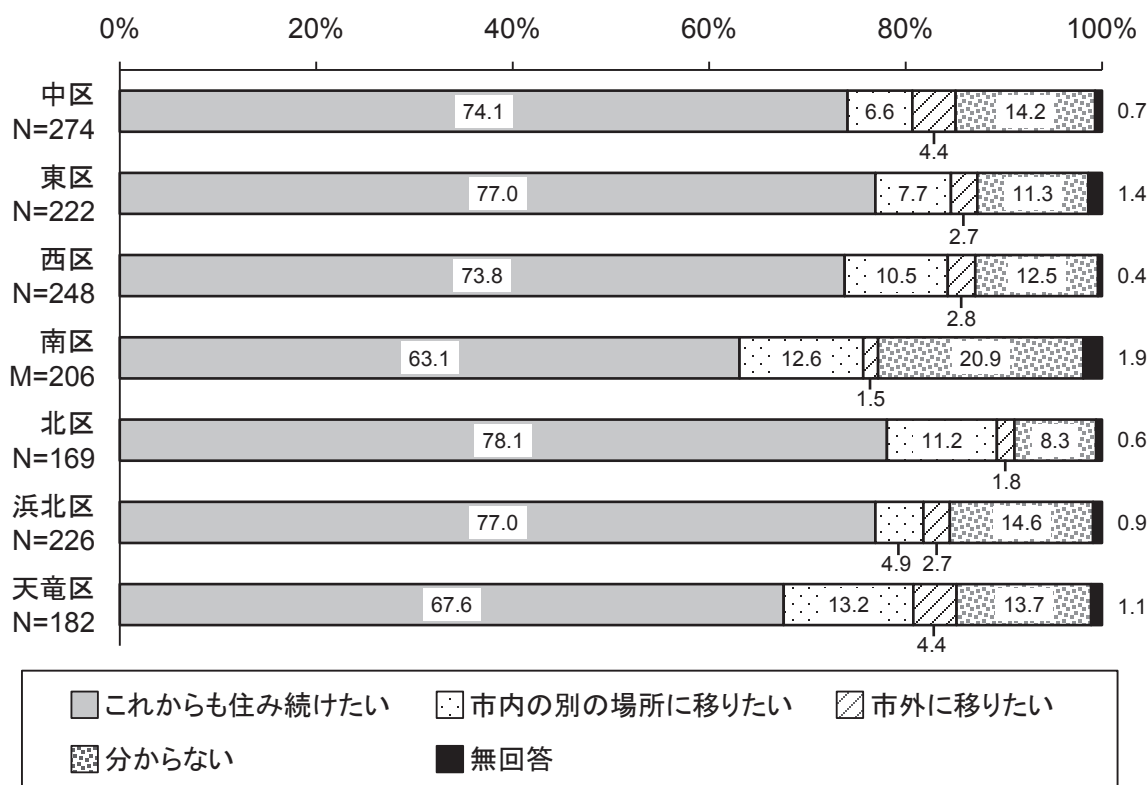
行政区別でみると、「これからも住み続けたい」の回答割合が最も高かったのは北区の 78.1%だった。最も低かったのは南区の63.1%で、次いで天竜区(67.6%)の順であった。ただし、南区、天竜区は「これからも住み続けたい」の割合は低かったものの、「市内の別の場所に移りたい」が相対的に高く、『浜松市に住みたい』と考えている人は他区同様多数を占めている。「市外に移りたい」はすべての区で回答割合が5%未満の少数意見だった。



【年齢別】

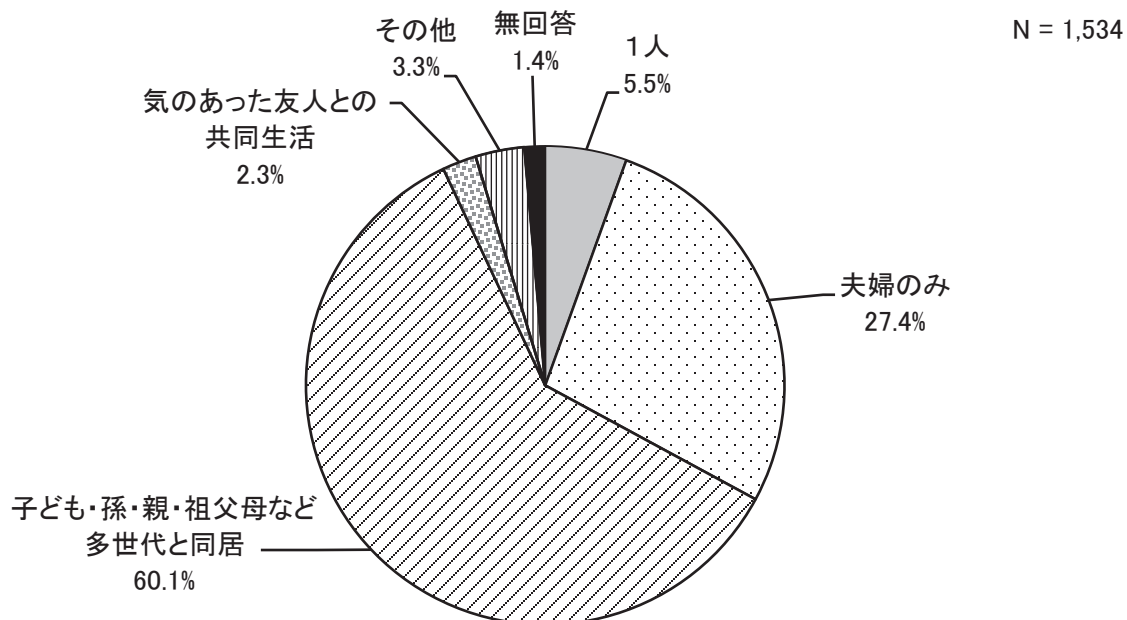


【行政区別】



問 32 あなたは、現在の状況にかかわらず、誰と一緒に住むことが理想的だと思いますか。  
(1つだけ○を付けてください)

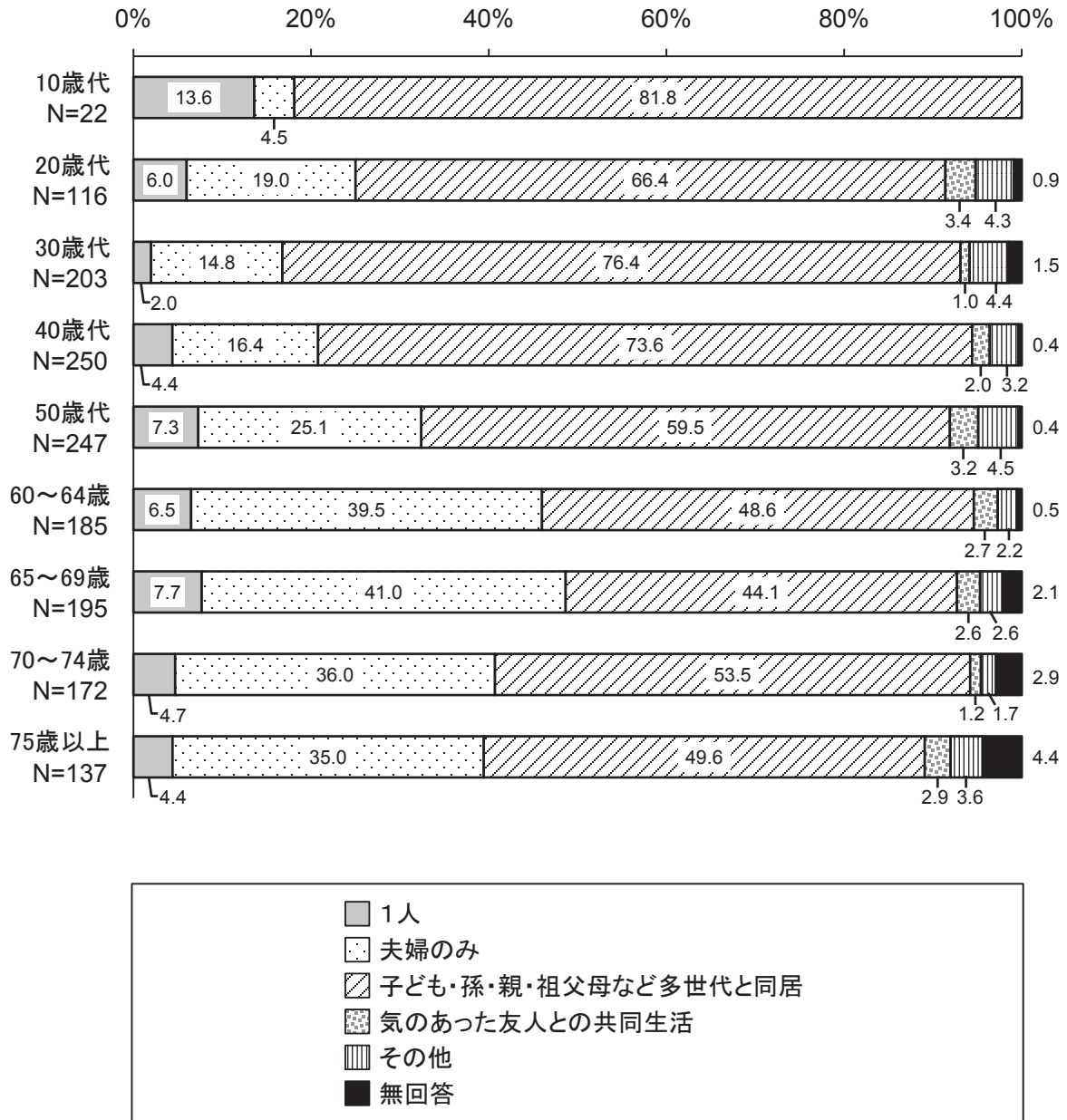
6割が「子ども・孫・親・祖父母など多世代と同居」と回答



「子ども・孫・親・祖父母など多世代と同居」が 60.1%で最も高く、多世代と交流しながら生活することを望む市民が多いことがうかがえる。次いで「夫婦のみ」が 27.4%で高く、「1人」「気のあった友人との共同生活」は少数意見だった。

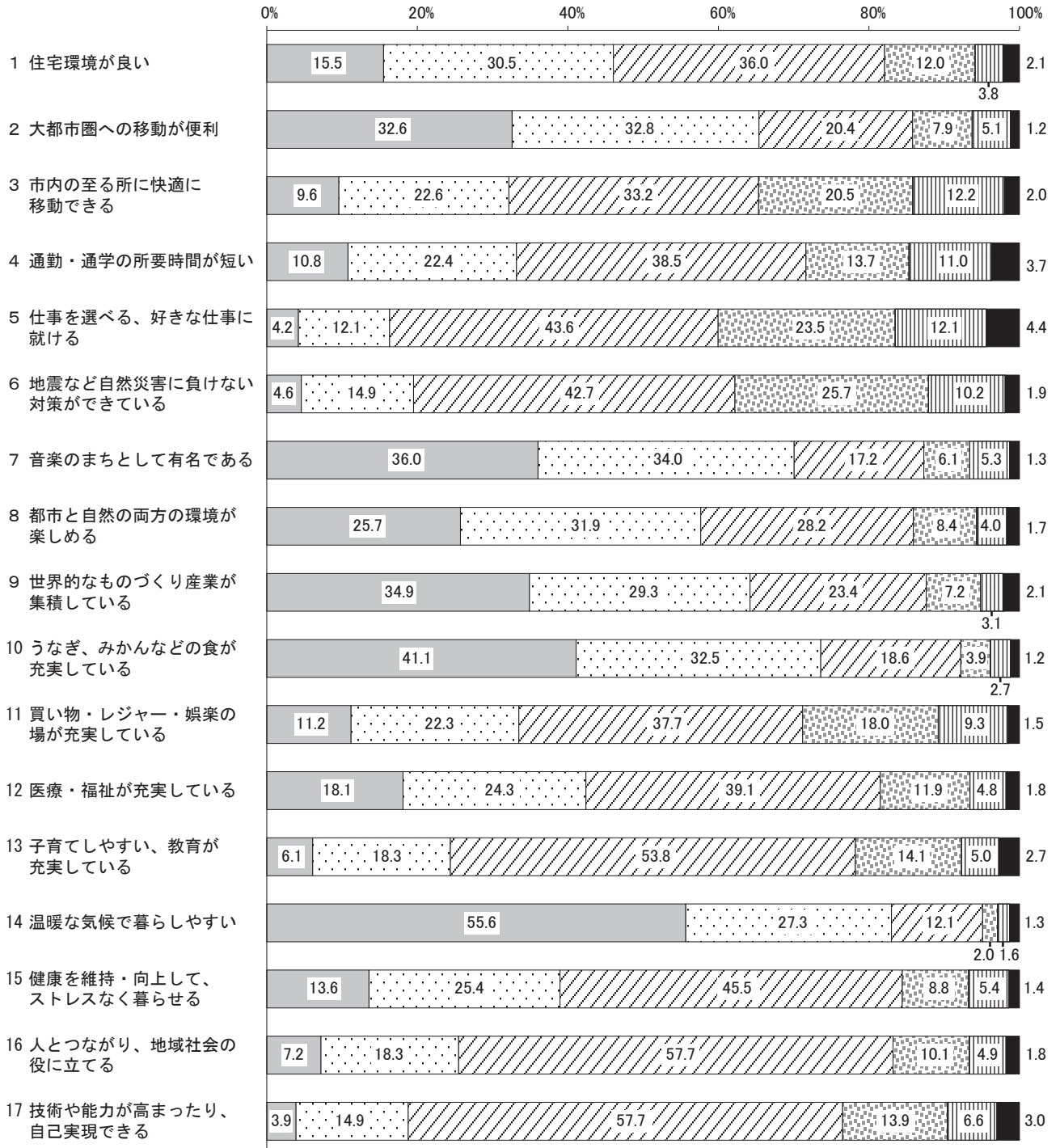
年齢別でみると、「子ども・孫・親・祖父母など多世代と同居」の割合が最も高いのは 10 歳代の 81.8%で、最も低いのは 65～69 歳の 44.1%だった。逆に「夫婦のみ」は 65～69 歳が 41.0%で最も高く、10 歳代が 4.5%で最も低かった。

【年齢別】



問 33 浜松市についての客観的な評価をお聞きします。以下の各項目は、浜松市の強み  
 (魅力・自慢できること)だと思いませんか。  
 (項目ごとにあてはまる番号に1つだけ○を付けてください)

N = 1,534



そう思うし、強みだ                       そう思うが、あまり強みではない  
 どちらでもない                             そう思わないが、実現できれば強みになる  
 そう思わないし、強みでもない         無回答

「そう思うし、強みだ」が最も高かったのは、「14 温暖な気候で暮らしやすい」(55.6%)だった。次いで、「10 うなぎ、みかんなどの食が充実している」(41.1%)、「7 音楽のまちとして有名である」(36.0%)、「9 世界的なものづくり産業が集積している」(34.9%)の順に高かった。今後もこれらの資源の有効活用を継続するとともに、「どちらでもない」との回答割合が高かった、子育て・教育、医療・福祉の充実が本市の強みであると考える市民が増えるよう、引き続き注力する必要がある。

今後の改善点として、現在は実現できていないが、実現できれば強みになるとして回答割合が高い「6 地震など自然災害に負けない対策ができています」「5 仕事を選べる、好きな仕事に就ける」「3 市内の至る所に快適に移動できる」について、さらなる取り組みをしていく必要がある。

### 【回答割合上位 10 項目】(単位：%)

#### 【そう思うし、強みだ】

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 14 温暖な気候で暮らしやすい          | 55.6 |
| 10 うなぎ、みかんなどの食が充実している    | 41.1 |
| 7 音楽のまちとして有名である          | 36.0 |
| 9 世界的なものづくり産業が集積している     | 34.9 |
| 2 大都市圏への移動が便利            | 32.6 |
| 8 都市と自然の両方の環境が楽しめる       | 25.7 |
| 12 医療・福祉が充実している          | 18.1 |
| 1 住宅環境が良い                | 15.5 |
| 15 健康を維持・向上して、ストレスなく暮らせる | 13.6 |
| 11 買い物・レジャー・娯楽の場が充実している  | 11.2 |

#### 【そう思うが、あまり強みではない】

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 7 音楽のまちとして有名である          | 34.0 |
| 2 大都市圏への移動が便利            | 32.8 |
| 10 うなぎ、みかんなどの食が充実している    | 32.5 |
| 8 都市と自然の両方の環境が楽しめる       | 31.9 |
| 1 住宅環境が良い                | 30.5 |
| 9 世界的なものづくり産業が集積している     | 29.3 |
| 14 温暖な気候で暮らしやすい          | 27.3 |
| 15 健康を維持・向上して、ストレスなく暮らせる | 25.4 |
| 12 医療・福祉が充実している          | 24.3 |
| 3 市内の至る所に快適に移動できる        | 22.6 |

#### 【そう思わないが、実現できれば強みになる】

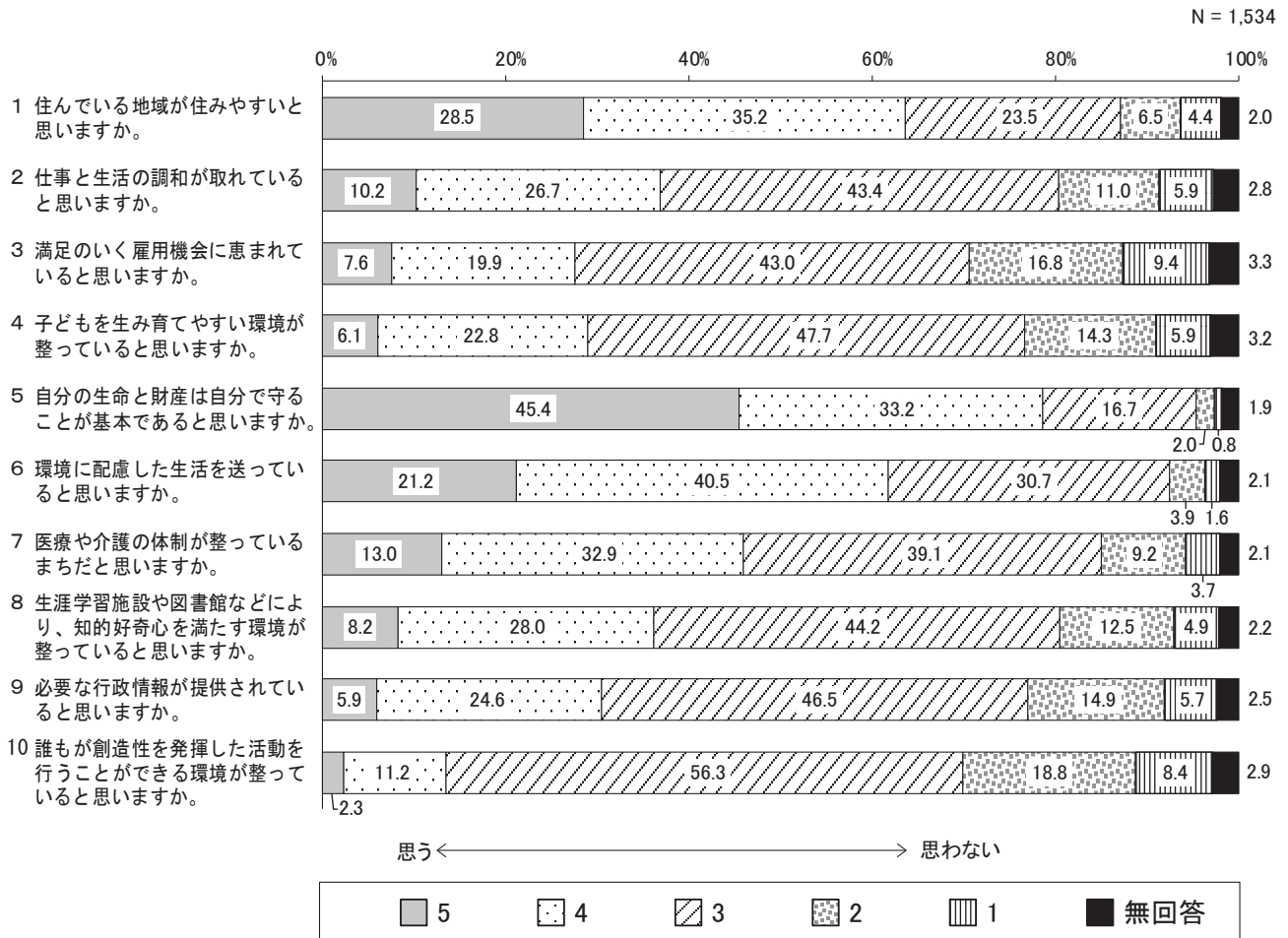
|                          |      |
|--------------------------|------|
| 6 地震など自然災害に負けない対策ができています | 25.7 |
| 5 仕事を選べる、好きな仕事に就ける       | 23.5 |
| 3 市内の至る所に快適に移動できる        | 20.5 |
| 11 買い物・レジャー・娯楽の場が充実している  | 18.0 |
| 13 子育てしやすい、教育が充実している     | 14.1 |
| 17 技術や能力が高まったり、自己実現できる   | 13.9 |
| 4 通勤・通学の所要時間が短い          | 13.7 |
| 1 住宅環境が良い                | 12.0 |
| 12 医療・福祉が充実している          | 11.9 |
| 16 人とつながり、地域社会の役に立てる     | 10.1 |

#### 【そう思わないし、強みでもない】

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 3 市内の至る所に快適に移動できる        | 12.2 |
| 5 仕事を選べる、好きな仕事に就ける       | 12.1 |
| 4 通勤・通学の所要時間が短い          | 11.0 |
| 6 地震など自然災害に負けない対策ができています | 10.2 |
| 11 買い物・レジャー・娯楽の場が充実している  | 9.3  |
| 17 技術や能力が高まったり、自己実現できる   | 6.6  |
| 15 健康を維持・向上して、ストレスなく暮らせる | 5.4  |
| 7 音楽のまちとして有名である          | 5.3  |
| 2 大都市圏への移動が便利            | 5.1  |
| 13 子育てしやすい、教育が充実している     | 5.0  |

## 12 市政に関する現状認識について

問 34 あなたは日常生活の中で、どのように感じていますか。各項目について「思う」から「思わない」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。



評価が「5」と「4」を合わせた『思う』の割合が最も高かったのは、「5 自分の生命と財産は自分で守ることが基本である」の78.6%だった。

平成27年度調査と比較すると、比較可能な9項目中8項目で『思う』の割合が高まった。『思う』の割合が最も増加したのは「7 医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか」で5.7ポイント増加した。

浜松市総合計画の平成36年度目標値と比較すると、比較可能な9項目中8項目で目標値を下回っている。目標値との差が最も大きかったのは「4 子どもを子育てしやすい環境が整っている」で21.1ポイント低かった。「8 生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか」は目標値を1.2ポイント上回った。

80ページ【年齢別】・【性別】【行政区別】の表は評価が「5」を10点、「4」を7.5点、「3」を5点、「2」を2.5点、「1」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど思う割合が高くなる指数である。

年齢別でみると、いずれの年齢層でも「5 自分の生命と財産は自分で守ることが基本である」の指数が最も高かった。

性別でも、男女とも「5 自分の生命と財産は自分で守ることが基本である」の指数が最も高かった。

【平成27年度調査との比較（差が大きい順）】

（単位：％）

| 項目   | 平成28年度<br>結果(A) | 平成27年度<br>結果(B) | 差<br>(A-B) |
|--|-----------------|-----------------|------------|
| 7 医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。                 | 45.9            | 40.2            | 5.7        |
| 8 生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。 | 36.2            | 30.7            | 5.5        |
| 9 必要な行政情報が提供されていると思いますか。                   | 30.5            | 25.4            | 5.1        |
| 1 住んでいる地域が住みやすいと思いますか。                     | 63.7            | 60.3            | 3.4        |
| 4 子どもを子育てやすい環境が整っていると思いますか。                | 28.9            | 26.1            | 2.8        |
| 6 環境に配慮した生活を送っていると思いますか。                   | 61.7            | 59.4            | 2.3        |
| 5 自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。            | 78.6            | 77.5            | 1.1        |
| 2 仕事と生活の調和が取れていると思いますか。                    | 36.9            | 35.9            | 1.0        |
| 3 満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。                  | 27.5            | 28.0            | ▲ 0.5      |

\* A・Bの数値は「5」と「4」を合わせた『思う』の割合

\* 「10 誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか」は平成28年度調査からの項目のため除外

【浜松市総合計画における平成36年度目標値との比較（差が大きい順）】

（単位：％）

| 項目   | 平成28年度<br>結果(A) | 平成36年度<br>目標値(B) | 差<br>(A-B) |
|--|-----------------|------------------|------------|
| 4 子どもを子育てやすい環境が整っていると思いますか。                | 28.9            | 50.0             | ▲ 21.1     |
| 2 仕事と生活の調和が取れていると思いますか。                    | 36.9            | 50.0             | ▲ 13.1     |
| 9 必要な行政情報が提供されていると思いますか。                   | 30.5            | 40.0             | ▲ 9.5      |
| 6 環境に配慮した生活を送っていると思いますか。                   | 61.7            | 66.6             | ▲ 4.9      |
| 7 医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。                 | 45.9            | 50.0             | ▲ 4.1      |
| 3 満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。                  | 27.5            | 30.0             | ▲ 2.5      |
| 5 自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。            | 78.6            | 80.0             | ▲ 1.4      |
| 1 住んでいる地域が住みやすいと思いますか。                     | 63.7            | 65.0             | ▲ 1.3      |
| 8 生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。 | 36.2            | 35.0             | 1.2        |

\* A・Bの数値は「5」と「4」を合わせた『思う』の割合

\* 「10 誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか」は総合計画における目標値の設定がないため除外

## 【年齢別】

◎=6点以上 △=4点以下

| 項目   | 10歳代  | 20歳代  | 30歳代  | 40歳代  | 50歳代  | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 1 住んでいる地域が住みやすいと思いますか。                     | ◎ 8.0 | ◎ 6.9 | ◎ 7.3 | ◎ 6.8 | ◎ 6.6 | ◎ 6.9  | ◎ 7.0  | ◎ 7.0  | ◎ 7.1 |
| 2 仕事と生活の調和が取れていると思いますか。                    | ◎ 6.4 | 5.5   | 5.6   | 5.5   | 5.4   | 5.8    | 5.7    | ◎ 6.0  | 5.7   |
| 3 満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。                  | 5.0   | 5.2   | 5.2   | 4.9   | 4.9   | 4.9    | 4.9    | 5.2    | 4.8   |
| 4 子どもを生き育てやすい環境が整っていると思いますか。               | 5.9   | 4.7   | 5.2   | 5.4   | 5.1   | 5.2    | 5.0    | 5.8    | 5.4   |
| 5 自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。            | ◎ 8.1 | ◎ 8.0 | ◎ 8.1 | ◎ 8.0 | ◎ 8.0 | ◎ 8.1  | ◎ 8.3  | ◎ 8.1  | ◎ 8.0 |
| 6 環境に配慮した生活を送っていると思いますか。                   | ◎ 7.2 | ◎ 6.2 | ◎ 6.5 | ◎ 6.8 | ◎ 6.9 | ◎ 7.0  | ◎ 7.2  | ◎ 7.5  | ◎ 7.1 |
| 7 医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。                 | ◎ 6.8 | 5.6   | 5.9   | ◎ 6.0 | 5.9   | ◎ 6.0  | ◎ 6.0  | ◎ 6.8  | ◎ 6.5 |
| 8 生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。 | ◎ 6.6 | 5.2   | 5.5   | 5.5   | 5.3   | 5.5    | 5.5    | ◎ 6.3  | 5.8   |
| 9 必要な行政情報が提供されていると思いますか。                   | 5.8   | 4.8   | 5.0   | 4.9   | 5.1   | 5.5    | 5.3    | 5.8    | 5.9   |
| 10 誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。   | 5.2   | 4.1   | 4.1   | 4.5   | 4.3   | 4.5    | 4.4    | 5.3    | 4.9   |

## 【性別】【行政区別】

◎=6点以上 △=4点以下

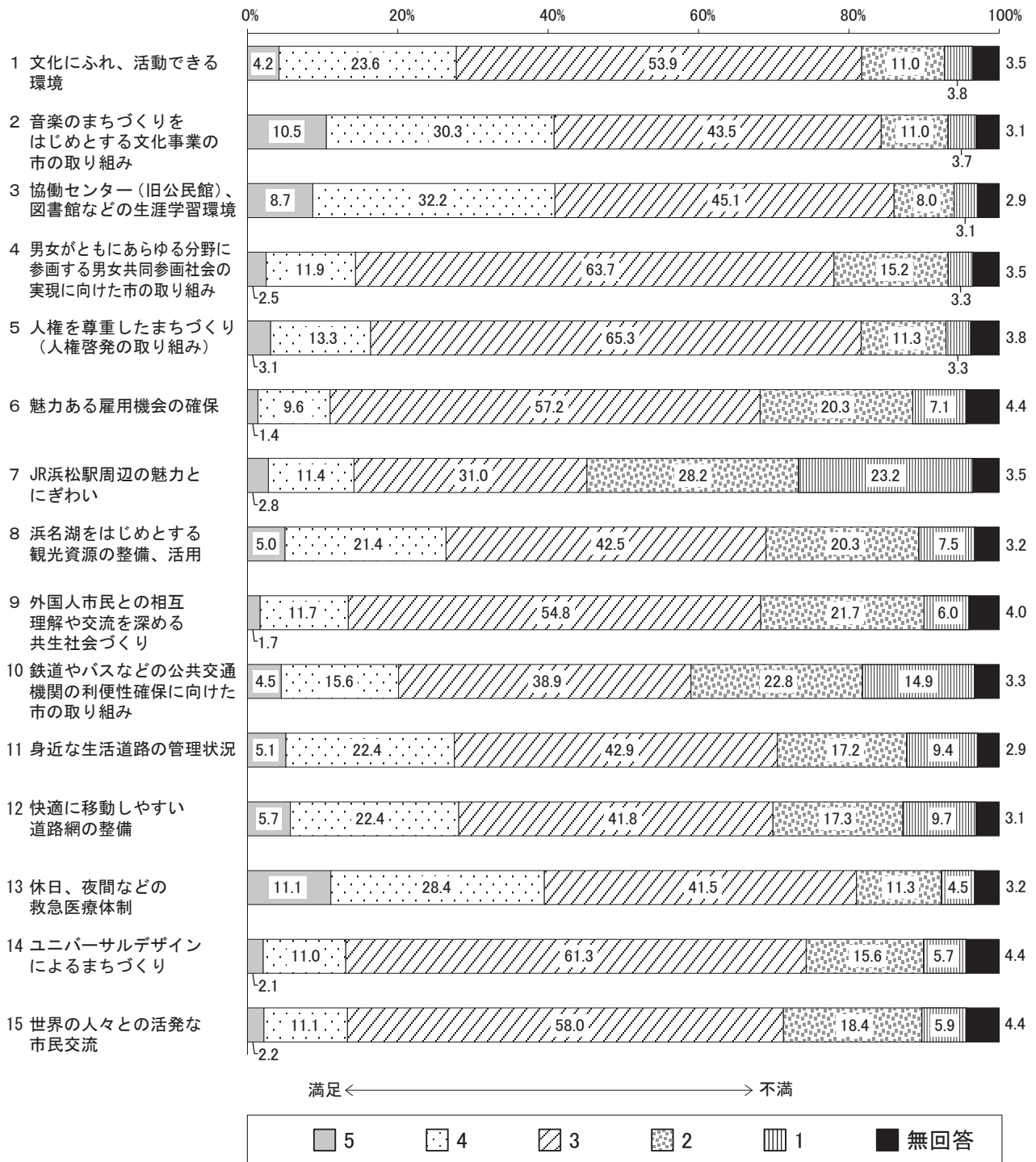
| 項目   | 男性    | 女性    | 中区    | 東区    | 西区    | 南区    | 北区    | 浜北区   | 天竜区   |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 住んでいる地域が住みやすいと思いますか。                     | ◎ 6.9 | ◎ 7.0 | ◎ 7.6 | ◎ 7.2 | ◎ 7.0 | ◎ 6.9 | ◎ 6.9 | ◎ 7.2 | 5.4   |
| 2 仕事と生活の調和が取れていると思いますか。                    | 5.5   | 5.8   | ◎ 6.0 | 5.7   | 5.7   | 5.7   | 5.6   | 5.8   | 4.6   |
| 3 満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。                  | 5.0   | 5.1   | 5.5   | 5.0   | 5.1   | 5.2   | 5.0   | 5.1   | △ 3.6 |
| 4 子どもを生き育てやすい環境が整っていると思いますか。               | 5.1   | 5.3   | 5.3   | 5.5   | 5.5   | 5.3   | 5.3   | 5.3   | 4.1   |
| 5 自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。            | ◎ 8.0 | ◎ 8.1 | ◎ 8.3 | ◎ 7.9 | ◎ 8.2 | ◎ 8.0 | ◎ 8.3 | ◎ 8.0 | ◎ 7.7 |
| 6 環境に配慮した生活を送っていると思いますか。                   | ◎ 6.7 | ◎ 7.1 | ◎ 7.0 | ◎ 7.1 | ◎ 7.0 | ◎ 7.0 | ◎ 7.0 | ◎ 6.8 | ◎ 6.5 |
| 7 医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。                 | ◎ 6.1 | ◎ 6.2 | ◎ 6.3 | ◎ 6.2 | ◎ 6.3 | ◎ 6.2 | ◎ 6.7 | 5.8   | 5.0   |
| 8 生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。 | 5.4   | 5.8   | 5.8   | 5.7   | 5.7   | 5.8   | ◎ 6.0 | 5.3   | 4.5   |
| 9 必要な行政情報が提供されていると思いますか。                   | 4.9   | 5.5   | 5.4   | 5.4   | 5.4   | 5.5   | 5.3   | 5.1   | 4.4   |
| 10 誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。   | 4.3   | 4.6   | 4.4   | 4.5   | 4.8   | 4.7   | 4.7   | 4.4   | △ 3.8 |



# 13 市の取り組みの満足度評価について

問 35 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろどのように感じていますか。各項目について「満足」から「不満」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

N = 1,534



評価が「5」と「4」を合わせた『満足している』の割合が最も高かったのは、「3 協働センター（旧公民館）、図書館などの生涯学習環境」の40.9%となり、僅差で「2 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み」（40.8%）が続いた。

平成27年度調査と比較すると、比較可能な13項目中10項目で『満足している』の割合が高まった。『満足している』の割合が最も増加したのは「8 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用」で9.6ポイントの増加となった。

次ページ【年齢別】・【性別】【行政区別】の表は評価が「5」を10点、「4」を7.5点、「3」を5点、「2」を2.5点、「1」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど満足度が高くなる指数である。

年齢別で見ると、10歳代、20歳代、50歳代、65～69歳は、「2 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み」が最も高かった。30歳代、70～74歳は「3 協働センター（旧公民館）、図書館などの生涯学習環境」の満足度が最も高かった。60～64歳は「13 休日、夜間などの緊急医療体制」が最も高かった。40歳代は「2 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み」と「3 協働センター（旧公民館）、図書館などの生涯学習環境」が、75歳以上は「3 協働センター（旧公民館）、図書館などの生涯学習環境」と「13 休日、夜間などの緊急医療体制」が同率で最も高かった。

【平成27年度調査との比較（差が大きい順）】

（単位：％）

| 項目                                       | 平成28年度<br>結果(A) | 平成27年度<br>結果(B) | 差<br>(A-B) |
|--|-----------------|-----------------|------------|
| 8 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用                   | 26.4            | 16.8            | 9.6        |
| 13 休日、夜間などの救急医療体制                        | 39.5            | 34.3            | 5.2        |
| 2 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み             | 40.8            | 35.9            | 4.9        |
| 1 文化にふれ、活動できる環境                          | 27.8            | 23.5            | 4.3        |
| 3 協働センター（旧公民館）、図書館などの生涯学習環境              | 40.9            | 37.1            | 3.8        |
| 9 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり              | 13.4            | 10.1            | 3.3        |
| 7 JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい                        | 14.2            | 11.4            | 2.8        |
| 15 世界の人々との活発な市民交流                        | 13.3            | 11.0            | 2.3        |
| 10 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み        | 20.1            | 18.5            | 1.6        |
| 6 魅力ある雇用機会の確保                            | 11.0            | 10.1            | 0.9        |
| 5 人権を尊重したまちづくり（人権啓発の取り組み）                | 16.4            | 16.4            | 0          |
| 4 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み | 14.4            | 14.9            | ▲ 0.5      |
| 14 ユニバーサルデザインによるまちづくり                    | 13.1            | 14.0            | ▲ 0.9      |

\*A・Bの数値は「5」と「4」を合わせた『満足している』の割合

\*「11 身近な生活道路の管理状況」「12 快適に移動しやすい道路網の整備」は平成28年度調査からの項目のため除外

## 【年齢別】

◎=6点以上 △=4点以下

| 項目                                       | 10歳代  | 20歳代  | 30歳代  | 40歳代  | 50歳代  | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 1 文化にふれ、活動できる環境                          | ◎ 6.4 | 5.3   | 5.4   | 5.4   | 5.1   | 5.1    | 5.2    | 5.9    | 5.4   |
| 2 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み             | ◎ 6.8 | 5.9   | 5.6   | 5.8   | 5.9   | 5.8    | 5.9    | ◎ 6.3  | ◎ 6.1 |
| 3 協働センター(旧公民館)、図書館などの生涯学習環境              | ◎ 6.4 | 5.5   | ◎ 6.1 | 5.8   | 5.7   | 5.7    | 5.8    | ◎ 6.5  | ◎ 6.3 |
| 4 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み | 5.5   | 4.6   | 4.8   | 4.7   | 4.7   | 4.9    | 4.9    | 5.4    | 5.2   |
| 5 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)                | 5.8   | 4.9   | 5.0   | 5.0   | 4.7   | 5.1    | 5.1    | 5.4    | 5.3   |
| 6 魅力ある雇用機会の確保                            | 5.1   | 4.6   | 4.3   | 4.4   | 4.2   | 4.4    | 4.3    | 4.8    | 4.5   |
| 7 JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい                        | ◎ 6.1 | △ 3.7 | △ 2.9 | △ 3.1 | △ 3.2 | △ 3.4  | △ 3.6  | 4.1    | 4.4   |
| 8 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用                   | ◎ 6.3 | 5.2   | 4.9   | 4.8   | 4.5   | 4.9    | 4.5    | 5.3    | 5.5   |
| 9 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり              | 5.5   | 4.8   | 4.6   | 4.5   | 4.3   | 4.5    | 4.4    | 4.6    | 4.8   |
| 10 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み        | 5.1   | △ 4.0 | 4.3   | 4.1   | △ 3.9 | 4.2    | 4.4    | 4.9    | 4.9   |
| 11 身近な生活道路の管理状況                          | 5.7   | 5.0   | 4.9   | 4.8   | 4.5   | 4.9    | 5.1    | 5.3    | 5.1   |
| 12 快適に移動しやすい道路網の整備                       | 5.8   | 4.5   | 4.9   | 4.9   | 4.5   | 5.0    | 5.1    | 5.4    | 5.2   |
| 13 休日、夜間などの救急医療体制                        | ◎ 6.4 | 5.5   | 5.7   | 5.4   | 5.5   | ◎ 6.1  | 5.8    | ◎ 6.4  | ◎ 6.3 |
| 14 ユニバーサルデザインによるまちづくり                    | 5.6   | 4.7   | 4.8   | 4.7   | 4.4   | 4.7    | 4.5    | 4.9    | 4.9   |
| 15 世界の人々との活発な市民交流                        | 5.5   | 4.8   | 4.7   | 4.6   | 4.5   | 4.4    | 4.4    | 4.9    | 4.9   |

## 【性別】【行政区別】

◎=6点以上 △=4点以下

| 項目                                       | 男性    | 女性    | 中区    | 東区    | 西区    | 南区    | 北区    | 浜北区   | 天竜区   |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 文化にふれ、活動できる環境                          | 5.2   | 5.5   | 5.5   | 5.5   | 5.5   | 5.3   | 5.4   | 5.4   | 4.7   |
| 2 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み             | 5.7   | ◎ 6.2 | ◎ 6.3 | ◎ 6.1 | ◎ 6.0 | ◎ 6.0 | 5.7   | ◎ 6.0 | 5.1   |
| 3 協働センター(旧公民館)、図書館などの生涯学習環境              | 5.6   | ◎ 6.2 | ◎ 6.1 | ◎ 6.1 | 5.9   | ◎ 6.1 | ◎ 6.1 | 5.8   | 5.1   |
| 4 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み | 4.8   | 5.0   | 5.0   | 5.0   | 5.1   | 4.7   | 5.0   | 4.8   | 4.5   |
| 5 人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)                | 4.9   | 5.1   | 5.1   | 5.1   | 5.2   | 5.1   | 5.1   | 5.1   | 4.6   |
| 6 魅力ある雇用機会の確保                            | 4.4   | 4.5   | 4.5   | 4.5   | 4.6   | 4.6   | 4.4   | 4.6   | △ 3.6 |
| 7 JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい                        | △ 3.3 | △ 3.7 | △ 3.0 | △ 3.5 | △ 3.2 | △ 3.7 | △ 3.5 | △ 4.0 | △ 3.6 |
| 8 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用                   | 4.7   | 5.2   | 4.9   | 5.1   | 4.9   | 5.0   | 5.0   | 4.8   | 4.5   |
| 9 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり              | 4.4   | 4.7   | 4.7   | 4.8   | 4.7   | 4.5   | 4.3   | 4.6   | △ 3.9 |
| 10 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み        | 4.2   | 4.4   | 4.6   | 4.4   | 4.3   | 4.7   | △ 3.9 | 4.4   | △ 3.4 |
| 11 身近な生活道路の管理状況                          | 4.8   | 5.0   | 5.2   | 5.1   | 5.1   | 5.0   | 5.2   | 4.9   | △ 3.9 |
| 12 快適に移動しやすい道路網の整備                       | 4.7   | 5.1   | 5.1   | 5.1   | 4.9   | 5.2   | 5.2   | 5.1   | △ 3.7 |
| 13 休日、夜間などの救急医療体制                        | 5.6   | ◎ 6.0 | ◎ 6.3 | ◎ 6.0 | 5.7   | ◎ 6.1 | 5.9   | 5.5   | 4.6   |
| 14 ユニバーサルデザインによるまちづくり                    | 4.5   | 4.9   | 4.9   | 4.9   | 4.8   | 4.8   | 4.6   | 4.7   | △ 4.0 |
| 15 世界の人々との活発な市民交流                        | 4.5   | 4.8   | 4.7   | 4.9   | 4.8   | 4.7   | 4.5   | 4.6   | △ 3.9 |



## 付録 調査票

---



— あなたの声を市政に生かす —

## 平成28年度 **市民アンケート調査** (第43回)

日ごろ、市政の推進につきましては、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

浜松市では、市民の皆さまのお考えを伺うことで市政の充実を図り、市民の皆さまの暮らしが豊かになるように努めていきたいと考えております。

つきましては、今後のまちづくりの基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施させていただきます。この調査を実施するにあたり、市内在住の満18歳以上の皆さまの中から無作為に3,000人の方々を選ばせていただきました。お忙しいところ誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただきご回答くださいますようお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、広報はままつや浜松市公式Webサイト（ホームページ）などで報告させていただく予定です。

平成28年6月 浜松市長 鈴木 康 友

### <ご回答についてのお願い>

1. 封書のあて名の方が、ご回答くださいますようお願いいたします。
2. ご回答は、各設問に該当する番号を選択肢の中から選んで、○で囲んでください。  
また、「その他」を選んだ方は、その具体的な内容をご記入ください。
3. この調査結果は、上記目的以外に使用することはない、内容についてご迷惑をお掛けすることはありません。
4. 6月30日(木)までにこの用紙を同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。
5. ご不明な点は、広聴広報課 市民コールセンターグループ ☎(053)457-2023へお問い合わせください。

## ～ あなたはご存じですか？ ～

問1 次の項目について、あなたはご存じですか。

1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

|   | 名称も内容も<br>知っている | 名称だけは<br>知っている | 知らない      |
|---|-----------------|----------------|-----------|
| <b>① FSC森林認証</b><br>※森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。浜松市は市町村別では全国最大のFSC認証林面積を保有しています。                                      | 1               | 2              | 3         |
| <b>② HACCP (ハサップ)</b><br>※安全な食品を製造するための管理方法のひとつです。加熱温度を測定するなど、特に重要な工程を継続して監視・記録します。浜松市では、平成28年2月から、HACCPに取り組む事業者を認証する制度を開始しました。 | 1               | 2              | 3         |
| <b>③ 市制記念日</b><br>※浜松市では市制施行を記念して、7月1日を市制記念日として定めています。  | 1<br>知っている      |                | 2<br>知らない |
| <b>④ 協働センター</b><br>※平成25年4月から、公民館が、併設されている市民サービスセンターと統合し「協働センター」となりました。   | 1<br>知っている      |                | 2<br>知らない |

|   | 知っている、<br>活用している | 知っているが、<br>活用していない | 知らない |
|---|------------------|--------------------|------|
| <b>⑤ 区版避難行動計画</b><br>※災害時にとるべき行動を、区ごとの災害特性をふまえてわかりやすくまとめ、防災マップや防災カードとともに全戸に配布しています。 | 1                | 2                  | 3    |



## ～ 浜松市歌について ～

問2 浜松市では、平成19年、新たに浜松市歌を制定しました。あなたは市歌をご存じですか。また、歌うことができますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 市歌があることを知っていて、歌うこともできる
2. 市歌があることは知っているが、歌うことはできない
3. 市歌があることを知らなかった

問3 問2で「1. 市歌があることを知っていて、歌うこともできる」「2. 市歌があることは知っているが、歌うことはできない」とお答えされた方に伺います。市歌をどこかで聴いたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 市主催のイベント
2. 入学式・卒業式等の学校行事
3. 市役所等公共施設での館内放送
4. カラオケ配信
5. テレビ・ラジオ等
6. 民間主催のイベント
7. その他(具体的に: )
8. 聴いたことがない

## ～ 浜松市総合計画について ～

問4 あなたは、浜松市総合計画を知っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称だけは知っている
3. 知らない

問5 問4で「1. 名称も内容も知っている」「2. 名称だけは知っている」とお答えされた方に伺います。浜松市総合計画について知っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 市の計画の中で最も重要な計画である
2. 30年間の長期的な計画である
3. 基本構想「浜松市未来ビジョン」
4. 基本計画「浜松市未来ビジョン第1次推進プラン」
5. 名称のみ知っている程度であり、上記1～4の内容まではよく分からない

問6 浜松市総合計画がどのようなところで紹介されていたら目に触れると思いますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 市の刊行物(広報紙、チラシなど)
2. 浜松市ホームページ
3. テレビ・ラジオ等
4. SNS(Facebook、Twitter、LINEなど)
5. 市主催のイベント
6. その他(具体的に: )

## ～ 浜松市のスポーツ推進について ～

問7 浜松市では、スポーツ推進のスローガンとして、1週間に1回以上、1スポーツをしよう！という意味の「1・1・1（いち・いち・いち）運動」を展開しています。あなたはご存じですか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 意味や内容まで知っている       | 2. 知っていて、意味や内容が少し分かる |
| 3. 知っているが、意味や内容は分からない | 4. 知らない              |

問8 過去1年間に、あなたは実際に会場に出向いてスポーツ観戦・応援をどの程度行いましたか。プロスポーツだけでなく、地域のスポーツ活動や少年団などの観戦・応援も含まれます。  
(1つだけ○を付けてください)

- |           |                      |           |
|-----------|----------------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日   | 2. 月に数回程度            | 3. 月に1回程度 |
| 4. 年に数回程度 | 5. ほとんどスポーツ観戦・応援をしない |           |

## ～ 地区社会福祉協議会の活動と地域福祉の推進について ～

問9 あなたは「地区社会福祉協議会※」をご存じですか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 知っていて、すでに活動に参加している      |
| 2. 関心がある、または、今後活動に参加したいと思う |
| 3. 知らない、または、活動に参加したいと思わない  |

※地区社会福祉協議会とは、連合自治会規模の圏域で活動する住民主導の組織。地域住民をはじめ、自治会や民生委員、ボランティア等で構成し、身近な地域における福祉活動の啓発及び推進を行います。

問10 地区社会福祉協議会の設立により、地域での支え合いが進んだと思いますか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 1. 進んだと思う | 2. 変化を感じない | 3. 分からない |
|-----------|------------|----------|

## ～ 消費生活について ～

問11 あなたは、市役所にある「くらしのセンター※」をご存じですか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |                  |               |         |
|------------------|---------------|---------|
| 1. 名称も業務内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 知らない |
|------------------|---------------|---------|

※くらしのセンターでは、商品やサービスの契約・解約に関する相談受付などを実施しています。

問12 消費者一人ひとりが、現在と未来の社会・経済・環境に影響することにまで思いをはせて消費し、よりよい社会にしようとするを「消費者市民社会」といいますが、あなたはこの言葉をご存じですか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |            |             |         |
|------------|-------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 少しは知っている | 3. 知らない |
|------------|-------------|---------|

問 13 商品の購入やサービスの利用に関する契約内容について十分理解した上で、契約をしていますか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |             |              |            |
|-------------|--------------|------------|
| 1. よく理解している | 2. 少しは理解している | 3. 理解していない |
|-------------|--------------|------------|

## ～ 協働による まちづくりについて ～

問 14 あなたは、どのくらいの頻度で、自治会（町内会）や消防団、PTAなど地域のコミュニティ活動に参加していますか？

(1つだけ○を付けてください)

- |               |             |            |
|---------------|-------------|------------|
| 1. ほぼ毎日       | 2. 週に1回程度   | 3. 月に1回程度  |
| 4. 2～3か月に1回程度 | 5. 年に1～2回程度 | 6. 参加していない |

問 15 問 14で「6. 参加していない」とお答えされた方に伺います。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 参加する時間がない                  |
| 2. 参加の仕方が分からない。活動に関する情報が得られない |
| 3. 職場や家族の理解が得られない             |
| 4. 自治会などのコミュニティ組織に馴染みがない      |
| 5. 興味・関心がない                   |
| 6. 行政がやるべきことだと思う              |
| 7. 家族が参加している                  |
| 8. その他（具体的に： _____ )          |

問 16 あなたは、どのくらいの頻度で、NPOなどが運営するボランティア活動（自治会や消防団、PTA活動などは除く）へ参加したり、自発的に社会貢献活動（公共の場の清掃や子ども・高齢者の見守りなど）を実施したりしていますか？

(1つだけ○を付けてください)

- |               |             |                |
|---------------|-------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日       | 2. 週に1回程度   | 3. 月に1回程度      |
| 4. 2～3か月に1回程度 | 5. 年に1～2回程度 | 6. 参加（実施）していない |

問 17 問 16で「6. 参加（実施）していない」とお答えされた方に伺います。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 参加（実施）する時間がない                  |
| 2. 参加（実施）の仕方が分からない。活動に関する情報が得られない |
| 3. 職場や家族の理解が得られない                 |
| 4. NPO法人などの市民活動団体に馴染みがない          |
| 5. 興味・関心がない                       |
| 6. 行政がやるべきことだと思う                  |
| 7. その他（具体的に： _____ )              |

## ～ 子育て支援について ～

問 18 あなたは、社会全体で子どもを健全に育成し支えていくための基本理念や、それぞれの役割などを定めた「浜松市子ども育成条例」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                |               |         |
|----------------|---------------|---------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 知らない |
|----------------|---------------|---------|

問 19 あなたは、子どもや子育ての支援、社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者の支援を目的に策定した「浜松市子ども・若者支援プラン」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                |               |         |
|----------------|---------------|---------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称だけは知っている | 3. 知らない |
|----------------|---------------|---------|

問 20 あなたは、現在、「子育て」に対して、どのような関わり方をしていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 1. 子育て中である                |  |
| 2. 孫の面倒を見ることがある           |  |
| 3. 甥（おい）、姪（めい）の面倒を見ることがある |  |
| 4. 近所の子どもの面倒を見ることがある      |  |
| 5. 子育てサークルに参加している         |  |
| 6. 子育てに関するボランティアに参加している   |  |
| 7. その他（具体的に：_____）        |  |
| 8. 特に関わっていない              |  |

問 21 浜松市では、保育所整備、親子が集う場所づくり、子どもの医療費助成など子育てに関する支援を行っています。あなたは、このような支援によって子育てがしやすくなっていると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |       |         |              |          |
|-------|---------|--------------|----------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. どちらともいえない | 4. 分からない |
|-------|---------|--------------|----------|

問 22 問 21 で「2. 思わない」「3. どちらともいえない」「4. 分からない」とお答えされた方に伺います。どのような環境を整えば子育てがしやすくなったと感じると思いますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1. 保育園などへ入園を希望する者がすべて受け入れられる環境 |  |
| 2. 子育ての悩みを相談できる人が身近にいる環境       |  |
| 3. 子育て中の親子の交流の場が身近にある環境        |  |
| 4. 子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある環境     |  |
| 5. 困った時や緊急時に、安心して子どもを預けられる環境   |  |
| 6. 子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境  |  |
| 7. 子育てに関する必要な情報がすぐに手に入る環境      |  |
| 8. 子どもの手当や医療費助成など、制度が充実した環境    |  |
| 9. 分からない                       |  |
| 10. その他（具体的に：_____）            |  |

## ～ 市民の地震への備えについて ～

問 23 あなたのご家庭では、家具が転倒しないように固定していますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 大部分の家具を固定している
2. 一部の家具を固定している
3. 固定していない。今後、固定しようと思っている
4. 固定していない。今後固定しようとは思わない

問 24 問 23 で「3. 固定していない。今後、固定しようと思っている」「4. 固定していない。今後固定しようとは思わない」とお答えされた方に伺います。固定していない理由は何ですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 家具などを置いていない安全な部屋があるから
2. 必要とは思わないから
3. 災害時、実際に役立つかわからないから
4. どうやって固定していいかわからないから
5. 手間がかかるから
6. 費用がかかるから
7. 賃貸アパート・マンション、借家なので自分だけでは判断できないから
8. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)

問 25 あなたのご家庭では、災害の発生に備え 7 日分以上の水や食糧を備蓄していますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. している
2. しているが 3 日分程度
3. していない

問 26 問 25 で「2. しているが 3 日分程度」「3. していない」とお答えされた方に伺います。7 日分以上の備蓄をしない理由は何ですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 必要とは思わないから
2. 災害時、実際に役立つかわからないから
3. 備蓄品を置く場所がないから
4. 水や食糧の賞味期限が切れ、捨てるのがもったいないから
5. 手間がかかるから
6. 費用がかかるから
7. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)

問 27 浜松市では、大雨等による避難情報(避難準備情報、避難勧告、避難指示)を地区ごとに発令しています。あなたは、ご自分の住んでいる地区名※を知っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 知っている
2. 知らない

※平成 28 年 3 月発行の区版避難行動計画折込チラシに掲載しています。

## ～ 地域情報化について ～

問 28 あなたはご家庭で、次のような情報通信機器を利用していますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 1. デスクトップパソコン、ノートパソコン | 2. タブレット端末  |
| 3. スマートフォン            | 4. 携帯電話、PHS |
| 5. インターネットに接続できるゲーム機  |             |
| 6. その他（具体的に： _____ )  |             |
| 7. 持っていない             |             |

問 29 あなたが、過去 1 か月間にインターネットを利用した際の、利用目的は何ですか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                       |                                       |
|-----------------------|---------------------------------------|
| 1. メールの送受信            | 2. ニュースサイトやブログなどの閲覧                   |
| 3. 商品・サービスの購入等        | 4. 地図・交通情報サービスの利用                     |
| 5. 電子政府・電子自治体の利用      | 6. SNS (Facebook、Twitter、LINE など) の利用 |
| 7. 動画投稿サイトの利用         | 8. インターネットバンキングの利用                    |
| 9. オンラインゲームの利用        |                                       |
| 10. その他（具体的に： _____ ) |                                       |
| 11. インターネットを利用していない   |                                       |

## ～ 浜松市の強みについて ～

問 30 あなたは、現在、浜松市に対して愛着を持っていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |          |           |            |
|----------|-----------|------------|
| 1. とてもある | 2. まあまあある | 3. どちらでもない |
| 4. あまりない | 5. まったくない |            |

問 31 あなたは、これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. これからも住み続けたい | 2. 市内の別の場所に移りたい |
| 3. 市外に移りたい     | 4. 分からない        |

問 32 あなたは、現在の状況にかかわらず、誰と一緒に住むことが理想的だと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 1. 1人                  |  |
| 2. 夫婦のみ                |  |
| 3. 子ども・孫・親・祖父母など多世代と同居 |  |
| 4. 気のあった友人との共同生活       |  |
| 5. その他（具体的に： _____ )   |  |

問 33 浜松市についての客観的な評価をお聞きます。以下の各項目は、浜松市の強み(魅力・自慢できること)だと思いますか。

(項目ごとにあてはまる番号に1つだけ○を付けてください)

|   | そう思う<br>し、<br>強<br>み<br>だ | そう思う<br>が、あ<br>ま<br>り<br>強<br>み<br>で<br>は<br>な<br>い | ど<br>ち<br>ら<br>で<br>も<br>な<br>い | そう思<br>わ<br>な<br>い<br>が、<br>現<br>れ<br>ば<br>強<br>み<br>に<br>な<br>る | そう思<br>わ<br>な<br>い<br>し、<br>強<br>み<br>で<br>も<br>な<br>い |
|---|---------------------------|---|---------------------------------|--|--|
| ①住宅環境が良い<br>(住宅費が安価で、広さ・間取り・庭などの余裕がある)      | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ②大都市圏への移動が便利<br>(新幹線、高速道路など)                | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ③市内の至る所に快適に移動できる                            | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ④通勤・通学の所要時間が短い<br>(職住近接など)                  | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑤仕事を選べる、好きな仕事に就ける                           | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑥地震など自然災害に負けない対策ができています                     | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑦音楽のまちとして有名である                              | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑧都市と自然の両方の環境が楽しめる                           | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑨世界的なものづくり産業が集積している                         | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑩うなぎ、みかんなどの食が充実している                         | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑪買い物・レジャー・娯楽の場が充実している                       | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑫医療・福祉が充実している                               | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑬子育てしやすい、教育が充実している                          | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑭温暖な気候で暮らしやすい                               | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑮健康を維持・向上して、ストレスなく暮らせる                      | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑯人とつながり、地域社会の役に立てる                          | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| ⑰技術や能力が高まったり、自己実現できる                        | 5                         | 4   | 3                               | 2  | 1  |
| 上記の項目以外に浜松市の強み(魅力・自慢できること)があれば、具体的にご記入ください。 |                           |   |                                 |  |  |



## ～ 市政に関する現状認識について ～

問34 あなたは日常生活の中で、どのように感じていますか。各項目について「思う」から「思わない」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

| 項 目 |  | 選 択 肢  |   |   |   |                  |
|-----|--|--------|---|---|---|------------------|
|     |  | 思<br>う |   |   |   | 思<br>わ<br>な<br>い |
| 1   | 住んでいる地域が住みやすいと思いますか。   | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 2   | 仕事と生活の調和*が取れていると思いますか。<br>※仕事と家事・育児・介護などと両立すること  | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 3   | 満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。  | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 4   | 子どもを生み育てやすい環境が整っていると思いますか。   | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 5   | 自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。  | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 6   | 環境に配慮*した生活を送っていると思いますか。<br>※ごみの減量、リサイクルの推進、消費する電力の削減など                                       | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 7   | 医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。   | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 8   | 生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。   | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 9   | 必要な行政情報*が提供されていると思いますか。<br>※各種申請手続き、イベント、事業、予算など市からの情報                                       | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |
| 10  | 誰もが <u>創造性を発揮した活動*</u> を行うことができる環境が整っていると思いますか。<br>※固有の文化や産業などの地域資源を生かし、新たな価値や街の魅力を生み出していく活動 | 5      | 4 | 3 | 2 | 1                |



## ～ 市の取り組みの満足度評価について ～

問 35 あなたは、浜松市がこれまで進めてきた取り組みについて日ごろどのように感じていますか。  
各項目について「満足」から「不満」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

| 項 目 |  | 評 価 |        |   |   |   |
|-----|--|-----|--------|---|---|---|
|     |  | 満   | ←————→ |   |   | 不 |
|     |  | 足   |        |   |   | 満 |
| 1   | 文化にふれ、活動できる環境                          | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 2   | 音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み             | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 3   | 協働センター（旧公民館）、図書館などの生涯学習環境              | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 4   | 男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 5   | 人権を尊重したまちづくり（人権啓発の取り組み）                | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 6   | 魅力ある雇用機会の確保                            | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 7   | J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい                       | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 8   | 浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用                   | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 9   | 外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり              | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 10  | 鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み         | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 11  | 身近な生活道路の管理状況                           | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 12  | 快適に移動しやすい道路網の整備                        | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 13  | 休日、夜間などの救急医療体制                         | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 14  | ユニバーサルデザインによるまちづくり                     | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |
| 15  | 世界の人々との活発な市民交流                         | 5   | 4      | 3 | 2 | 1 |

最後にあなたのことについて記入してください

(項目別に1つだけ○を付けてください)

|      |  |  |                                  |
|------|--|--|----------------------------------|
| 性別   | 1. 男   | 2. 女   |                                  |
| 年齢   | 1. 10歳代<br>4. 40歳代<br>7. 65～69歳  | 2. 20歳代<br>5. 50歳代<br>8. 70～74歳                  | 3. 30歳代<br>6. 60～64歳<br>9. 75歳以上 |
| 国籍   | 1. 日本<br>4. フィリピン  | 2. ブラジル<br>5. その他 ( )                            | 3. 中国                            |
| 職業   | 1. 勤め人<br>4. 専業主婦 (主夫)<br>6. 無職  | 2. 商工・サービス・自由業 (自営・家族従事者)<br>5. 学生<br>7. その他 ( ) | 3. 農林水産業 (自営・家族従事者)              |
| 居住年数 | あなたは浜松市 (合併前の旧市町村当時からも含みます) に住んで何年になりますか<br>1. 3年未満<br>4. 10年以上20年未満           |  |                                  |
| 家族数  | あなたを含めて何人で住んでいますか<br>1. 1人<br>4. 4人  |  |                                  |
| 居住形態 | あなたのお住まいは<br>1. 持ち家<br>4. 公営住宅   |  |                                  |
| 行政区  | あなたがお住まいの行政区は<br>1. 中区<br>4. 南区<br>7. 天竜区<br><br>行政区が分からない場合は、町名をご記入ください → ( ) |  |                                  |
|      | 2. 2人  | 3. 3人  |                                  |
|      | 5. 5人  | 6. 6人以上  |                                  |
|      | 2. 借家  | 3. 賃貸アパート・マンション                                  |                                  |
|      | 5. 社宅・寮  | 6. その他   |                                  |
|      | 2. 東区  | 3. 西区  |                                  |
|      | 5. 北区  | 6. 浜北区   |                                  |

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、6月30日(木)までにご投函ください。



## 平成28年度 市民アンケート調査報告書

---

平成28年10月発行

浜松市企画調整部広聴広報課

〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

電話 (053) 457-2023 FAX (053) 457-2028

e-mail [koe-g@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:koe-g@city.hamamatsu.shizuoka.jp)

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

---

